

岡山市埋蔵文化財センター年報 8

2007（平成19）年度

2009年3月

岡山市教育委員会

はじめに

岡山市は、平成16年度に御津町・灘崎町、平成18年度に瀬戸町・建部町と合併し、県内屈指の面積を有する自治体となりました。また、平成21年4月には政令指定都市へ移行を目指しており、今後も岡山市文化財保護行政の対象範囲はさらに拡大することになるでしょう。

旧町の指定文化財の取り扱いについては、岡山市文化財条例に基づいて順次調査を進めており、平成19年度は旧御津町・旧灘崎町の文化財について調査・検討が行われ、14件が新規の市指定文化財、灘崎町の彦崎貝塚は国指定重要文化財（史跡）、児島湾開墾の樋門群3基が県指定重要文化財（建造物）となりました。

岡山市埋蔵文化財センターにおいては、発掘調査や立会調査、それに伴う遺物の整理・収蔵のほか、発掘成果の展示・公開、調査報告書の刊行等の事業を実施しており、主に史跡岡山城跡・賞田廃寺における歴史的環境整備事業や開発に伴う発掘調査を行いました。さらに、埋蔵文化財行政への理解と周知化および当センターの周知を目的に、平成19年度からの新規事業として定期講座を開催いたしました。今後、このような普及啓発活動についても、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

本年報では平成19年度に岡山市が取り組んだ埋蔵文化財行政の概要報告、やむをえず記録保存の措置をとった遺跡の速報的な概報等が掲載されております。本誌が学術研究の一助となるだけでなく、広く埋蔵文化財の保護・活用においても役立つことを願っております。

最後に、当センターの運営や活動に対してご支援賜った多くの皆様に深く感謝申し上げます。

平成21年3月吉日

岡山市教育委員会

文化財課 課長 神谷 正義

例 言

1. 本書は、岡山市教育委員会文化財課・岡山市埋蔵文化財センターが、2007（平成19）年度に実施した岡山市埋蔵文化財保護行政の概要報告である。
2. 本書は、第Ⅰ章を岡本芳明、第Ⅱ章を各担当者（各項目ごとに明記）、第Ⅲ章を田嶋正憲、第Ⅳ章を河田健司が分担した。なお、執筆者によって表記方法の一部に異なる部分があるが、統一はしていない。全体の編集は岡本が行った。
3. 遺物の実測や図の作成などにあたっては、木村真紀、石井亜希子、山元尚子の協力を得た。
4. 第Ⅱ章は、整理途中の遺跡があるため正式な報告書の刊行により訂正される場合がある。
5. 本書に関する実測図、写真、遺物等は、岡山市埋蔵文化財センター（岡山市網浜834-1）で保管している。
6. 本書の刊行にあたり、ご教示、ご指導を賜った関係各位に厚くお礼申し上げます。

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| I 岡山市埋蔵文化財センターの組織と概要 | 1 |
| II 発掘調査等の概要 | 13 |
| III 彦崎貝塚の国史跡指定経緯とその概要 | 33 |
| IV 埋蔵文化財保護等に関する協議・調査 | 41 |

I 埋蔵文化財センターの組織と概要（平成19年度）

1. 施設の概要

〔鉄筋コンクリート3階建〕

敷地面積：2442.85㎡ 建築面積：845.09㎡ 延床面積：1895.79㎡

1階：747.15㎡ 2階：736.84㎡ 3階：412.30㎡

〔主要部屋面積〕 1573㎡

| | | | |
|---------|------|-----------|------|
| ●公開スペース | 207㎡ | ●事務スペース | 93㎡ |
| 展示 | 165㎡ | 事務室 | 44㎡ |
| 収蔵品展示室 | 36㎡ | 会議室 | 49㎡ |
| 図書コーナー | 6㎡ | ●研究スペース | 898㎡ |
| ●作業スペース | 194㎡ | 研究室・図面整理室 | 90㎡ |
| 遺物整理室 | 105㎡ | 書庫 | 81㎡ |
| 水洗室 | 24㎡ | 写場 | 27㎡ |
| 鉄器処理室 | 26㎡ | ●収蔵スペース | 845㎡ |
| 木器処理室 | 21㎡ | 特別収蔵庫 | 29㎡ |
| 仮収蔵庫 | 18㎡ | 収蔵庫 | 816㎡ |

開館 平成12年4月18日

展示室の公開

月曜日から土曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日及び年末年始の休日を除く）

公開時間

午前9時～午後4時30分まで



施設外観

2. 岡山市埋蔵文化財センターの組織

岡山市教育委員会

文化財課

| | |
|---------|-------|
| 課長 | 平松 省三 |
| 参事 | 出宮 徳尚 |
| 文化財副専門監 | 乗岡 実 |
| 主事 | 草原 孝典 |
| 文化財保護主事 | 河田 健司 |
| 主事 | 柿本 貴子 |
| 臨時 | 都井 京子 |

埋蔵文化財センター

| | |
|-------------------------|-------|
| 文化財副専門監 (埋蔵文化財センター長) | 神谷 正義 |
| 主査 | 扇崎 由 |
| 主任 | 長谷川一英 |
| 主任 | 高橋 伸二 |
| 主任 | 安川 満 |
| 文化財保護主事 | 岡本 芳明 |
| 文化財保護主事 | 田嶋 正憲 |
| 文化財保護主事 | 西田 和浩 |
| 嘱託 | 木村 真紀 |
| 嘱託 | 石井亜希子 |

3. 事業の概要

(1) 来館者数

開所 8 年目となる平成19年度の来館者は、748人であった。月平均62人が来館している。平成18年度と比べ、294人増加した。来館者の大幅な増加は、平成19年度から新たに定期講座（年10回）を開催したためである。今後もよりいっそう周知と活用に努めたい。

岡山市埋蔵文化センター来館者数

(H19.4～H20.3)

| 年・月 | H19.4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | H20.1 | 2 | 3 | 計 |
|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|----|----|---------------|
| 人 | 4 | 59 | 54 | 78 | 70 | 84 | 96 | 92 | 71 | 79 | 49 | 12 | 748 (+294) |

(2) 定期講座

平成19年度から、埋蔵文化財行政への理解と周知化および当センターの周知を目的に開催。岡山市内の各時代の概要を説明する講座と遺跡紹介の2本立て構成で、ほぼ毎回、定員を超える申込があった。好評であるため、次年度以降も継続して実施していく予定である。

定期講座の内容と受講者数

| 日付 | | 内容 | 講師 | 受講者数 |
|-------|------|---------------------------------------|---------------|------|
| 5/19 | 第1回 | 旧石器時代 変わる旧石器時代のイメージ 遺跡紹介 津島江道遺跡 | 西田和浩 神谷正義 | 35 |
| 6/16 | 第2回 | 弥生時代Ⅰ 弥生時代の集落から見た吉備の成立 遺跡紹介 東大寺瓦窯跡 | 草原孝典 岡本芳明 | 41 |
| 7/21 | 第3回 | 弥生時代Ⅱ 弥生時代の木器の見方・使い方 遺跡紹介 彦崎貝塚 | 扇崎 由 田嶋正憲 | 41 |
| 8/18 | 第4回 | 縄文時代 縄文時代前期の交易と土器の広がり 遺跡紹介 吉野口遺跡 | 田嶋正憲 草原孝典 | 52 |
| 9/15 | 第5回 | 古墳時代Ⅰ 弥生時代の墓から古墳へ 遺跡紹介 南方遺跡 | 長谷川一英 扇崎 由 | 52 |
| 10/20 | 第6回 | 古墳時代Ⅱ 吉備の大型古墳の変遷と性格 遺跡紹介 新庄尾上遺跡 | 安川 満 長谷川一英 | 61 |
| 11/17 | 第7回 | 古代 官衙と集落 遺跡紹介 備中高松城 | 草原孝典 高橋伸二 | 48 |
| 12/15 | 第8回 | 中世Ⅰ 考古学の成果から見た鹿田庄 遺跡紹介 造山2・4号墳 | 神谷正義 安川 満 | 63 |
| 1/19 | 第9回 | 中世Ⅱ 中世寺院の形態と性格 遺跡紹介 大廻小廻山城跡 | 高橋伸二 乗岡 実 | 63 |
| 2/16 | 第10回 | 近世 近世陶磁器の出土状況 遺跡紹介 賞田廃寺跡 | 河田健司 高橋伸二 | 41 |

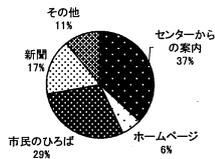
<定期講座受講者アンケート集計結果>

平成19年12月15日の講座終了後に実施。当日の受講者数63人中55名の回答があった。

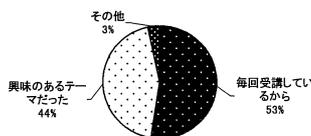
受講者の半分以上がほぼ毎回受講している。広報紙による案内（市民のひろば）以外に、前回の講座参加者や発掘調査現地説明会の参加者には、講座案内をハガキで通知しているが、その案内ハガキを見て申込をする人が4割弱あり、講座以外で当センターに来館したことがある人が7割近く占める。参加者の多くが、これまでの文化財センター行事に何らかの関わりがあったようであるが、一方で講座によって当センターの所在を知った方もいる。講座の内容や時間は、現状で良いようであるが「遺跡めぐり」や「体験学習」を希望する方も多い。これらの意見をふまえて今後役に立てたい。

また、受講者の年齢層が年配の方に偏っているように感じられた。利用率の低い若年層の取り込みなども今後の課題となってくるであろう。

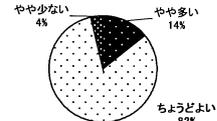
この講座を何で知りましたか？



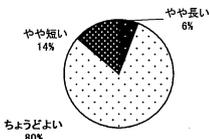
どうして今回の講座をうけられましたか？



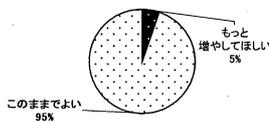
講座の受講生の人数は？



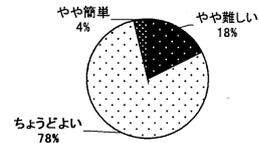
講座の時間は？



現在、月に1回講座を行っています、講座の回数は？

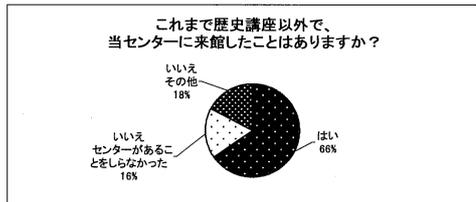


講座の内容は？



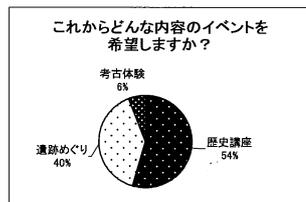
●「おもしろかった・もっと詳しく話をききたかった」講座は？

弥生時代・古墳時代、榑築弥生墳丘墓、新庄尾上、彦崎貝塚、現地見学会（網浜茶臼山）、造山2・4号墳、鹿田庄、国府関連、高松城址、岡山城下の段、みそのお



●当センターの展示品で好きなもの、印象に残ったものは？

- 石器
- 岡山の弥生、古墳時代
- 弥生土器、須恵器
- 南方遺跡の木製品
- 埴輪 家形埴輪
- 特殊器台
- 銅鐸
- 安住院出土の鎮魂具
- 岡山城の資料、瓦
- どれも興味深かった
- 土器などが時代でどう変化しているのか、説明がほしい



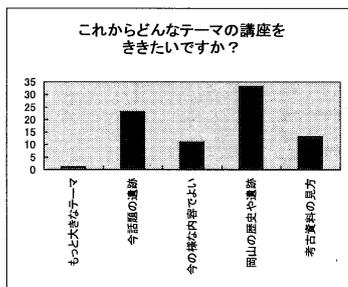
●具体的には...

<遺跡めぐり>

- 旧岡山市内近郊の古墳
- 操山の古墳
- 石室の中に入れる古墳
- 大廻小廻
- 御津地域周辺
- 古代吉備国
- 古代、中世等の遺跡
- 津島、百間川
- 児島半島
- 彦崎貝塚
- 月の輪古墳
- 五万原弥生住居跡
- 纏向遺跡

<考古体験>

- 発掘
- 出土遺物の復元
- 糸つむぎ



●具体的には？

- 縄文、弥生の遺跡
- 平安以前の民俗
- 古代、中世の遺跡
- 鎌倉から江戸時代にかけての、中世～近世
- 安土、桃山時代
- 戦国時代
- 吉備の穴海の変遷とその当時の人々の生活様式
- 瀬戸内海の歴史をもっと知りたい
- 岡山の弥生集落の社会構造
- 吉備における弥生から古墳にかけての鉄の生産流通の変化
- 岡山城下の段の調査がおこなわれた過程
- 岡山城に関するもの
- 宇喜多直家が岡山へ進出した石山の発掘調査・結果など
- 旧内山下小の西手櫓周囲の発掘調査の結果
- 国高廻りの古墳
- 岡山市御津地域遺跡群
- 吉備津彦神社周辺の遺跡・遺構
- 上道の王権の成立、終末など古墳を通じて説明してほしい
- 勝負古墳
- 古代吉備国
- 矢掛町里山田の弥生？遺跡や、北原町上水田？の古墳などの、吉備中樞権力との関わり・地域に占める位置などを知りたい
- 200～300年頃の北九州・吉備・出雲の関係
- 律令制度
- 国府
- 家族
- 神社、寺など（上物）
- 古代、近現代など岡山地方のこと
- 岡山の成り立ちを考えるもの
- 岡山出身の人物など（近代の人・もの等）
- 市民向けの聞きやすいもの
- その当時の実生活と比較した説明に重点を置いてほしい
- 国家の形成について、我が国の国家の成り立ち
- デスクワークとフィールドワークを組み合わせる現地めぐりを企画してもらいたい
- 弥生時代あるいは大和など特化したテーマ
- 諸国近辺と岡山地方のつながり、関わり方など

●当センター講座への希望や要望など

- 岡山市に限定せず、吉備路全般など一体化して講義をうけてみたい
- 1回に2つは無理と思う。1つのテーマでゆっくりききたい
- 熱心にやってもらっている。運営上落ちはないと思う。（一層のPRを乞う）
- この講義があると知らなかった。もっとPRしてほしい。
- もう少し鮮明な印刷資料がほしい
- 冬季休憩後、空調は切らないでほしい。室温が下がって寒い。
- 時間厳守。パソコン操作の完全マスター。
- これからも継続してほしい
- 歴史的内容（文献など）も加えてほしい
- スライドの高さを上げてほしい（後ろは見えない）
- スライドの図、写真などは出来るだけ資料に載せてほしい
- ウィークデイにしてほしい
- メルマガをお願いします
- 人数が多いときは椅子だけの席ばかりでもよいのでは
- 春や秋に遺跡見学会をひらいてもらいたい
- スライドの投影だけでなく、センターに保管されている出土品のうち、関係するものを数点でも会場に展示してかきせつも加えてもらいたい

(3) 資料の貸出

| 遺跡名等 | 資料名 | 点数 | 貸出期間 | 貸出先 | 事由 |
|------------|----------------------|---------|-------------------------|------------------------------|---|
| 造山2号古墳 | 円筒埴輪 | 1 | 19. 4. 1～ | 岡山県立吉備路郷土館 | 常設展示 |
| 造山古墳 | 円筒埴輪 | 1 | 20. 3. 31 | | |
| 北方長田遺跡 | 弥生土器 器台と壺 | 一式 | 19. 4. 1～ 20. 3. 31 | 岡山市水道局水質試験所 | 常設展示 |
| 南方(済生会)遺跡 | 長弓 | 1 | 19. 4. 9～ 19. 7. 20 | 大阪府立弥生文化博物館 | 平成19年春季特別展「稲作とともに伝わった武器」 |
| | 短弓 | 1 | | | |
| | 組み合わせ式短甲 | 6 | | | |
| | 盾 | 1 | | | |
| | 戈形木製品 | 1 | | | |
| | 戈の柄 | 1 | | | |
| | 刀形木製品 | 1 | | | |
| | 銅剣形木製品 | 1 | | | |
| | 棍棒 | 2 | | | |
| 武器形(刀形)木製品 | 1 | | | | |
| 津寺遺跡 | 人形土製品 | 1 | 19. 5. 29～ 19. 6. 20 | 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター | 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター20年の発掘成果展「自然と人間、地中に埋もれた命の対話」 |
| 南方遺跡 | 木製盾 | 2 | | | |
| | 石鏃の刺さった盾 写真 | 1 | | | |
| 大供本町遺跡 | 焼夷弾 | 1 | | | |
| すくも山遺跡 | 五輪塔 | 1 | | | |
| 彦崎貝塚 | 縄文土器 | 8 | 19. 6. 上旬～19. 9. 中旬 | 岡山県立博物館 | 平成19年度企画展「おかやま発掘最前線 ここまでわかった古代吉備」 |
| | 石器 | 8 | | | |
| | 貝製品 | 10 | | | |
| | 貝層剥ぎ取り | 1 | | | |
| | 発掘調査写真 | 3 | | | |
| 南方遺跡 | 弥生土器 | 7 | | | |
| | 発掘調査写真 | 2 | | | |
| ハガ遺跡 | 羊形硯 | 1 | | | |
| | 羊形硯(復元品) | 1 | | | |
| | 陶硯 | 3 | | | |
| | 瓦塔 | 2 | | | |
| | 墨書土器 | 1 | | | |
| | 奈良三彩 | 9 | | | |
| | 泥塔 | 2 | | | |
| | 瓦 | 1 | | | |
| | 土師器 | 3 | | | |
| 発掘調査写真 | 2 | | | | |
| 賞田廃寺 | 瓦 | 8 | | | |
| | 発掘調査写真 | 2 | | | |
| 南方遺跡 | キビ付着土器 | 2 | 19. 6. 15～ 19. 9. 20 | 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館 | 特別企画「弥生はいつから!? - 年代研究の最前線」展 |
| 岡山城本丸下の段 | 旧第一中学校関連資料 | 一括 | 19. 6. 16～ 19. 7. 18 | 岡山市デジタルミュージアム | 「第30回 岡山戦災の記録と写真展」 |
| 岡山城三之曲輪跡 | 旧女子師範学校関連資料 焼夷弾信管 | 一括 1 | | | |
| 政田民俗資料館所蔵品 | 焼夷弾 | 1 | 19. 7. 2 | 個人 | 岡山市立朝日小学校での講演で使用 |
| | 防空頭巾 | 1 | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---------------------|---|-----------------------------|----------------------------|---------------------------------------|--------------------------|---------------------------|--|
| 南方(済生会)遺跡 | 組合式木甲 写真 | 1 | 19. 7. 24~ 19. 10. 20 | 下関市立考古博 物館 | 「木の文化ーハレとケの世界ー」展 | | | |
| | 戈の柄 写真 | 1 | | | | | | |
| | ジョッキ形木器 (黒漆塗り)写真 | 1 | | | | | | |
| 吉野口遺跡 | 管玉 | 1 | 19. 7. 26~ 19. 8. 3 | 国立大学法人熊 本大学埋蔵文化 財調査室 | 石材の化学的分析 | | | |
| 南方遺跡 | 彩文杓子 | 1 | 19. 9. 上旬 ~19. 11. 下旬 | 岡山市デジタル ミュージアム | 特別展「うるしの技 木の技 ーおかやまの木工芸いまむ かしー」 | | | |
| | 漆塗木甲 | 1 | | | | | | |
| | 戈の柄 | 1 | | | | | | |
| | 斧直柄未製品 | 1 | | | | | | |
| | 斧直柄 | 1 | | | | | | |
| | 斧膝柄 | 3 | | | | | | |
| | 蛤刃石斧製作工程 | 1 | | | | | | |
| | 扁平片刃石斧 | 1 | | | | | | |
| | 柱状片刃石斧 | 1 | | | | | | |
| | 鑿状鉄製品 | 1 | | | | | | |
| | 板状鉄斧 | 1 | | | | | | |
| | 銅剣形木製品 | 2 | | | | | | |
| | 縦杓子 | 1 | | | | | | |
| | 斧直柄 | 1 | | | | | | |
| | ジョッキ | 1 | | | | | | |
| | コップ | 3 | | | | | | |
| | 刳抜式箱 | 1 | | | | | | |
| | 刳抜式箱蓋 | 1 | | | | | | |
| 合子 | 2 | | | | | | | |
| 組み合わせ箱 | 2 | | | | | | | |
| 川入遺跡 | 小皿 | 2 | | | | | | |
| | 椀 | 1 | | | | | | |
| 長坂1号墳 | 特殊な器台 | 1 | 19. 9. 11~ 20. 1. 16 | 島根県立古代出 雲歴史博物館 | 平成19年度企画展「弥生王 墓の誕生」 | | | |
| | 特殊壺 | 3 | | | | | | |
| | 発掘調査写真 | 1 | | | | | | |
| 北方長田遺跡 | 器台 | 1 | | | | | | |
| | 把手付き壺 | 1 | | | | | | |
| 平岡西遺跡 | 装飾壺 | 3 | | | | | | |
| | 装飾器台 | 1 | | | | | | |
| | 直口壺 | 1 | | | | | | |
| | 器台 | 2 | | | | | | |
| | 発掘調査写真 | 3 | | | | | | |
| みそのお遺跡 | 装飾高杯 | 1 | | | | | | |
| | 装飾器台 | 1 | | | | | | |
| | 大型壺 | 1 | | | | | | |
| | やりがんな | 1 | | | | | | |
| | 鉄鏃 | 3 | | | | | | |
| 岡山城二の丸 | 金箔おし鬼面鬼瓦 | 1 | | | | 19. 9. 12~ 20. 3. 31 | 岡山市デジタル ミュージアム | 常設展示 |
| 足守文庫 | 緒方洪庵和歌 | 1 | | | | 19. 9. 15~ 19. 11. 20 | 岡山市、岡山市 観光協会、山陽 新聞社 | 平成19年度岡山城秋季特 別展「蘭方医 緒方洪庵と 周辺の人々」 |
| | 扶氏医戒之略 | 1 | | | | | | |
| | 虎狼痢治準 | 1 | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|------------------|-----|------------------------------|--------------------|---|
| 伝 千足古墳 | だ龍鏡 | 1 | 19. 9. 18～ 19. 12. 21 | 大阪府立近つ飛 鳥博物館 | 平成19年度秋季特別展『横 穴式石室誕生－黄泉国の 成立－』 |
| | 巴形銅器 | 3 | | | |
| | 勾玉 | 2 | | | |
| | 管玉 | 17 | | | |
| | 棗玉 | 3 | | | |
| | ガラス小玉 | 11 | | | |
| 伝 千足古墳 | だ龍鏡 写真 | 1 | | | |
| 千足古墳 | 石障の直弧文 写真 | 1 | | | |
| | 巴形銅器(集合) 写真 | 1 | | | |
| | 玉類 写真 | 1 | | | |
| 足守文庫 | 旧足守藩主木下家歴史 資料 | 16 | 19. 10. 15 ～19. 12. 12 | 高台寺掌美術館 | 2007年秋の特別展「秀吉と ねねの親族－備中足守藩 木下家がつたえたもの－」 |
| 瀬戸町郷土館 所蔵品 | 宇垣一成関係資料 | 4 | 19. 11. 16 ～19.11.27 | 個人 | 宇垣一成生家の特別開館 |
| 政田民俗資料館 所蔵品 | 石盤 | 2 | 19. 12. 5 | 個人 | 岡山市立太伯小学校 3年 の総合学習の資料 |
| | 鞆 | 1 | | | |
| 陣場山遺跡 | 円筒埴輪(鹿の線刻) | 1 | 20. 2. 15～ 20. 6. 20 | 岡山県立博物館 | 常設展示「古代吉備の世界 －岡山県内の考古資料－」 |
| 南方(済生会)遺跡 | 出土遺物 | 208 | 20. 3. 20～ 21. 3. 31 | 岡山市デジタル ミュージアム | 展示室「岡山人のものづくり ／木の文化」 |
| 政田民俗資料館 収蔵品 | | 3 | | | |
| 灘崎町歴史文化 資料館収蔵品 | | 3 | | | |
| 天瀬遺跡 | 器台形土器 | 1 | 20. 3. 27～ 20. 6. 20 | 岡山県立博物館 | 常設展「岡山の絵画土器」 |
| 津島江道遺跡 | 壺形土器片 | 1 | | | |
| 新庄尾上遺跡 | 土器破片 | 1 | | | |
| 平岡西遺跡 | 長頸壺形土器 | 1 | | | |
| 鍛冶屋谷遺跡 | 土器破片 | 1 | | | |
| 彦崎貝塚 | 出土品 | 20 | 20. 3. 28～ 20. 3. 29 | 彦崎地区明るい 町づくり協議会 | 地域総合ふれあい活動の 一環で灘崎公民館彦崎分 館において展示 |
| | 写真パネル | 10 | | | |

(4) 掲載許可等

| 許可日 | 遺跡名等 | 資料名 | 点数 | 依頼主 | 許可誌等 |
|------------|--------------|---|-------------|------------------------|--------------------------------------|
| 19. 4. 18 | 南方遺跡 | 琴 図面 | 1 | 個人 | 論文掲載 |
| 19. 5. 15 | 南方遺跡 | 剣形木製品 写真 | 1 | 株式会社 小学館 | 『日本の歴史』第1巻「列島創世記」 |
| 19. 5. 15 | 大廻小廻山城跡 | 発掘調査写真 | 5 | 周留城出版社 | 季刊『韓国の考古学』第4号 |
| 19. 5. 24 | 近水園 | 紅葉風景 画像データ | 1 | 株式会社 イメージング・ワークス | びあ「日本一のドライブロードを探せ！」 東日本版・西日本版 |
| 19. 6. 4 | 旧旭東幼稚園園舎 | 空中写真 | 1 | 岡山市国公立 幼稚園退職園長会 | 平成19年度総会 記念葉書 |
| 19. 7. 17 | 大廻小廻山城跡 | 『大廻小廻山城跡発掘調査報告』1989年刊 『大廻小廻山城跡の謎に迫る』2006年刊 | | 福岡県立アジア文化交流センター | 九州国立博物館のインターネットサイト内にPDFデータを公開 |
| 19. 7. 11 | 南方(済生会)遺跡 | 木甲復元写真 | 1 | 株式会社 小学館クリエイティブ | 『一冊でわかる イラストでわかる 図解古代史』 |
| 19. 9. 5 | 旧岡山藩藩学 | 画像データ | 1 | 株式会社 山川出版社 | 日本史学習用副教材『日本史図録』(仮称) |
| 19. 9. 6 | 近水園 | 紅葉風景 画像データ | 1 | ウィルシステム・イン コーポレイテッド | 「るるぶ.com季節特集紅葉とれたて便2007(仮)」 |
| 19. 9. 14 | 彦崎貝塚 岡山城跡 | 「彦崎貝塚および岡山城出土魚類の炭素・窒素同位体分析」『彦崎貝塚2』2007年刊 | | 個人 | 論文掲載、研究発表 |
| 19. 9. 26 | 近代化遺産 | 京橋水管橋 画像データ 旧京橋火の見やぐら 画像データ | 1 1 | 株式会社 R&B | 産業構造物にみる近代化遺産巡り探検ガイドブック(課題) |
| 19. 9. 27 | 造山古墳 | 前方部上の石棺 画像データ | 1 | 有限会社 南々社 | 『瀬戸内海事典』 |
| 19. 10. 4 | 近水園 | 吟風閣の写真撮影 | 1 | 株式会社 本田デザインオフィス | 新日軽株式会社 カレンダー「日本の建築」 |
| 19. 11. 12 | 近水園 | 吟風閣 画像データ | 1 | 株式会社 エントリー | ホテルオークラ・オープン記念特別企画「歴史の舞台を訪ねる旅」 |
| 19. 11. 20 | 足守文庫 | 扶氏医戒之略 | 1 | | |
| 20. 1. 23 | 瀬戸町郷土館所蔵品 | 宇垣一成関係資料 | 2 | 岡山県備前県民局 | 「備前おかやま ふるさと歴史逍遙」(仮称) |
| 20. 1. 23 | 政田民俗資料館所蔵品 | 発動機 | 1 | | |
| 20. 2. 13 | 彦崎貝塚 | 猪牙製ペンダント 写真 3・4号土壌墓 写真 俯瞰 写真 | 1 1 1 | 岡山県古代吉備文化財センター | 岡山県古代吉備文化財センターのホームページ |
| 20. 2. 15 | 旧旭東幼稚園園舎 | 外観及び園舎内の撮影 | | (株)テレビせとうち クリエイト | 「岡山・香川の近代化遺産」 |
| 20. 3. 4 | ハガ遺跡 賞田廃寺 | 遺跡写真(E区空撮) 遺構写真(西塔基壇) | 1 1 | 岡山県古代吉備文化財センター | 発掘調査パンフレット「発掘 高島の昔 IV」 |
| 20. 3. 10 | 彦崎貝塚 岡山城跡 | 魚類の骨格標本 写真 魚類の骨格標本 写真 | 1 1 | 個人 | 日本水産学会監修ベルソープックシリーズ「クロダイの生物学とチヌの釣魚学」 |
| 20. 3. 10 | 新庄尾上遺跡 | 鳥装の司祭者を描く土器片 写真 | 1 | 石川県立歴史博物館 | 平成20年度春季特別展図録『弥生のミラの風景―越のクニ生み・境界・交流』 |

(5) 資料調査

| 氏名 | 所属 | 資料名 |
|---------|--------------|------------------------|
| 杉山 晋作 他 | 国立歴史博物館 | 埴輪 |
| 上山 薫 | 奈良大学 | 塚段1号 ガラス玉 |
| 大智 恵理子 | 岡山大学 | 岩井山古墳群 陶棺 |
| 下元 優 | 広島大学大学院 | 賞田廃寺 鬼瓦・鴟尾 |
| | | 幡多廃寺 鬼瓦・鴟尾 |
| 杉山 和徳 | 愛媛大学大学院 | みそのお遺跡38・42号墳 鉄剣 |
| 荒木 幸治 | 赤穂市教育委員会 | 彦崎貝塚 石器 |
| 片山 健太郎 | 岡山大学大学院 | 三手向原遺跡 土師器 |
| | | 三手(庄内幼稚園)遺跡 土師器 |
| | | 東岡山遺跡 土師器 |
| 難波 有紀 | 愛媛大学 | 幡多廃寺 高杯 |
| | | 南方市道遺跡 高杯 |
| | | 赤田東遺跡 高杯 |
| | | みそのお遺跡 高杯 |
| 田中 里奈 | 京都府立大学 | 妹尾住田遺跡 越州窯系青磁 |
| | | 南古市場遺跡 越州窯系青磁 |
| 水野 敏典 | 奈良県立橿原考古学研究所 | みそのお遺跡14・35・41・42号墳 鉄器 |
| 神尾 恵一 | 日本考古学協会 | 上伊福九坪遺跡 銅鐸形土製品 |
| 大賀 克彦 | 島根県古代文化センター | 一国山古墳群 玉類 |
| | | 南坂古墳群 玉類 |
| | | 猪ノ坂東古墳 玉類 |

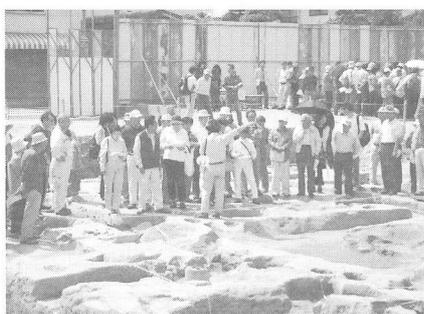
(6) 視察他

| 年月日 | 機関名等 | 人数 | 目的 |
|------------|--------------------|----|----|
| 19. 5. 2 | 岡山市副市長 | 1 | 視察 |
| 19. 5. 2 | 文化庁調査官 | 1 | 視察 |
| 19. 5. 15 | 山陽学園大学 | 3 | 見学 |
| 19. 5. 24 | 岡山県古代吉備文化財センター | 3 | 見学 |
| 19. 6. 12 | 岡山タクシー 歴史研究会 | 7 | 見学 |
| 19. 7. 9 | 埴輪研究会 | 18 | 見学 |
| 19. 7. 17 | 明治大学 博物館友の会 | 8 | 見学 |
| 19. 7. 23 | 東京大学 古代史ゼミ | 4 | 見学 |
| 19. 8. 7 | 岡山理科大学 富岡ゼミ | 4 | 見学 |
| 19. 9. 4 | 奈良大学 埴野ゼミ | 11 | 見学 |
| 19. 10. 4 | 平井東山ウォーキング | 11 | 見学 |
| 19. 10. 29 | 安住院 | 4 | 見学 |
| 19. 10. 30 | 安住院 | 1 | 見学 |
| 19. 11. 1 | 安住院 | 2 | 見学 |
| 19. 11. 2 | 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 | 12 | 視察 |
| 19. 11. 2 | 山陽女子高校 化学部 | 3 | 見学 |
| 19. 11. 8 | 安住院 | 3 | 見学 |
| 19. 12. 20 | 安住院 | 1 | 見学 |
| 19. 12. 21 | 安住院 | 1 | 見学 |

(7) 主な発掘調査および現地説明会

平成19年度に実施した主要な発掘調査および現地説明会は下記の通りである。

- 岡山城三之外曲輪跡 岡山市蕃山町
(中央中学校) 平成19年4月1日～平成19年10月31日
発掘調査現地説明会 平成19年5月12日 参加者約200人
- 史跡岡山城跡 岡山市丸の内
(本丸下の段) 平成19年10月1日～平成20年3月31日
発掘調査現地説明会 平成20年3月1日 参加者約300人
- 大供本町遺跡 岡山市大供本町
平成19年11月8日～平成20年3月31日
発掘調査現地説明会 平成20年3月15日 参加者約200人
- 備前国府関連遺跡 岡山市国府市場
平成19年12月10日～平成19年12月28日



岡山城三之外曲輪跡 現説



史跡岡山城跡 現説



大供本町遺跡 現説

(8) 埋蔵文化財発掘調査速報展および埋蔵文化財発掘調査報告会

平成3年度より、文化の日を中心とする文化財保護強調週間(11月1日～11月7日)にあわせて前年度の調査成果を紹介する埋蔵文化財発掘調査速報展と埋蔵文化財発掘調査報告会を開催している。

なお、速報展については、市町村合併に伴い旧町地域の施設での巡回展示を行った。

①埋蔵文化財発掘調査速報展

<期間および開催場所>

平成19年10月29日(月)～10月31日(水) 岡山市本庁舎1階市民ホール

平成19年11月13日(火)～11月18日(日) 岡山市灘崎町歴史文化資料館

平成19年11月20日(火)～11月25日(日) 岡山市御津町郷土歴史資料館

平成19年11月28日(水)～12月2日(日) 岡山市建部町図書館内江坂コレクション展示室

平成19年12月5日(水)～12月16日(日) 岡山市瀬戸公民館

<内容>

岡山城三之外曲輪跡・史跡岡山城跡・彦崎貝塚・賞田廃寺・

万富東大寺瓦窯跡・江坂コレクション(願成寺跡、豊楽寺)

②埋蔵文化財発掘調査報告会

期日：平成19年11月10日(土)

場所：岡山市埋蔵文化財センター

内容：速報展で展示した遺跡のスライド写真による紹介と出土品の解説

(9) 職場体験の受け入れ

市内の中学校において実施されている、職場体験学習の受け入れを行っている。平成19年度は竜操中学校の生徒が来所し、出土遺物の整理作業を体験した。また市内発掘現場において、発掘作業を体験した学校（竜操中学校）もあった。



史跡岡山城跡での発掘作業体験

(10) 報告書等の刊行

『岡山城三之外曲輪跡・旧岡山藩学校跡－岡山市立岡山中央中学校校舎改築に伴う発掘調査－』

『彦崎貝塚3－範囲確認調査報告書（縄文晩期）－』

『金蔵山古墳－後円部墳端の調査－』

『醫王谷古墳 醫王谷遺跡－農地等高度利用促進事業（圃場整備）に伴う発掘調査－』

『備中高松城水攻め築堤跡－高松城水攻め築堤公園建設に伴う確認調査－』

『岡山市埋蔵文化財センター年報7 2006（平成18）年度』

(11) ホームページの公開

平成13年度に当センターのホームページを開設。施設の案内や収蔵品の紹介、センターで実施している発掘調査や講座、展示会などの情報を掲載している。

○センターの案内

「来館案内」センターの場所や開館情報を掲載

「施設案内」センターの設計・設備を紹介

「展示案内」展示室の様子を紹介。岡山市のネットミュージアム「リットシティミュージアム」で公開しているセンター展示室の3D映像へのリンクも併設

(URL <http://www.city.okayama.okayama.jp/museum/maizou/index.html>)

○センターの仕事

「センターの業務」センターの業務内容の紹介。

「出版物案内」センターおよび岡山市教育委員会文化財課が刊行している発掘調査報告書等の文化財関係出版物の紹介と案内

○もっと知りたい

「Q&Aコーナー」センター等に寄せられた質問等に回答するページ。

「リンクのコーナー」岡山市教育委員会文化財課や文化財関連施設、県内の発掘調査機関等のサイトへのリンク集。

○定期講座の案内

センターで開催している定期講座の案内。

○発掘調査情報

センターが実施している発掘調査・現地説明会の情報を掲載。また、例年開催している埋蔵文化財発掘調査速報展の情報・案内を掲載している。

平成19年度は下記の遺跡を掲載。

- | | |
|------------------|---------|
| ・岡山城三之外曲輪（中央中学校） | 岡山市蕃山町 |
| ・岡山城本丸下の段 | 岡山市丸の内 |
| ・大供本町遺跡 | 岡山市大供本町 |

○収蔵品紹介

センターの収蔵品を紹介するページ。「今月の一品」として収蔵品の解説を掲載している。「陳列室」では、これまでに紹介された収蔵品を一同に見ることができる。

・平成19年度の「今月の一品」

- 第73回 東大寺軒丸瓦 万富東大寺瓦窯跡
- 第74回 縄文土器 彦崎貝塚
- 第75回 防衛食容器 岡山城三之外曲輪跡（中央中）
- 第76回 焼夷弾の信管 岡山城三之外曲輪跡（弘西小）
- 第77回 文字瓦 賞田廃寺
- 第78回 中折れ下駄 岡山城三之外曲輪跡（中央中）
- 第79回 貝製指輪 南方（済生会）遺跡
- 第80回 初期伊万里の碗 東岡山遺跡
- 第81回 鹿の線刻文様ある円筒埴輪 陣場山遺跡
- 第82回 謎の骨 彦崎貝塚
- 第83回 精錬炉 岡山城三之外曲輪跡（中央中）

○岡山市の主要古墳（試作版）

岡山市域に所在する主要な古墳32基を紹介している。

○岡山市の発掘調査

岡山市教育委員会が1968年度以降実施した調査リスト。

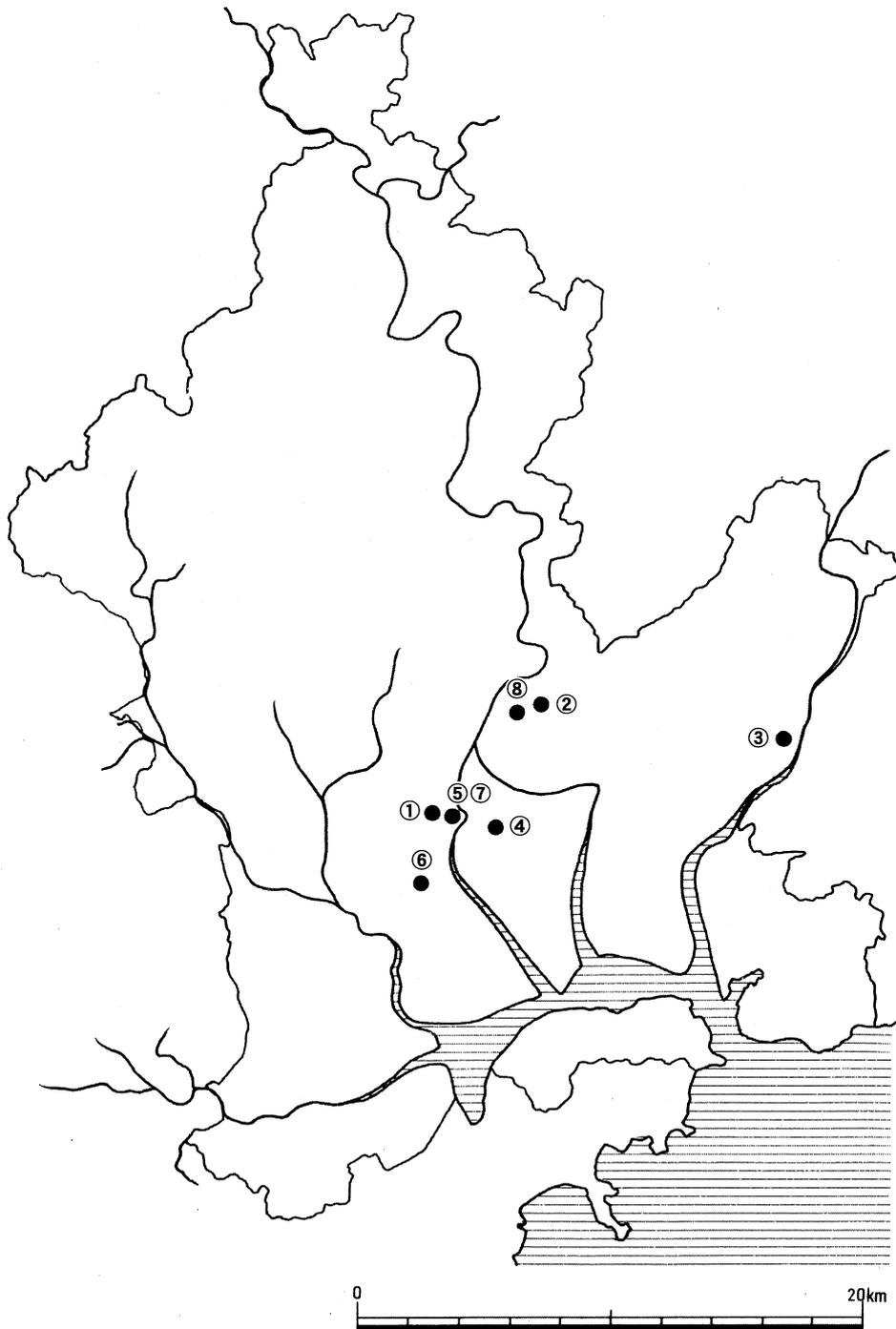
(12) その他

・全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会

- 平成19年度総会 平成19年5月24日・25日 鳥根県松江市
- 中国・四国・九州ブロック会議 平成19年9月6日・7日 鹿児島県鹿児島市
- 第20回研修会 平成19年11月21日・22日 沖縄県那覇市

Ⅱ 発掘調査等の概要

| | |
|------------------------|----|
| ①岡山城三之外曲輪跡 | 14 |
| ②浄土寺 | 16 |
| ③北ノ房古墳 | 19 |
| ④安住院多宝塔 | 21 |
| ⑤史跡岡山城跡本丸下の段（テニスコート跡地） | 23 |
| ⑥大供本町遺跡 | 26 |
| ⑦岡山城二の丸跡 | 30 |
| ⑧北国長遺跡 | 31 |



岡山城三之外曲輪跡

所在地 岡山市蕃山町 6 - 10
調査原因 市立岡山中央中学校校舎建設
時代 弥生時代～近世

調査期間 061113～071130
調査面積 約 800㎡
担当者 安川 満・田嶋正憲

遺跡の概要 岡山城三之外曲輪跡は岡山城の最外郭にあたり、現在の岡山市弓之町から天瀬に至る南北に長い部分を指す。

調査地点は岡山城三之外曲輪の北西部、外堀やその内側を廻る土塁に隣接する部分にあたる。当該地には寛文9(1669)年、岡山藩藩学が開設されており、調査地点の南、中学校敷地の一部は史跡に指定されている。調査地点は藩学中核施設の背後にあたり、調査区北半は藩学の縮小により十八世紀以降は武家屋敷地となる。明治時代以降は岡山県師範学校、岡山県女子師範学校などが置かれた。

調査の概要 調査は平成18年度からの継続であり、19年度は主に藩学開校以前の近世遺構面(近世遺構面3)、古代遺構面、弥生・古墳時代遺構面の調査を実施した。なお、調査範囲の内、北半部は藩学関連遺構の残存状況がよく、設計変更等により現状保存を検討することとなり、調査は南半部の約400㎡のみを対象としている。

近世遺構面3は岡山城三之外曲輪整備に伴う造成土の上面にあたり、標高2.5～2.7mの高さを測る。藩学期の遺構面とは厚さ60cmほどの造成土を隔てており、旧西校舎基礎の下面から検出したもの以外、明瞭に分離することができる。岡山城三之外曲輪が整備される十七世紀初頭から岡山藩藩学の造営工事が開始される寛文9年(1669)正月の間の遺構面ととらえられる。

検出遺構はSD320、SD321、SD470などの溝状遺構、SP291などのゴミの廃棄土坑とみられる遺構、井戸(SE292)、SP336などの柱穴、炉壁が多量に廃棄された土抗(SP334)などがある。藩学開校以前の調査地点は天台宗東叡山寛永寺の末寺である円乗院や武家屋敷地であり、検出遺構の大半はこれらの関連遺構や城下の水路などであると考えられる。

SD320は調査区のほぼ中央を南北に流れる大形の溝状遺構である。幅7～9m、底は標高1.2m程度で検出面から約1.3mの深さがある。埋土は黒色～オリーブ灰色の粘質土が中心で有機質や未分解の植物質を多く含み、概ね水のあまり流れない淀みような状態だったものと思われる。SD320北西部の上層



第1図 調査地点の位置 (S=1/5,000)



第2図 SD320

には幅50cm、高さ30cm程度の花崗岩割石を並べた列石が検出された。石材は標高2.1m程の高さの薄い砂層上に基礎構造などを伴わず直接置かれており、残りのよい部分でも二段しか残っていない。SD320の最終段階の護岸とみられ、この段階には幅1.5m、深さ0.5m程度の細い溝になっていたようである。SD320からは陶磁器類、土師質土器類のほか、椀、曲物、箱類、下駄などの木製品、小柄や銃弾など多量に出土しており、肥前産陶器では砂目積みの陶器皿や白化粧土の刷毛目、象眼技法を用いた「三島手」の皿など1610年代から1650年代に生産されたとされるものが目立つ。また、備前焼播鉢の特徴も17世紀前半代に位置付けられるものである。藩学開校以前の城下図にはこの付近に南北方向の水路が描かれているものがあり、SD320はこの水路に相当すると考えられる。

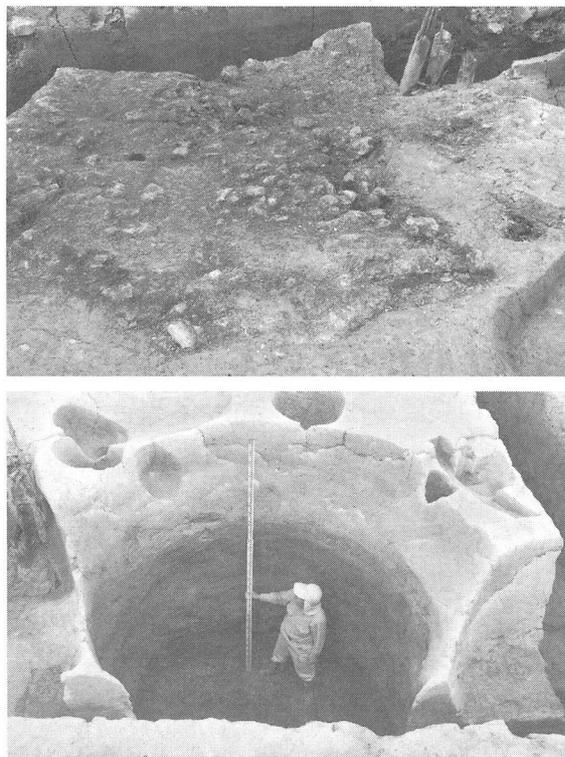
SP334は深い素堀井戸状の土坑だが、上層にいわゆる甑炉と思われる精錬炉の炉壁やふいごの羽口が多量に廃棄されていた。炉壁はコンテナ20箱ほどの量が出土しており、胎土の特徴に二種類が存在すが、一基の炉を構成するものと思われる。炉は内径60cmほどの

円形に復元でき、丸い底部、側面に送風口を持つ筒状の部分などを重ね漆喰で接合、金輪で固定する構造と見られる。内部には所々緑青が浮き出した部分があり、銅の精錬炉である可能性が高い。SP334は炉壁が多量に投棄された特徴的な遺構ではあるが、それ以外の出土遺物が少なく時期を限定することが困難である。1点のみではあるが、16世紀末から1610年代に生産されたとされる肥前陶器が出土しており、岡山城三之外曲輪造成当初の段階に遡る遺構である可能性がある。また、直接精錬が行われた部分などは調査範囲からは検出されていないが、炉壁が多量に投棄された状況からも付近に、おそらく銅の精錬関係の構造物があったものと見られ、三之外曲輪の造成や城内の整備段階にそれに資材を供給する工房などである可能性が考えられる。

さらに下層では標高2.1m程度の薄い洪水砂層に覆われた面と、標高1.6～1.2mほどの微高地基盤層上面で遺構を検出しており、それぞれ古代遺構面、弥生・古墳遺構面としている。

古代遺構面ではSD471、SD472の大規模な溝もしくは流路がほぼ南北方向に検出され、SD472の西側に取り付くSD473、SD471の東側肩には畦畔とみられる黒褐色土の盛土が検出されている。SD472からは量は少ないながら、9世紀代のものとみられる坏類が出土している。

弥生・古墳遺構面は、調査区の東側が谷状に低くなっている。溝状遺構、土抗群を検出しており、集落周辺部の様相とみられる。土抗群は粘土採掘坑とみられ、不定形の平面形で、大半が深さ1m程度、下層の砂層上面付近まで掘削されている。底部付近で広がる断面形のものも多く、完形の壺、甕が一個体入っているものがあるほかは、ほとんど何も入っていない。基盤土のブロックを多量に含む土で埋められているか、放置されたとみられる細かいラミナ状の堆積が認められる。なお、土抗群からは弥生後期前半の土器が出土している。



第3図 SP334炉壁出土状況(上)と全景(下)



第4図 弥生・古墳時代遺構面

浄土寺

所在地 岡山市湯迫
調査原因 浄化槽埋設
時代 江戸時代

調査期間 070513～070514
調査面積 45㎡
担当者 高橋伸二・岡本芳明

遺跡の概要 岡山県指定史跡浄土寺は旭川東岸に位置する竜ノ口丘陵の南麓に所在する天台宗の寺院である。天平勝宝元年（749）報恩大師が創建したとされる備前四十八ヶ寺のひとつで、盛期には七堂伽藍を備えた広大な寺域を有しており、付近には伽藍由来すると見られる地名が多く残されている。鎌倉時代初頭に東大寺再建にあっていた重源が建てたとされる大湯屋跡が境内に残るほか、付近から東大寺の刻印瓦などが出土している。現在の本堂、客殿、庫裏、鐘楼、表門は江戸時代中期の建築である。

調査の概要 調査は客殿と庫裏の改築に伴い埋設される浄化槽部分の調査であるが、客殿の解体後に建物の基壇部と周辺部で遺構の確認調査を実施した。その結果、客殿周辺は表土直下のきわめて浅い部分から花崗岩バイラン土の地山が検出されることら、地山削り出しによる造成とみられる。また、門付近では地表下約1.5mで江戸時代の瓦を多量に含む焼土層が検出された。

浄化槽部は客殿が所在する段の西南の斜面部に位置するが、すでに過去の浄化槽により部分的な掘削を受けていたが、ここでも近・現代の造成土層の下は江戸時代の造成土がみられ、土坑2基と焼土層が検出された。土坑からは肥前系磁器や瓦が出土し、時期は概ね18世紀前半頃と考えられる。

まとめ 今回の調査では江戸時代の遺構と造成土を検出するにとどまり、江戸時代以前の瓦等は検出されなかった。このことから現在の浄土寺伽藍は江戸時代以後に造成され、現位置に移されたものと考えられる。



第1図 調査位置



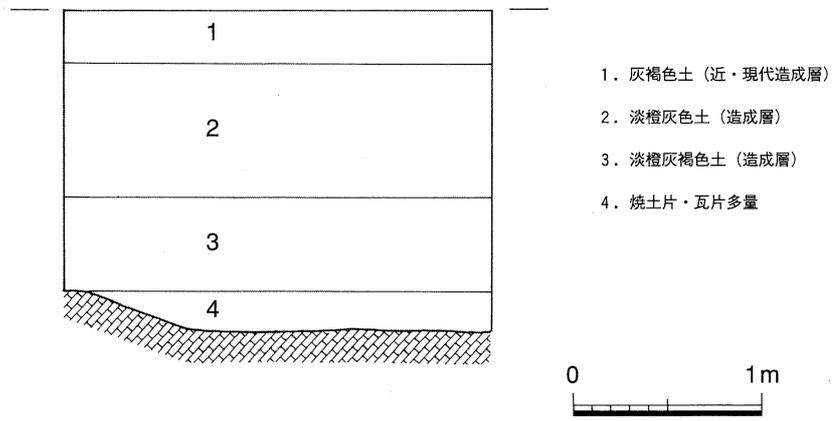
第2図 表門北トレンチ



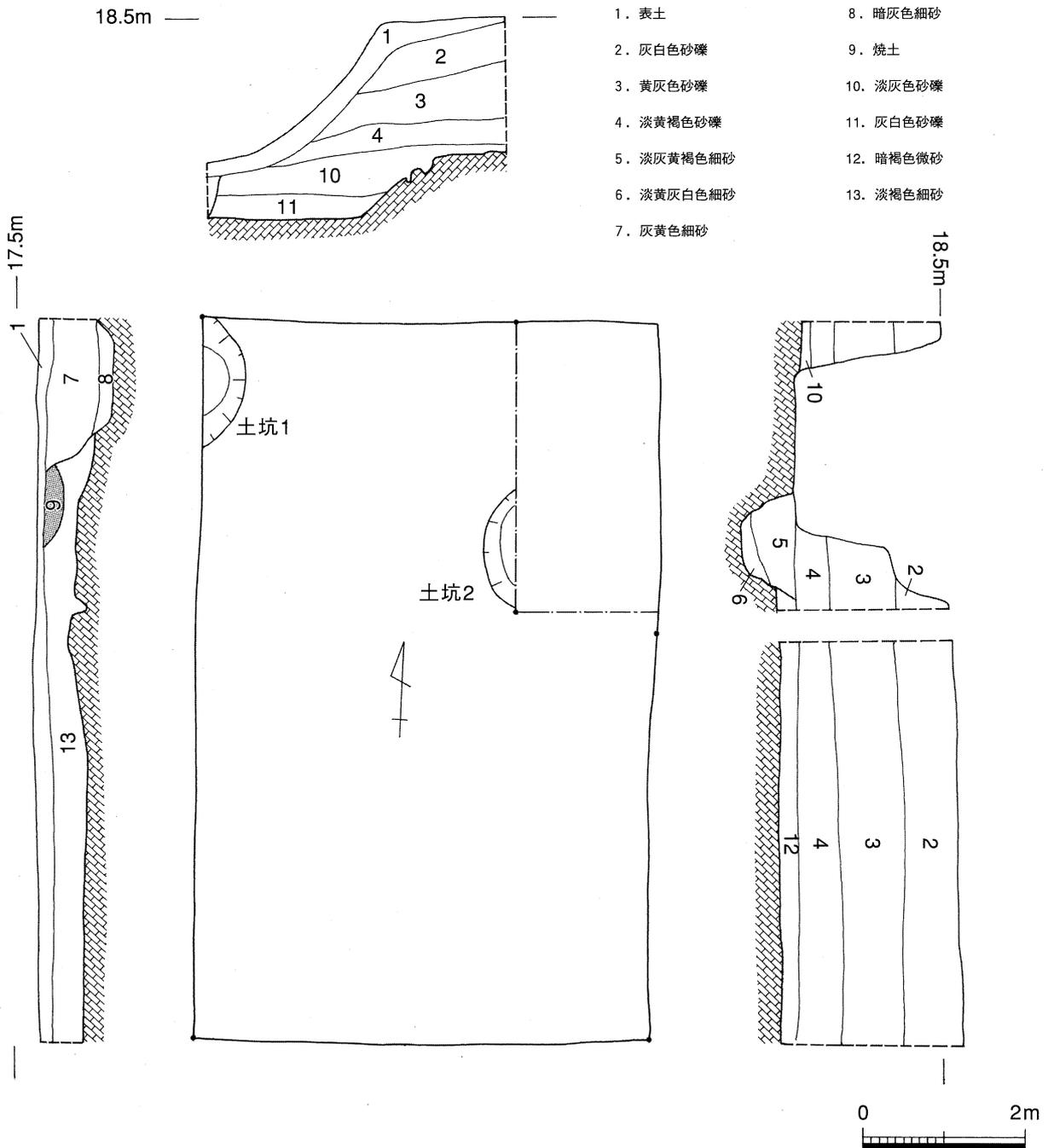
第3図 浄化槽部 東から



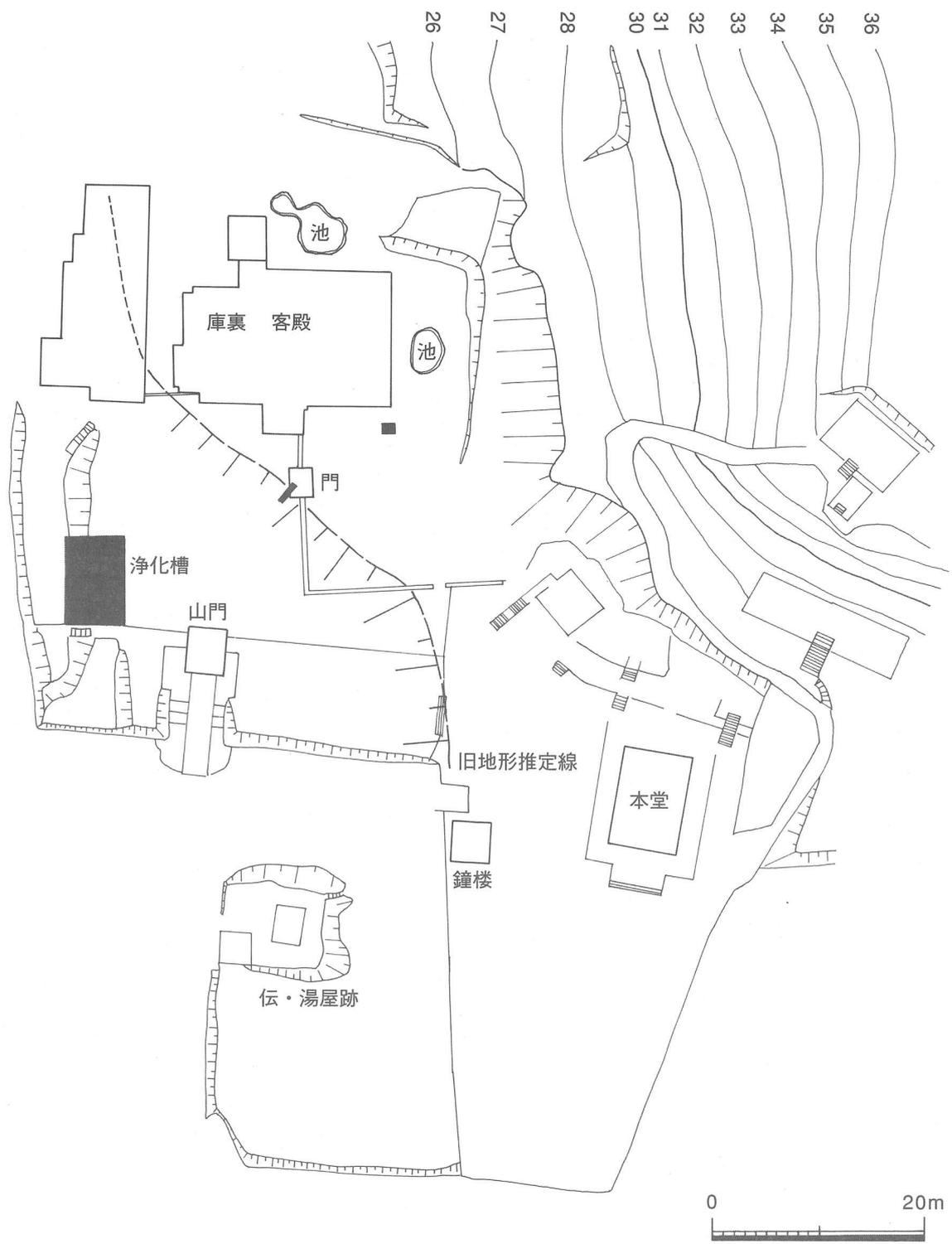
第4図 土坑1断面



第5図 表門付近試掘坑断面図



第6図 浄化槽部平面・断面図



第7図 浄土寺平面図



第8図 調査風景



第9図 遺構検出状況 (客殿)

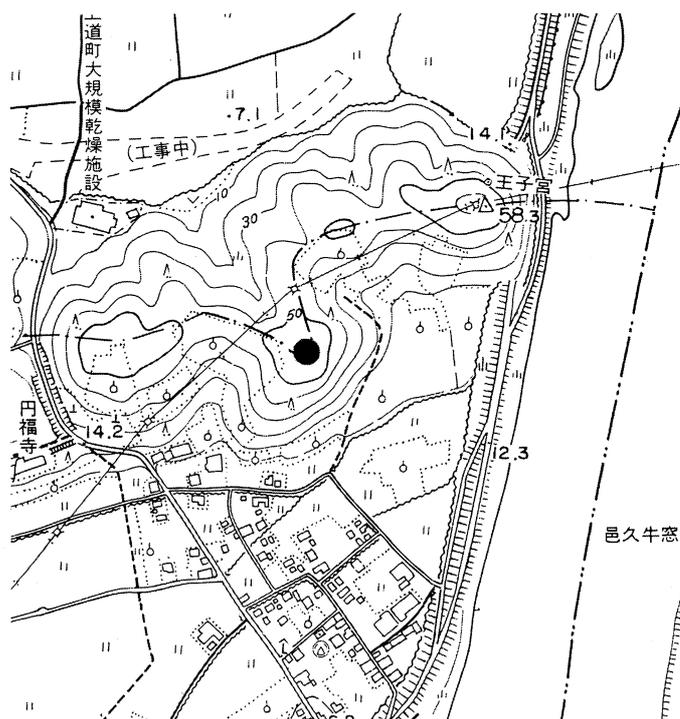
北ノ房古墳

所在地 岡山市百枝月
調査原因 鉄塔移築
時代 古墳

調査期間 070828
調査面積 3,000㎡
担当者 草原孝典・岡本芳明・西田和浩

遺跡の概要 当該地は、吉井川河口部に近い西岸に近接する独立低丘陵上に位置する。標高は、50m前後である。東西の幅は600mで、それ程大きな規模の丘陵ではない。丘陵の北と南には、南北幅が600～700mほどの小単位平野があり、北側平野の中央部には古墳時代前期の集落遺跡である里前遺跡が存在する。丘陵尾根上には小規模な古墳が連なっていることも指摘されているが、現況で観察する限りそれほどの密度はなく、低墳丘の古墳が数基分布しているようである。

北房古墳は、丘陵がやや南側に張り出した頂部に築かれており、頂部周辺には古墳がなく、ある意味で独立墳の立地を呈している。この尾根頂部に中国電力によって高压鉄塔の移築が計画された。現況では雑木が繁茂しており、古墳の境界も明らかでないことから、測量調査を実施した上で、古墳に影響の及ばない位置に鉄塔を設定することになった。

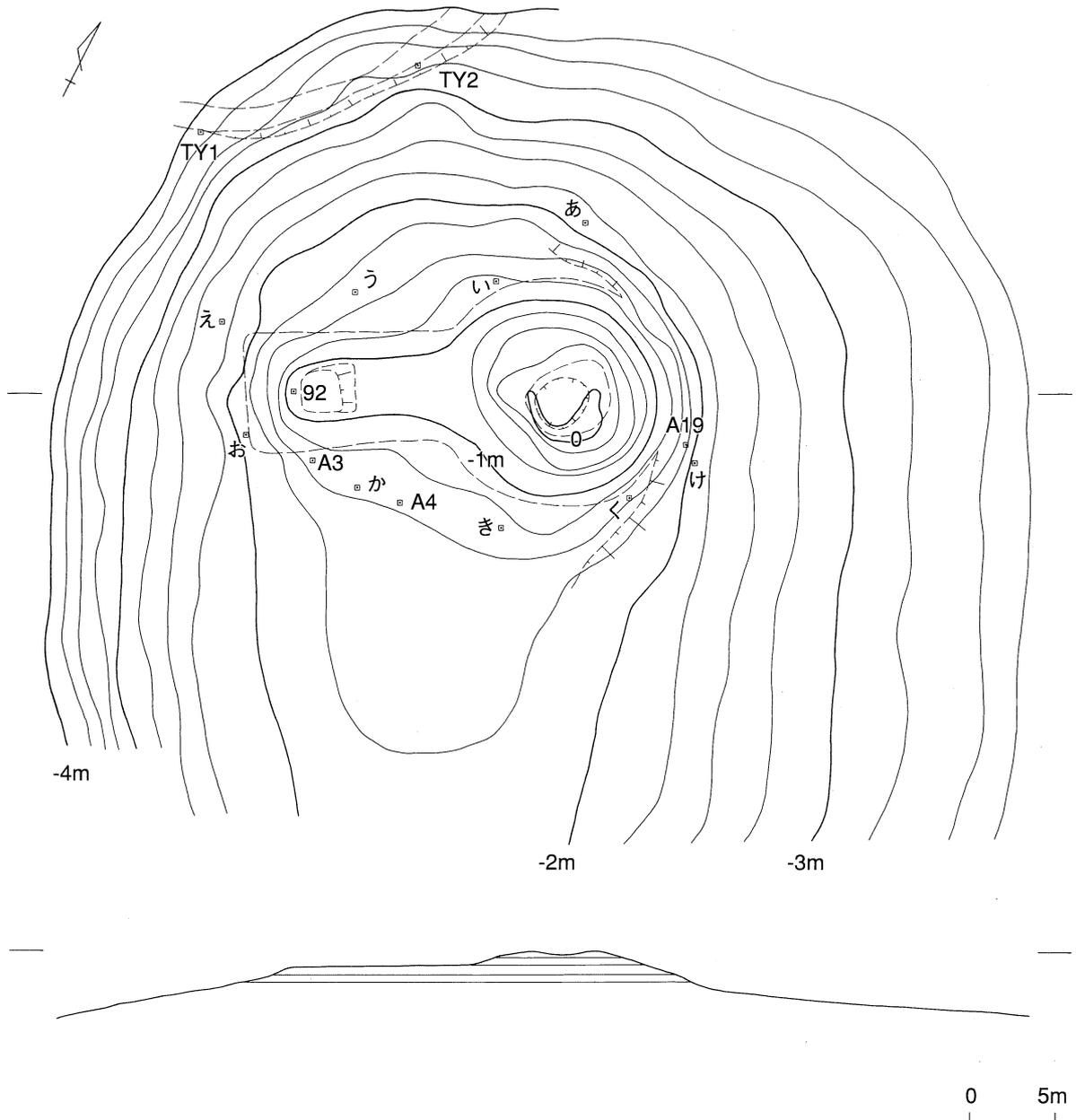


第1図 調査位置図

調査の概要 測量調査は、最高所を0として平板測量をおこない、25cm幅のコンターを引いた。その結果、後円部では-1.25m付近で墳端が認められ、前方部前端部では-1.5m付近で墳端と考えられる傾斜変換点が認められた。全体としては、-1.25m付近が墳端となる。丘陵頂部の平坦部分を利用して築かれているといえる。全長は25m前後、後円部径は13m、前方部長12mである。後円部の高さは1.25m、前方部の高さは0.75mである。後円部中央には径4mほどの盗掘墳があるが、石材等は認められない。埴輪などは認められないが、前方部が低く、そのまま開かず柄鏡状の形態であることから、前期の時期が推測される。地形的には、頂部の最高所を利用して築かれているが、地形的には西側に前方部を築くほうが有利にも関わらず、北東から南西方向に長軸をもってきている。この点は、吉井川から当古墳の長軸が最もみえる位置を意識してのことと考えられる。

まとめ 測量調査の結果、北ノ房古墳が全長25m前後の前方後円墳であることが明らかとなった。しかも墳形から前期の時期が推測される。同規模の前期古墳は、吉井川両岸に3基あり、当古墳を入れると4基となる。いずれも規模も小さく、発掘調査もなされていないが、墳形や規模は極めてよく似ており、同形墳が吉井川両岸に分布する時期があったことが推測させられる。当該地における古墳時代前期の首長墓の築成を考える上での貴重なデータになるものである。

測量調査の後、測量図に示した平仮名のあ～けまでのクイを設定し、それより内側に鉄塔を設置しないことを確認した。



第2図 北ノ房古墳 測量図

安住院多宝塔

所在地 岡山市国富

調査原因 多宝塔修理

時代 江戸時代

調査期間 070908～071020

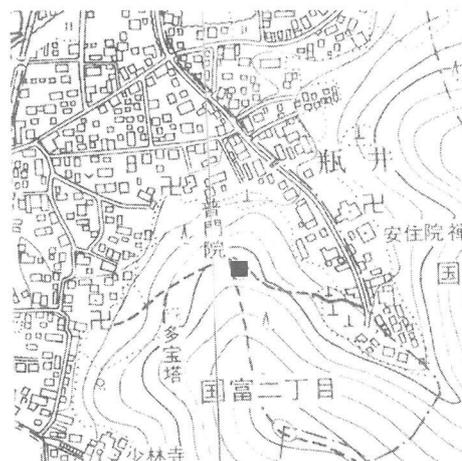
調査面積 11.5㎡

担当者 高橋伸二・岡本芳明

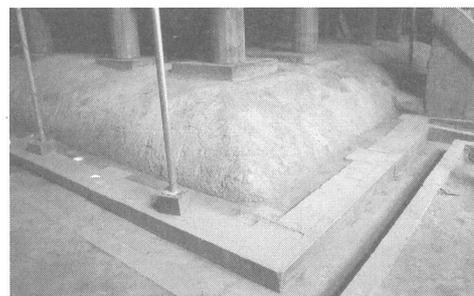
遺跡の概要 安住院多宝塔は岡山市中心部を流れる旭川の東岸に位置する操山の北西部、標高50mほどの丘陵中腹に所在する。この多宝塔は本堂のある東を正面として建てられており、岡山藩主池田綱政が元禄年間（1688～1703）に後楽園の借景として建築に着手したとされるが、完成したのは次代の藩主継政の代である寛延4年（1751）である。塔の規模は総高が約20m、初層が桁行5.67m、梁間5.67mの三間多宝塔で本瓦葺である。

調査の概要 塔の基壇である亀腹の調査は修理工事に伴って礎石周辺部で空洞が見つかったことから、その状況を把握するために試掘したもので、亀腹上面に2本のトレンチを設定し掘り下げた。その結果、亀腹の構造は一旦地山を削平した後に版築状の造成を行い、角礫を積んだ上に礎石を据え、さらに盛土を行うという構造であることが明らかとなった。また、亀腹中央部には乱掘されたとみられる部分があったことから、攪乱土を除去したところ、鎮壇具のひとつである輪宝が検出され鎮壇遺構の存在が明らかとなった。この遺構は一辺約1.2m、深さ約0.5mほどで、中央に鎮瓶を置き、周囲に口合わせに重ねた5組の土師器皿の中に玉石を納め、最後に輪宝を立てて埋め戻すというものであった。

まとめ 今回は通常では調査されること自体が希な塔建築の亀腹の構造に関して明らかにすることができた。また、鎮壇遺構についても調査例は僅少であり、近世における密教儀式を考えるうえでも貴重な資料を得ることができた。



第1図 調査位置図



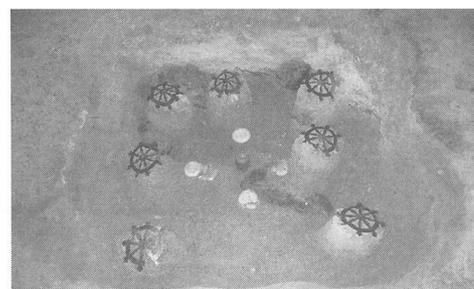
第2図 亀腹（南東から）



第3図 石材検出状況（東から）



第4図 輪宝



第5図 鎮壇遺構（北から）

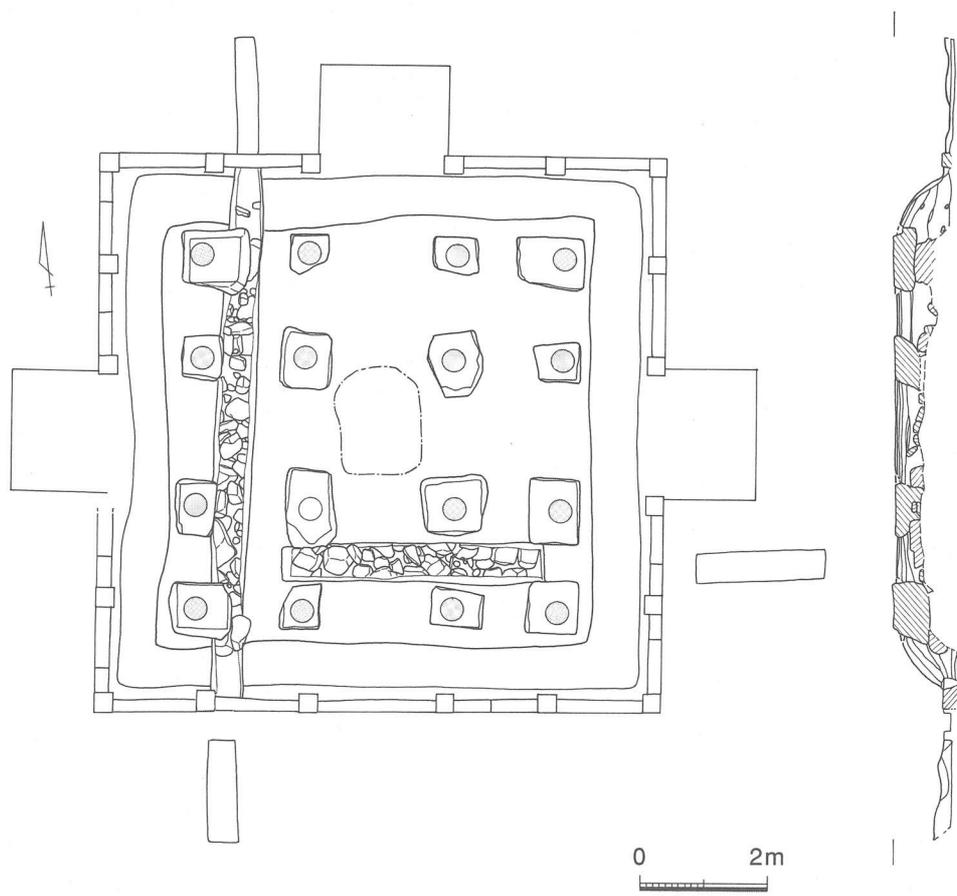


图6 基壇実測図

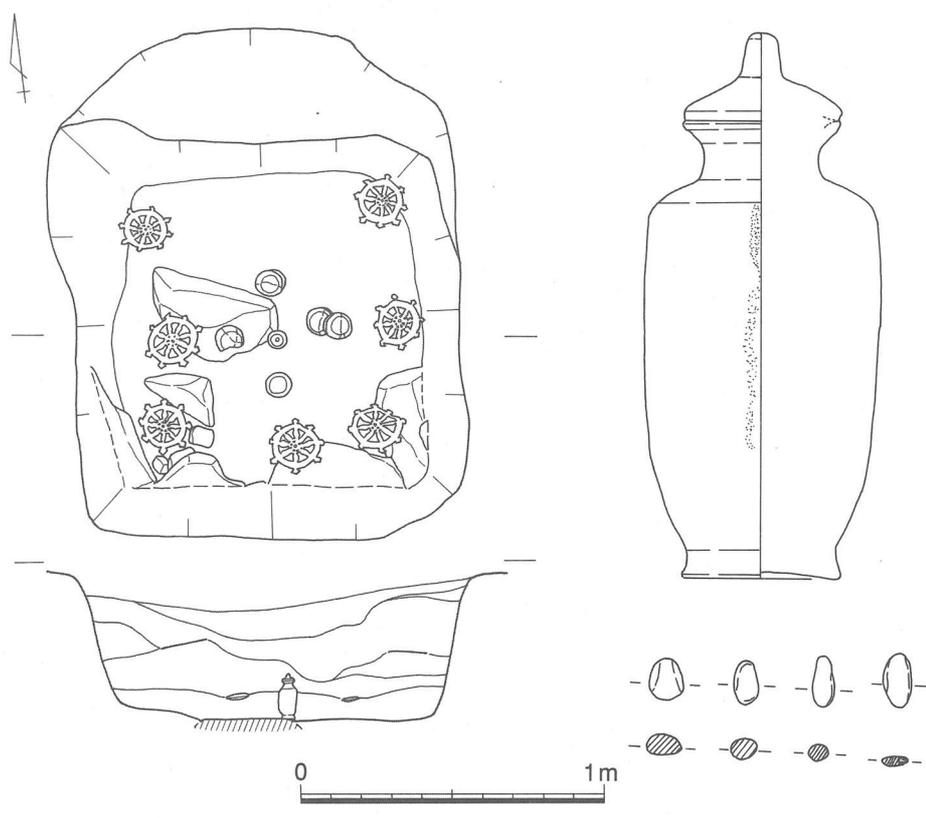


图7 鎮壇遺構実測図



图8 出土遺物

史跡岡山城跡本丸下の段（テニスコート跡地）

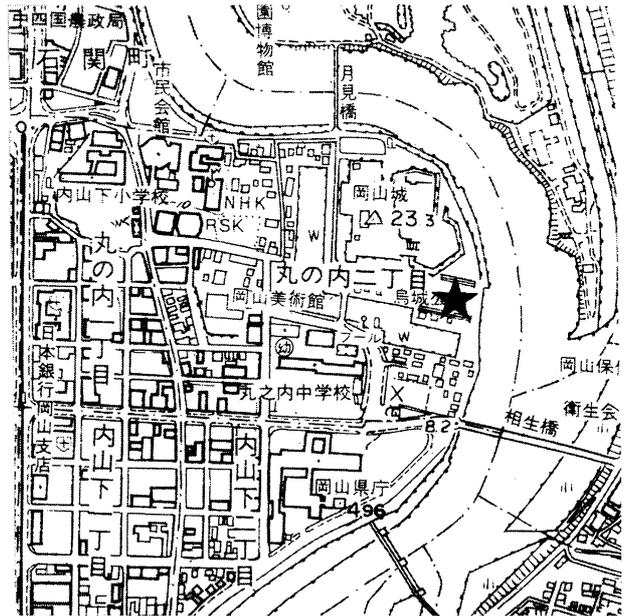
所在地 岡山市丸の内2丁目
 調査原因 史跡整備
 時代 近世

調査期間 20071001～20080312
 調査面積 1000㎡
 担当者 長谷川一英・西田和浩

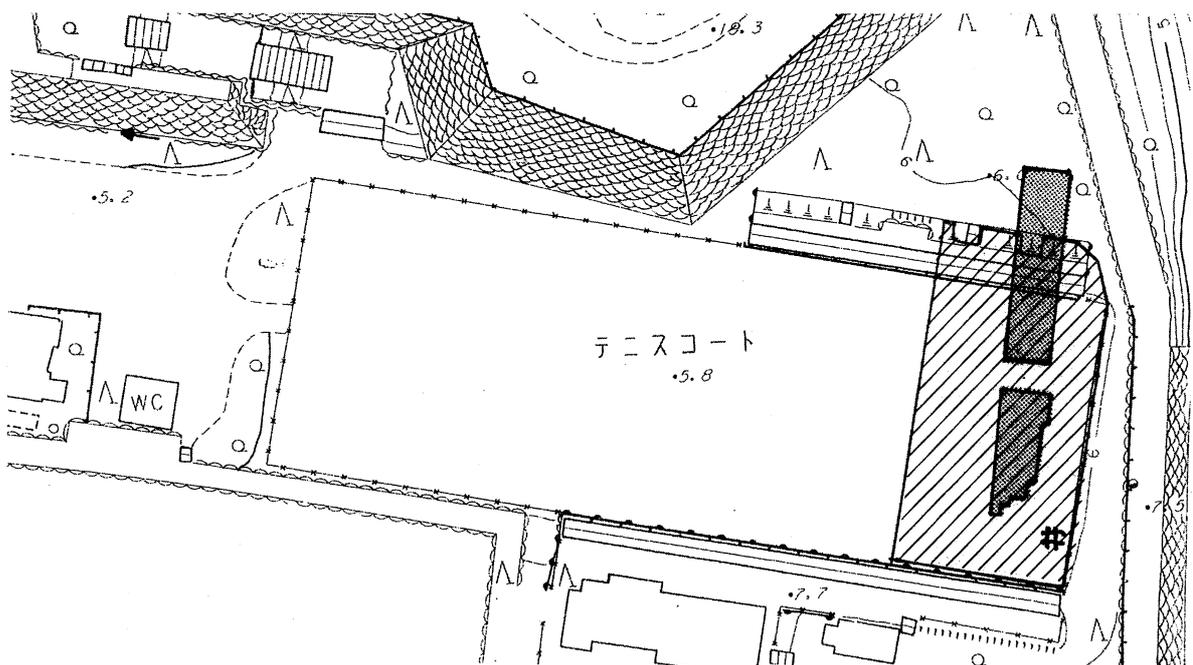
遺跡の概要 今回の調査の目的は、2006年度の試掘調査の際検出した遺構の広がりを確認することである。元禄13（1700）年に作成された『御城内御絵図』によると、今回の調査範囲からは「蔵」と「役宅住居」および、井戸が見つかる予想された。

調査の概要 調査の結果、『御城内御絵図』に記されている建物2棟の基礎および井戸を1基確認した。これらの遺構は幕末まで利用されていたと考えられる。また、宇喜多～前期池田時代（戦国時代末～江戸時代初期）にさかのぼる可能性のある生活面の一部を確認した。

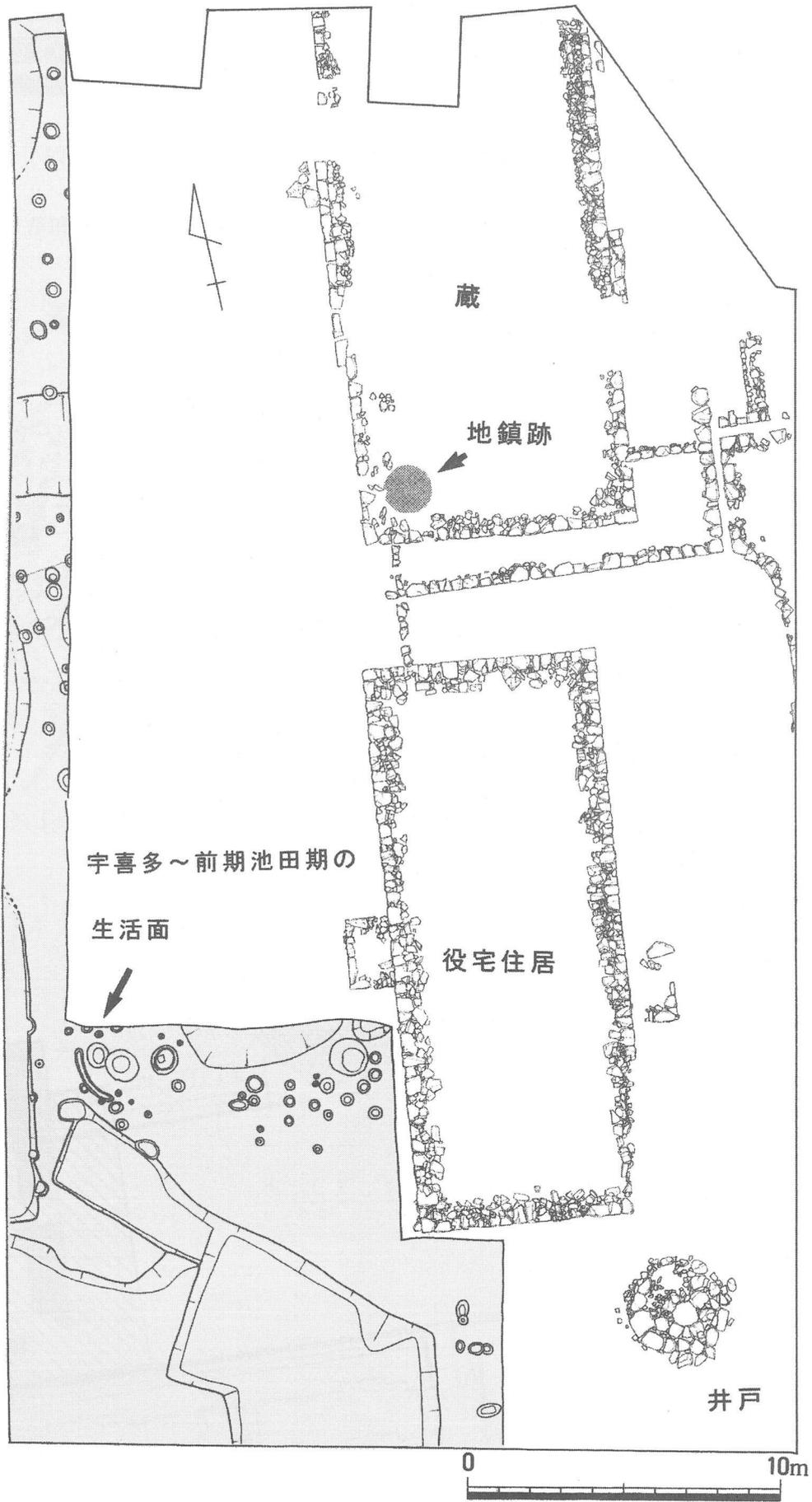
出土遺物は瓦・陶磁器など多数出土した。その中でも、棹秤の権（銅錘）が注目される。権は出土例があまりなく、県内で初の出土例と思われる。同じ形の権が、15～16世紀に栄えた福井県の一乗谷朝倉氏遺跡で出土している。



第1図 遺跡位置図（S=1/10,000）



第2図 調査区配置図（S=1/10,000）



第3図 調査区平面図 (S = 1 / 200)

蔵 調査区の北半分で確認した。平成12年度の調査結果を参考にすると、上層石組みは南北約28m、東西約8mの規模であることがわかった。また、石組みの南西隅から、素焼きの壺が1点出土した。この南西隅は建物の裏鬼門になるため、蔵の建設の際、地鎮が行われたと考えられる。また、上層石組みの南東付近から絵図に描かれていない性格不明の石列が確認された。この石列の一部は排水溝と考えられる。

下の石組みは南面の石組みが失われているため、南北の長さは不明である。東西の幅は約9mである。

役宅住居 調査区の南半分で確認した。蔵と同様、基礎の石組みが残っていた。南北約18m、東西約7.5mの規模である。石組みには東西に飛び出た場所が2箇所あり、おそらく出入口と考えられる。絵図に記された建物の形と、調査で実際に確認した建物の形が違うことから、この役宅住居でも建て替えが行われたと推測される。

井戸 調査区の南端で確認した。井戸は石組みで、口径80cm、深さ約4.5m以上ある。下に行くほどフラスコ状に広がっている。井戸から出土した遺物は明治のものであることから、岡山城の廃絶までこの井戸は使用されていたと考えられる。

宇喜多期～前期池田期の生活面 近世遺構面の調査終了後、近世造成土の堆積状況の確認および、下層の生活面の有無を確認するため、調査区を一部掘り下げた。その結果、標高4.5m付近で、表面を真砂土で造成した平坦面と、その平坦面から掘り込まれたピットを多数確認した。ピットの一部は規則的に配列されており、堀立柱建物の存在が推測される。出土遺物から、この生活面は少なくとも前期池田期に遡る生活面と考えられる。さらに調査区の南端付近では前期池田期の生活面から一段低くなる平坦面（標高約3.6m）を確認した。この一段低い平坦面は人工的に形成され、調査区範囲外の南へ広がっていく。この平坦面は前期池田期の生活面の高さまで、河砂のような細かい砂で埋められている。なお、この砂の中から銅錘が出土した。

大供本町遺跡

所在地 岡山市大供本町
調査原因 市道建設
時代 弥生～江戸時代

調査期間 071108～080331
調査面積 955㎡
担当者 高橋伸二・岡本芳明

遺跡の概要 大供本町遺跡は旭川右岸平野に位置する。この遺跡は藤原氏の有力荘園である鹿田荘の一面をしめており、2005年度の調査では今回の調査と隣接する地点で平安時代から江戸時代までの建物跡や井戸、溝などの遺構が検出されている。

調査の概要 今回の調査でも前回の調査と同様に、平安時代から江戸時代までの集落が検出されることが期待された。調査は区画整理に伴う建物の撤去工事や廃土処理の関係もあり、調査区は5区画に区分して調査を行った。1区は前回調査した市道部分の西に位置しているが2区から5区までは前回調査地の東に位置している。

1区では弥生時代後期の柱穴をはじめ平安時代から中世までの土坑、柱穴、溝を検出した。いずれも耕作のため遺構の上面が削られていたが、微高地基盤は西方に向かって高くなる傾向が見られる。

2区は調査区の大半が数十年前まで池であった部分に該当し建設残土等によって埋立てられていたため、部分的な掘抜きにとどめた。微高地部分からは中世の井戸、柱穴、奈良・平安期から江戸時代までの溝が検出された。このうち中世の遺構である井戸13は直径約3mの掘形に一辺約1m、深さ1.6mの井戸枠があり、土師質土器をはじめ、白磁片などが出土した。

3区では、奈良時代の井戸、土坑をはじめ平安時代から近世までの柱穴、土坑、溝が検出されたほか、江戸時代の土坑や調査区西側では岡山空襲後の廃棄と考えられるゴミ穴が検出されている。奈良時代の遺構である井戸140では直径約2mの掘形内に一辺約0.7m、深さ2.2mの井戸枠を持っており、須恵器壺や土師器壺・甕のほか墨書のある須恵器杯、釣瓶と見られる木製容器、植物の種子などが出土した。なおこの井戸枠は長さ約70cm、幅約20cm程度の板材を組み合わせて十段ほどに積み上げたもので、方位や段数などの墨書が認められる板材もあった。



第1図 調査位置



第2図 1区 (東から)



第3図 3区 (西から)

4区では平安時代から室町時代までの土坑・柱穴・溝が検出されたほか江戸時代の井戸・ゴミ穴が検出されたが、中世のピットは他の調査区と比較してやや密集する傾向にある。

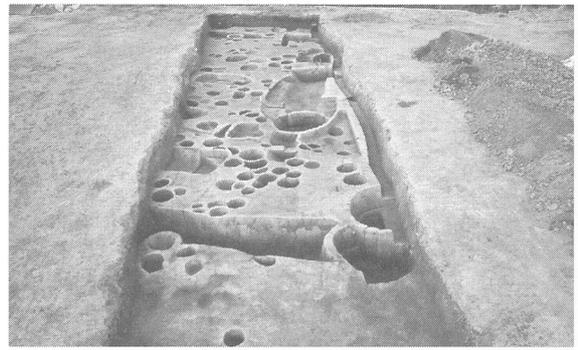
5区では2区からの延長上で奈良・平安期から江戸時代にいたる溝が検出された。なおこの溝からは数時期にわたる貝層が検出されたほか、ウマ、シカ、イノシシ、ウミガメなどの動物骨や大量の須恵器・土師器をはじめ緑釉陶器・輸入陶磁器などが出土した。また、祭祀遺構と考えられる土師器皿の集積も検出されている。

まとめ 調査区の西端部で弥生時代の柱穴列を検出したが、微高地は西に向かって高くなる傾向が見られ調査区のさらに西方には弥生時代の遺構が存在している可能性がある。奈良時代の明確な遺構は今のところ井戸140の1基のみであり、この井戸に伴う建物などは明らかでない。平安時代以後の遺構の多くが調査地付近で見られる条里方向と一致しているのに対してこの井戸はほぼ正方位であった。

また、奈良時代の遺物は調査区東端の溝からも多量に出土した。この溝は対岸の状況が不明なため規模は明らかではないが、微高地の中を貫いて流れており、人為的に開削された溝の可能性も検討されるであろう。平安から中世にはかなりの規模の集落であったと見られ、多数の柱穴が検出されたほか、井戸13では井戸枠が検出されている。中世に続いて江戸時代も集落が形成されており、大供本村の一面をしめていると考えられる。



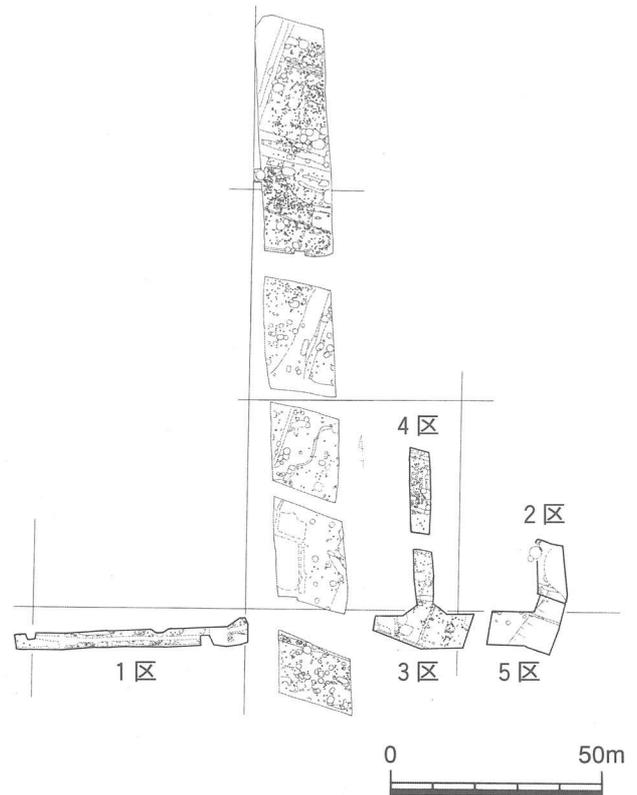
第7図 5区貝塚検出状況



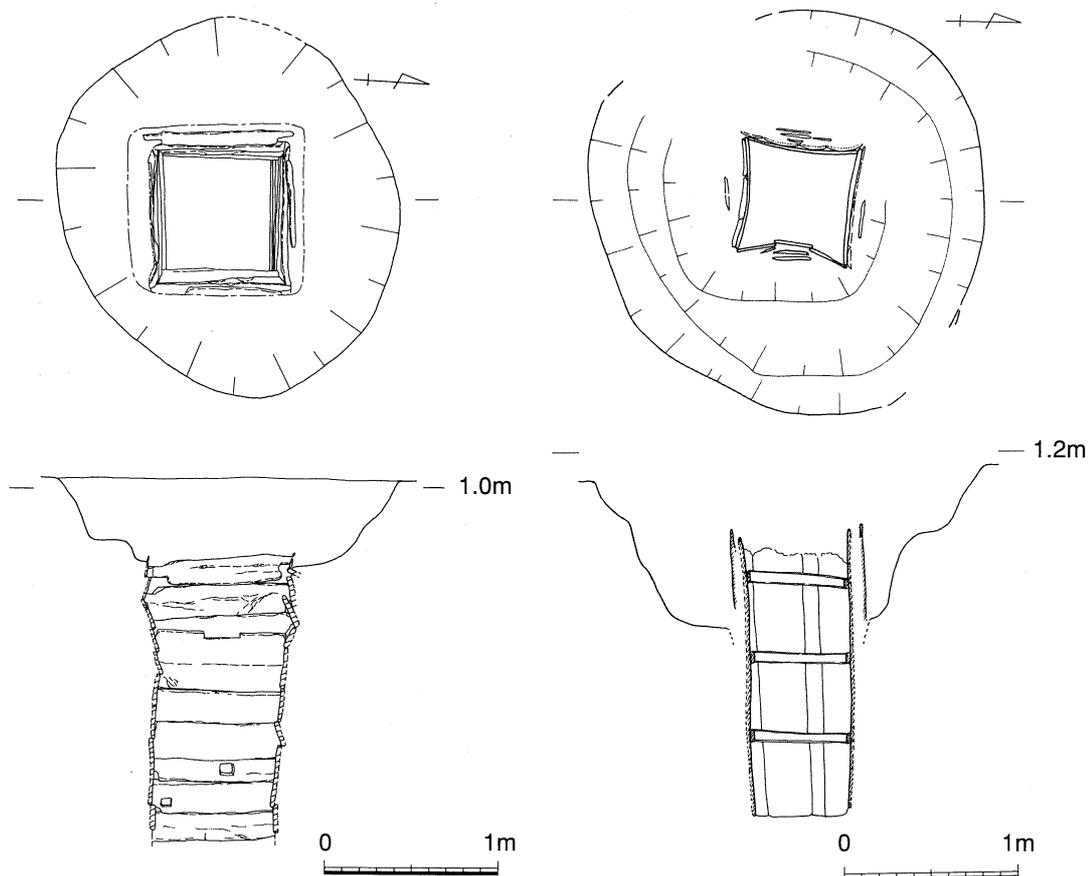
第4図 4区(南から)



第5図 3区 井戸140

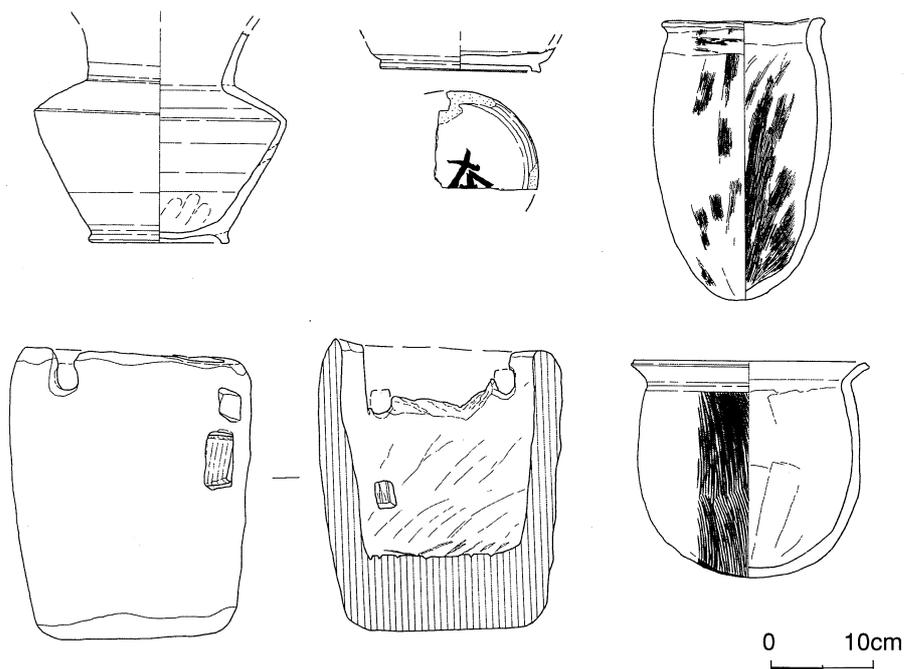


第6図 調査区配置

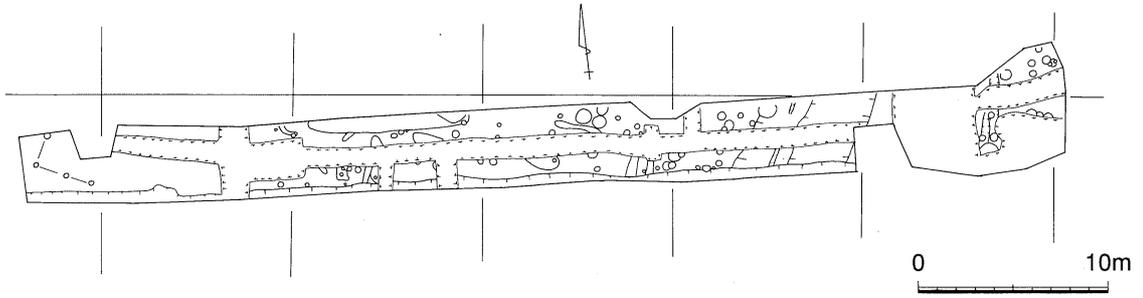


第8図 3区 井戸140

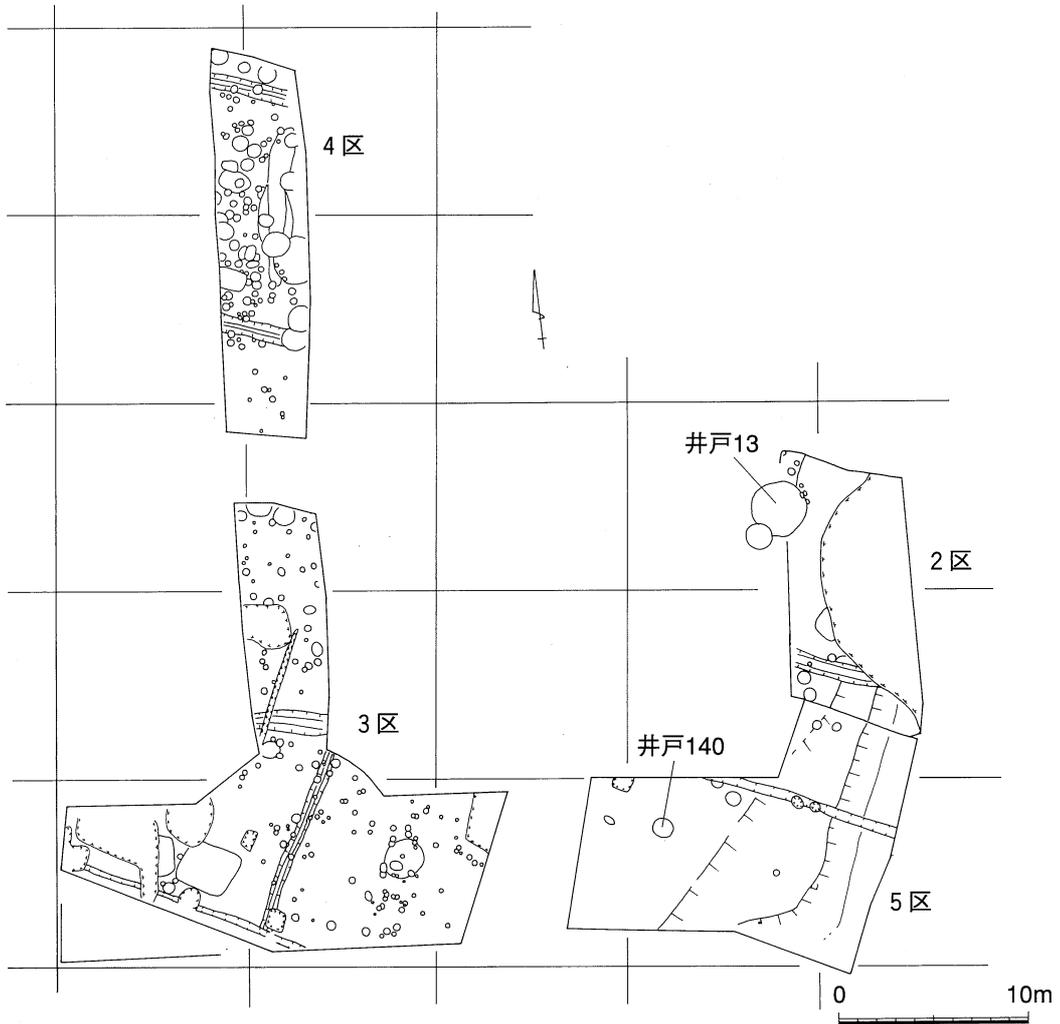
第9図 2区 井戸13



第10図 3区 井戸140出土遺物



第11図 1区平面図



第12図 2~5区平面図

岡山城二の丸跡

所在地 岡山市内山下一丁目4番104 調査期間 20071113～20071114
 調査原因 携帯電話基地局建設 調査面積 29㎡
 時代 江戸時代 担当者 河田健司

遺跡の概要 当該地は、岡山城二の丸跡に位置し、周辺部では、中国銀行本店、中国電力内山下変電所、県立図書館等で発掘調査が行われており、主として16世紀末～18世紀の城下町に関連した遺構が確認されている。岡山城城下町を描いた絵図ではいずれも武家屋敷地とされている。

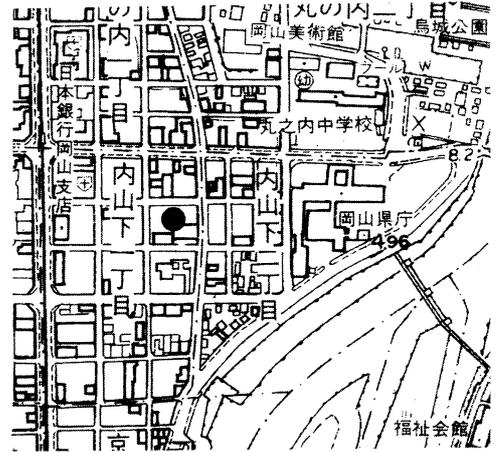
調査の概要 当調査は携帯電話基地局局舎建設に伴い実施された。掘削面積は約29㎡である。当該地の地下にも、周辺部同様近世の遺構が存在することが予想されたが、周辺部の発掘調査の成果から、当該工事の掘削深度では遺構面には達しないものと推測された。そのため重機による掘削に立ち会う形で調査を行った。

調査の結果 現地表面から-0.7～0.8mまでは、近代以降と推測される造成土、攪乱土層で、その下からは数基のゴミ穴が掘り込まれているのが確認された。更に最大掘削深度である-1.2m付近からは礎石列が確認された。

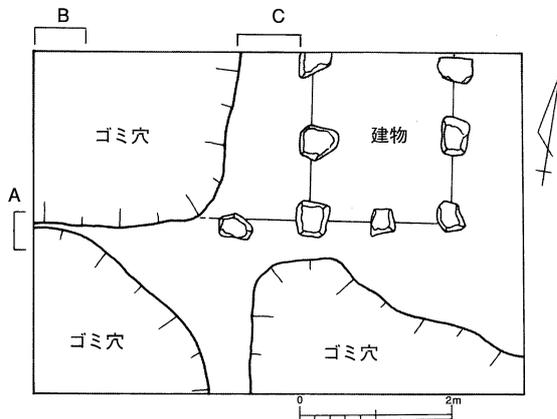
ゴミ穴は3基確認されたが、調査区が狭いため全体の様相は不明である。埋土には多量の木炭、瓦片が含まれており、陶磁器片も若干混じる。遺物はおおむね18世紀後半以降である。

礎石は一辺40～50cmのいびつな方形の平石で、調査区の南側を東西に、西側を南北に走る道路と平行して、約60cmの間隔で並んでいる。この2本の道路は、宝永5年(1708)に描かれたと推測される「岡城内曲輪絵図」などの城下町絵図にも描かれており、この礎石列は武家屋敷に使用されたものである可能性が高い。この礎石列は承応の洪水砂(1653年)と推測される微砂層の上に検出され、17世紀半ば以降に建設された建物の礎石と考えられる。

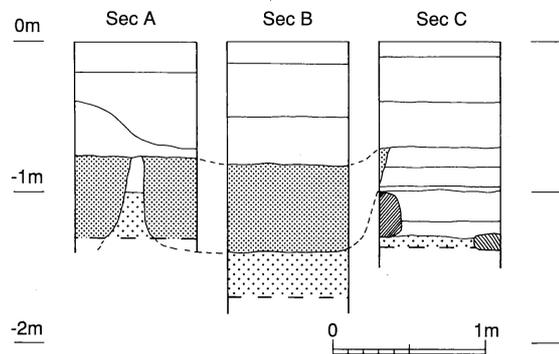
調査地点は、宝永5年(1708)に描かれたと推測される「岡城内曲輪絵図」から文久3年(1863)の「備前岡山地理家宅一枚図」まで、番頭を勤めた土肥家の屋敷地とされており、この礎石列やゴミ穴も土肥家の屋敷に関連する遺構と推測される。礎石列とゴミ穴検出面は40cmほどの比高差があり、ゴミ穴は礎石列を破壊して掘り込まれているところから、この地点は18世紀段階で一度建物を除却した後に40cmほどの地上げがなされ、ゴミ穴が掘り込まれるような空地となり、近代へ至ったと考えられる。



第1図 調査位置



第2図 遺構配置図 (S = 1/100)



第3図 土層図 (S = 1/50)

北国長遺跡

所在地 岡山市国府市場

調査原因 店舗建設

時代 弥生～中世

調査期間 071210～071227

調査面積 200㎡

担当者 扇崎 由・田嶋正憲

遺跡の概要 北国長遺跡は備前国府関連遺跡の一部を占める。当該地周辺では、備前国府(国衙)に直接関わる遺構は確認されていないものの、以前の当該敷地内の調査(1)や周辺の調査(2)から弥生時代及び平安時代～中世の遺構・遺物が確認されており、今回の調査でも同時期の遺構が検出されるものと考えられた。

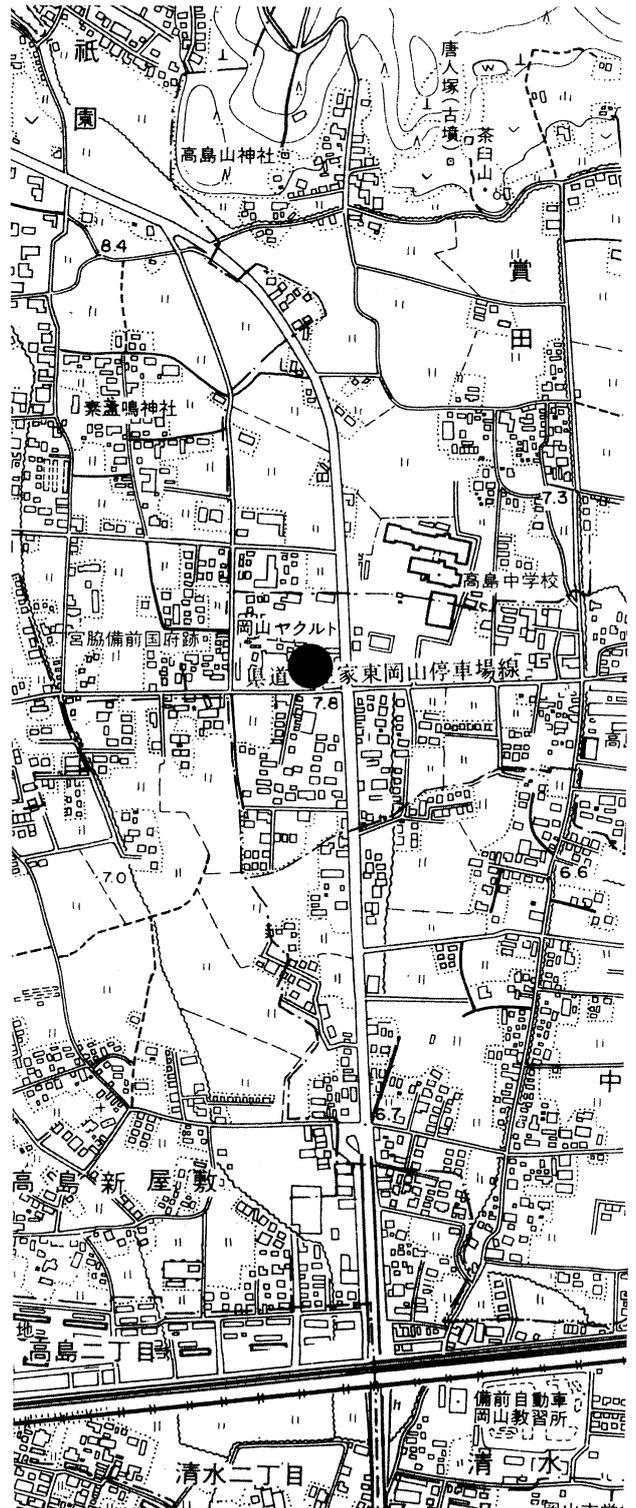
調査の概要 調査は掘削が遺構面に影響を及ぼす4箇所(トレンチ1～4)を対象として行った。敷地の北部に当たるトレンチ1・2は面積が少ないことや後世の掘削の影響もあって、明瞭な遺構は確認されなかったが、微高地基盤面自体は高くなっていることを確認した。

トレンチ3では平安時代後半～中世の柱穴・溝・井戸などを検出している。井戸は直径332cm深さ264cmで、廃棄時の堆積層とみられる炭などを多く含んだ黒色埋土層に11世紀の土師器杯・皿を主体に大量の土器が捨てられていた。底部には1辺124～134cmの方形井戸枠があって、6cm角の隅柱四本と四辺に用いた縦板が長さ60cmほど残っていた。

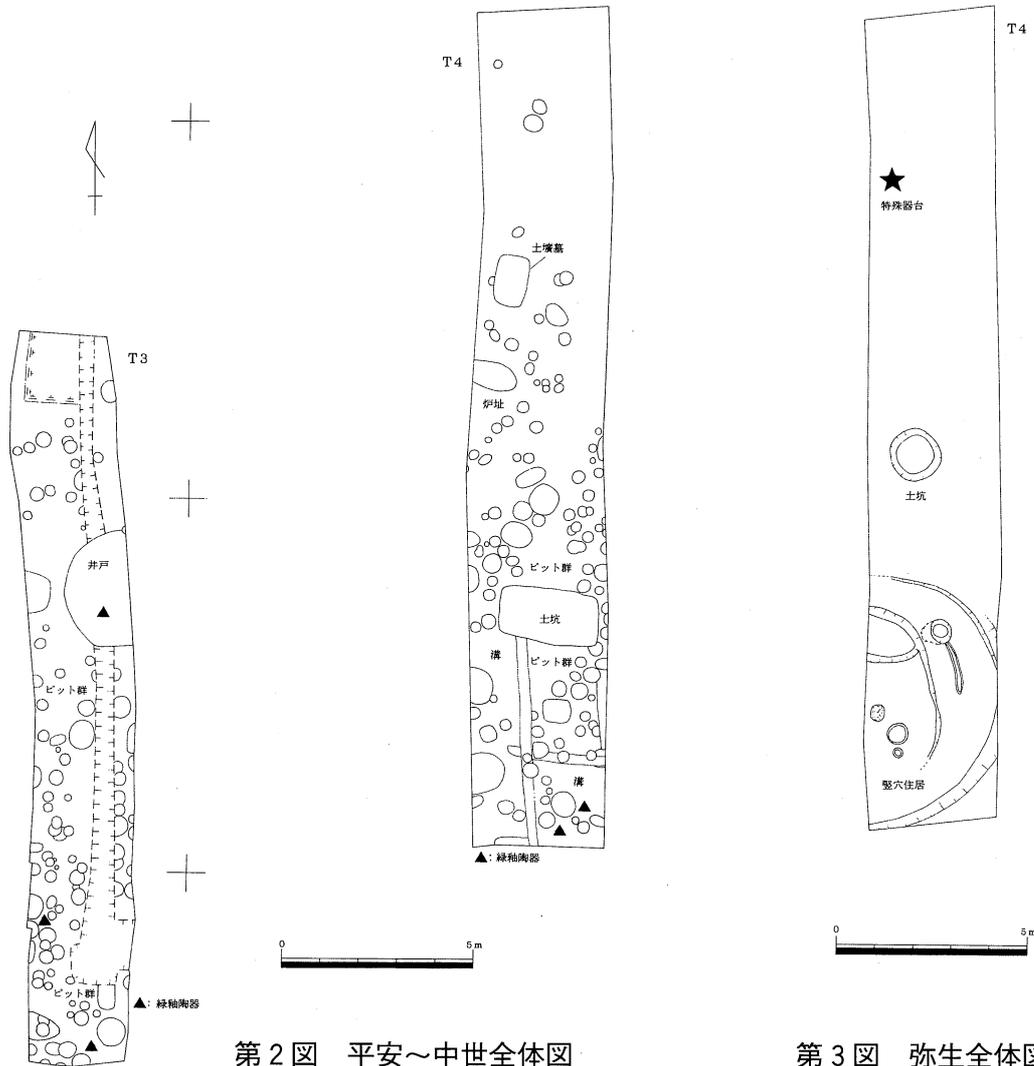
トレンチ4では弥生後期の竪穴住居跡、古墳時代の竪穴住居跡・溝・土坑、平安時代から中世の柱穴・溝・炉跡・土坑・土坑墓などが見つかっている。土坑墓1は12世紀後半～13世紀前半のもので、人骨が良好に遺存していたため北頭位の左横臥屈葬で埋葬されたことがわかり、頭蓋の東横に青磁碗・滑石製温石・菊花双鳥文鏡・小刀各1がひとかたまりに副葬されていた。竪穴住居2は弥生時代後期の住居で、直径約7m深さ95cmを測る。調査区には全体のほぼ1/2を検出した。主柱穴すべてを検出したわけではないが、4本柱であると思われる。このほか、小型特殊器台片も出土している。南国長遺跡では特殊壺片が出土しており、いずれも小面積の調査である点を考えると、集落内での特殊壺・小型器台の利用度の高さが窺える。

註 (1)乗岡 実2001「備前国府関連遺跡」『岡山市埋蔵文化財調査の概要』1999(平成11)年度 岡山市教育委員会

(2)河田健司1998「備前国府推定地(南国長)遺跡」『岡山市埋蔵文化財調査の概要』1996(平成8)年度 岡山市教育委員会

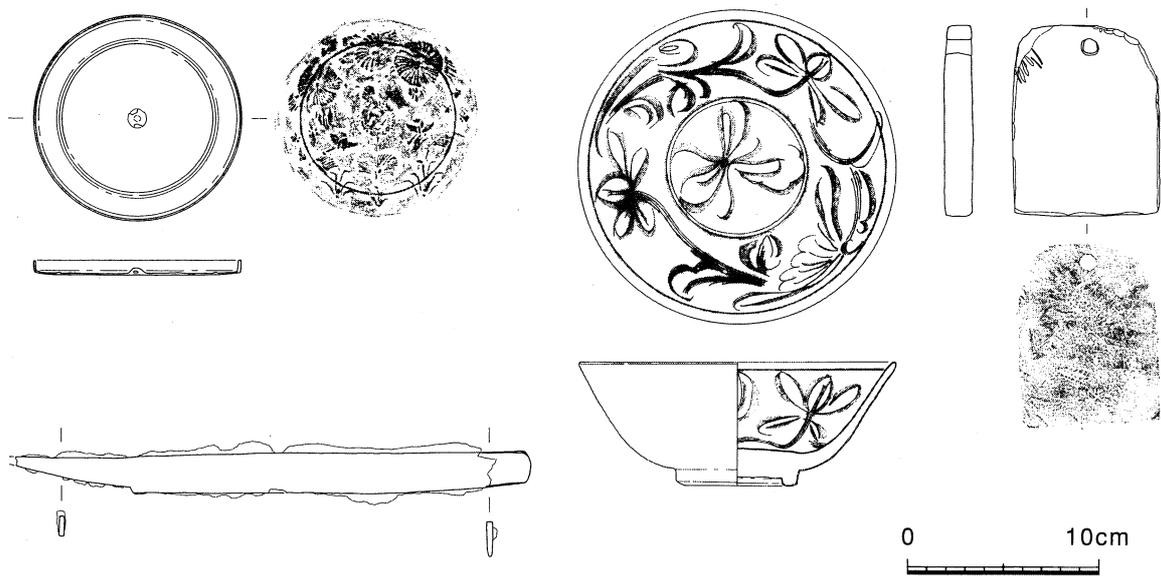


第1図 調査地位置図



第2図 平安～中世全体図

第3図 弥生全体図



第4図 土坑墓出土物

Ⅲ 彦崎貝塚の国史跡指定経緯とその概要

岡山市教育委員会 文化財課

はじめに 彦崎貝塚は、岡山市灘崎町彦崎に所在し西日本を代表する縄文時代の貝塚遺跡である。平成20年3月28日に国史跡に指定された。彦崎貝塚に関する最も古い調査記録は大正10年（1921）11月20日発掘とある。しかし、その存在が全国的に注目を集め始めたのは戦後である。当時、遺跡は広大な酒造会社の敷地内にあったが交通の利便性の高さからその後周辺は急速に宅地化が進み彦崎貝塚も間接的にその影響を受けつつある状況である。次に、指定にいたる経緯と遺跡の概要を簡潔に述べる。

1. 経緯 昭和23・24年（1948・1949）に東京大学理学部人類学教室が主体となって発掘調査を実施して多大な成果を収めてから時間が経過し、平成になって貝塚を所有する地権者のひとりから保存活用についての要望が出された。それから国史跡指定までの流れは、表1のとおりである。

表1 彦崎貝塚の国史跡指定に至るまでの経過（戦後）

| 和暦 | 西暦 | 主な出来事 |
|-------|------|---|
| 昭和23年 | 1948 | 5月、11月 東京大学理学部人類学教室を主体とした発掘調査実施。近隣小・中・高の教諭、学生が大勢参加。 |
| 昭和24年 | 1949 | 8月、東京大学理学部人類学教室を主体とした発掘調査実施。近隣小・中・高の教諭、学生が大勢参加。 |
| 昭和26年 | 1951 | 4月、第3回原始文化研究会で山内清男氏が岡山県の縄文土器編年を発表。彦崎Z1・Z2式、彦崎K1・K2式が制定され、全国的な遺跡となった。 |
| 昭和26年 | 1951 | 酒詰伸男「岡山県児島郡彦崎貝塚」『日本考古学年報』1（昭和23年度）日本考古学協会が発表された。昭和23年5月と11月に実施された発掘調査概要報告。 |
| 昭和46年 | 1971 | 4月1日、池葉須藤樹氏（元灘崎中学校教諭）が『岡山県児島郡灘崎町彦崎貝塚調査報告』を自費出版。昭和25年の内地留学の際に彦崎貝塚の出土遺物をまとめ東大に提したレポート。 |
| 昭和60年 | 1985 | 7月18日、旧灘崎町指定文化財に指定される。史跡部門と考古資料部門。 |
| 平成6年 | 1994 | 彦崎貝塚の地権者より彦崎貝塚の保存活用の相談が町へ寄せられる。 |
| 平成10年 | 1998 | 第三次旧灘崎町総合計画（ウェルネスプラン）で彦崎貝塚等の文化財の保存活用方針が明記された。 |
| 平成13年 | 2001 | 彦崎貝塚の地権者より彦崎貝塚の保存活用の強い要望がだされた。それをうけて旧町と県で協議。遺跡の範囲や性格及び基礎的データ収集の必要性を確認。 |
| 平成14年 | 2002 | 過去における基礎データの収集として東京大学総合研究博物館と国立科学博物館に収蔵されている彦崎貝塚出土遺物の確認作業を行うとともに写真記録を行った。 |
| 平成15年 | 2003 | 3月、特別展『よみがえる彦崎貝塚ー里帰り写真展ー』を実施し、全国で初めて彦崎貝塚が標識遺跡として認定された時点の基準資料の写真公開を行った。 |
| 平成15年 | 2003 | 地権者や地元自治会のご協力をいただき9月より、国庫・県補助を受け、範囲確認調査を開始。7月第1回彦崎貝塚範囲確認調査指導委員会開催。9月文化庁調査官視察。遺跡の範囲と基礎データの収集及び情報の一般公開の指導を受ける。10月第1回現地説明会実施。11月文化庁調査官視察。最小面積で最大の成果を上げるように指導を受ける。第2回指導委員会開催。2月第2回現地説明会実施。文化庁調査官視察。報告書の作成と最小面積にこだわるよう指導を受ける。第3回指導委員会開催。3月岡山県文化財保護審議会視察。 |
| 平成16年 | 2004 | 6月より範囲確認調査を実施。8月第4回指導委員会開催。10月現地説明会実施。1月地元説明会の開催。合併後の動向について説明を行う。2月第5回指導委員会開催。3月22日、旧岡山市・旧灘崎町・旧御津町が合併し新生「岡山市」となり事業は継続事業とされた。 |
| 平成17年 | 2005 | 7月岡山市議会文教委員会視察。第5回合併特例区協議会で事業説明。11月第1回彦崎貝塚発掘調査対策委員会開催。1月第2回彦崎貝塚発掘調査対策委員会開催。3月地権者・地元関係者説明会を実施。範囲確認調査結果の報告と今後の国史跡指定に向けた方向性を説明。『彦崎貝塚ー範囲確認調査報告書ー』刊行。 |
| 平成18年 | 2006 | 5月岡山市文化財保護審議会視察。9月文化庁調査官視察。トレンチを一ヶ所入れるように指導を受ける。地権者・地元自治会の協力をいただいて10月末から11月初旬まで範囲確認調査を実施。12月市・県・国で協議。範囲確認調査の成果から史跡指定地は貝層部分を中心とする方向性に定まった。3月『彦崎貝塚2ー範囲確認調査報告書ー』刊行。 |
| 平成19年 | 2007 | 5月文化庁主任調査官視察。史跡指定地と景観をみて納得された。同月末、地権者・地元関係者説明会を実施。史跡指定についての具体的な手続きの説明を行う。7月国史跡指定申請書を提出。10月「岡山市埋蔵文化財発掘調査速報展」の開催及び遺物展示。11月文化審議会で答申。平成20（2008）年3月28日（金）官報告示にて正式に国史跡に指定された。『彦崎貝塚3ー範囲確認調査報告書（縄文晩期）ー』を刊行。 |
| 平成20年 | 2008 | 6月彦崎貝塚国史跡指定記念講演会・企画展「彦崎貝塚の今、昔ー戦前の調査から国史跡指定になるまでー」を開催。7月下旬から8月末まで範囲確認調査を実施。10月「彦崎貝塚発掘調査の成果」展を実施。12月市・県・国で協議。夏の範囲確認調査成果の説明等行う。 |

2. 概要 彦崎貝塚は、岡山市灘崎町彦崎に所在し、標高約6mの海岸段丘上に立地する。昭和23・24年（1948・1949）に東京大学理学部人類学教室を主体とした三次にわたる発掘調査が行われ、多量の縄文時代前期の埋葬人骨と遺物が出土して注目をあつめた。その後、出土した縄文土器を整理した山内清男氏によって相対編年の基準資料である彦崎諸型式（縄紋前期彦崎Z1式・Z2式、縄紋後期彦崎K1式・2式）が制定されたことにより標識遺跡と認知され名実とも全国的に著名な遺跡の仲間入りをはたした。

平成15・16・18年（2003・2004・2006）に範囲確認調査が実施された。その結果、縄文時代早期から晩期までの長期間に集落が経営され、さらに遺構が認められるのが時期的に限定されていることも確かめられた。つまり、形成された遺跡の時期毎の機能差（拠点集落と衛星的集落）を明らかにできた画期的調査となったのである。特に、縄文時代前期（約6,000年前）の彦崎Z1式期には約100m×80mの範囲で、厚さが最大で170cmの貝塚を形成することが確認され、多くの遺物（土器・石器・骨格貝製品）と主要な動物資源であったニホンジカやイノシシ等の動物遺存体が出土し、その総合的な解析によって彦崎貝塚縄文人の狩猟・漁撈・採集等を基本とした多様な生業活動の様子が判明してきた。さらに、集落の内部は作業区、居住区、貯蔵区、墓地区（彦崎Z2式期）等の計画的な空間配置によって構成されていることも明らかとなった。それは、海岸段丘上の平坦面が最も広い地点に居住区を置き、その南北両脇の斜面部に向けて重層的に貝層が形成される。両脇の貝層に挟まれた部分では焼土面（炉址）を伴う作業場が広がり、その北側は海に面した崖面（海岸段丘）となる。そこでは獣骨（イノシシとニホンジカの頭蓋骨と下顎骨）を用いた祭祀行為の痕跡とともに多量の人骨を埋葬した彦崎Z2式期の墓地群が形成されている。また、ドングリ等の種子類が多数検出されていることから、貯蔵施設が予想される。そして、自然科学分析によると縄文時代の彦崎貝塚の周辺は、照葉樹林が鬱蒼と茂り、海幸・山幸に恵まれた縄紋人の理想的な生態系に近かったと復元されている。

さらに、出土遺物の中には、他地域（九州・山陰・四国・近畿・東海・北陸地方など）の遺物（土器・石材等）、技法が多く認められることから、広域的交流の結節点としての拠点集落であったと考えられる。また、釣針、刺突具、垂飾、腕輪等の豊富な骨角貝製品を多数所有していることも彦崎貝塚の特徴であるが特に貝製腕輪の埋葬人骨装着事例が、東京大学の調査では約40体の人骨が検出され、岡山市教育委員会の調査でも埋葬人骨が検出されたにもかかわらず全く認められなかった。そしてそれをはるかにしのぐ量の腕輪を保有していることもたいへん注目される。しかも素材に選択性があることも重要である。つまり、副葬品以外の目的で生産されていた可能性が高いと考えられる。彦崎貝塚では土壇墓に伴う副葬品として、中期初頭のそれで小玉が検出された事例がある。また、彦崎貝塚の周辺には、海浜集落群として関連すると思われる縄文時代の貝塚が複数所在しており、今後は地域に根ざした彦崎貝塚の恒久的な保護・保存・活用を推進しながら周辺遺跡群との関係も継続的に関係機関と連携をはかりながら究明してゆく必要性もあろう。

彦崎貝塚は、平成20年3月28日（金）に国史跡に指定された。岡山市では記念すべき初の縄文時代の国史跡指定の遺跡（貝塚）となった。

最後になるが、このたびの国史跡指定に尽力賜った多くの地権者・地元自治会・関係者の皆様方に厚くお礼を申しあげる次第である。

（文責：田嶋正憲）

（参考・引用文献）

岡山市教育委員会編2006『彦崎貝塚－範囲確認調査報告書－』

岡山市教育委員会編2007『彦崎貝塚2－範囲確認調査報告書－』

岡山市教育委員会編2008『彦崎貝塚3－範囲確認調査報告書（縄紋晩期）－』



第1図 国史跡指定範囲と周辺微地形 (S=1/500)



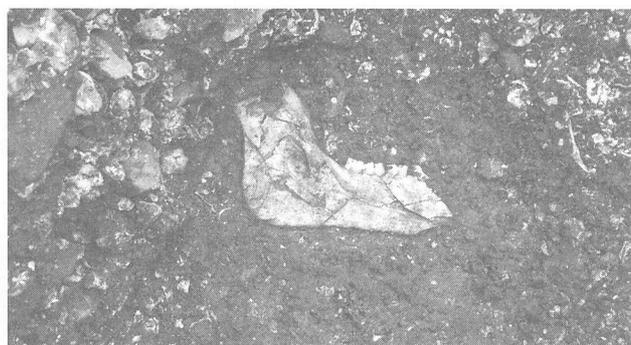
1. 縄文時代前期貝層 (トレンチ9)



2. 縄文時代中期女性人骨 (トレンチ14)



3. 縄文時代前中期遺構群 (トレンチ14)



4. イノシシ下顎骨 (トレンチ9)



1. 縄文中期イノシシ左下顎犬歯製ペンダント (トレンチ14)



2. 縄文後期の土製品 (トレンチ14)



3. 縄文前期の炭化したドングリ (トレンチ23)

○文部科学省告示第34号

文化財保護法（昭和25年法律第214号）第109条第1項の規定により、次の表に掲げる記念物を史跡に指定する。

平成20年3月28日

文部科学大臣 渡海紀三朗

名 称 彦崎貝塚

所在地 岡山県岡山市灘崎町彦崎字西ノ土井

地 域 2994番5、3001番1、3002番2、3002番3、3002番6、3003番1、3003番2、3004番、
3008番、3009番、3010番、3011番、3012番1、3012番2、3013番1

所在地 岡山県岡山市灘崎町彦崎字王子下

地 域 3015番1、3015番2、3207番1、3208番、3209番1

※彦崎貝塚に該当個所のみ抜粋。

IV 埋蔵文化財保護等に関する協議・調整

岡山市教育委員会文化財課では、埋蔵文化財に関する業務の内、発掘調査、出土物の収蔵・管理をのぞくものを担当している。具体的には、埋蔵文化財包蔵地の照会、埋蔵文化財に関する事前協議、調整、届出等の事務が挙げられる。

平成19年度における主要な事務処理の件数は下表のとおりであるが、これら埋蔵文化財保護行政にかかわる事務の処理件数を、平成9（1997）年からのデータを比較してみると、平成15年度を境に、発掘の届出・通知件数が激増し、事務処理総数もそれに伴って増加していることが認められる。本年度は先年度と比較して、発掘調査の通知（法第99条）を除き、事務処理数が増加している。特に発掘の届出（法第93条）及びそれに付随する試掘・確認調査数は激増し、前年度比約150%の増加率を示している。これは市街地及びその周辺において個人・集合住宅建設数が激増していることを反映したものと考えられる。

また事務処理件数には含めていないが、本年度の埋蔵文化財の照会数は1546件を数えた。内訳は不動産調査に伴うもの（約58%）、及び計画段階での照会（約33%）が全体の9割以上を占めている。これは、平成16年3月に実施された旧御津町・灘崎町との及び平成18年1月に実施された旧瀬戸町・建部町との合併による市域の広がり及び、平成15年以降の不動産鑑定基準の見直し[※]に伴う埋蔵文化財の照会数の増加が主な原因であると推測される。

※「不動産鑑定評価基準」第3章「不動産の価格を形成する要因」第3節「個別的要因」の（1）住宅地（2）商業地（3）工業地の各項に、「埋蔵文化財及び地下埋設物の有無並びにその状態」が新たに加えられた。

埋蔵文化財届出等件数表

| | 調査の届出 92条 (旧57条) | 発掘の届出 93条 (旧57条の2) | 発掘の通知 94条 (旧57条の3) | 発見の届出・通知 96・97条 (旧57条5・6) | 調査の通知 99条 (旧58条2) | 出土物鑑査 ^{※1} 100・102条 (旧59・61条) | 試掘調査 99条 (旧58条2) | 記念物 現状変更 125条(旧80条) | 総計 |
|--------|------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------------|-------------------------|--|------------------------|---------------------------|-----|
| 平成9年度 | 4 | 22 | 26 | 8 | 12 | 18 | 21 | 16 | 127 |
| 平成10年度 | 6 | 46 | 25 | 5 | 10 | 15 | 23 | 15 | 145 |
| 平成11年度 | 5 | 44 | 36 | 11 | 10 | 14 | 16 | 13 | 149 |
| 平成12年度 | 6 | 29 | 40 | 1 | 5 | 10 | 12 | 24 | 127 |
| 平成13年度 | 5 | 30 | 31 | 0 | 6 | 11 | 14 | 21 | 118 |
| 平成14年度 | 2 | 37 | 41 | 0 | 11 | 8 | 13 | 23 | 136 |
| 平成15年度 | 2 | 64 | 54 | 1 | 7 | 10 | 21 | 15 | 174 |
| 平成16年度 | 1 | 75 | 66 | 1 | 6 | 9 | 16 | 27 | 201 |
| 平成17年度 | 1 | 80 | 82 | 1 | 9 | 4 | 20 | 31 | 238 |
| 平成18年度 | 0 | 86 | 64 | 0 | 5 | 5 | 20 | 37 | 217 |
| 平成19年度 | 4 | 125 | 67 | 0 | 3 | 6 | 30 | ※2 30 | 265 |

※1 出土物鑑査（59・61条）は平成9年中核市に権限委譲

※2 文化財保護法第168条2（各省各庁の長以外の国の機関が重要文化財又は史跡名勝天然記念物の現状変更文化庁長官の同意を求め留ための協議）は含まない

埋蔵文化財発掘調査の届出 (第 92 条)

4件

| 提出日 | 種類 | 遺跡名 | 所在地 | 面積 (㎡) | 目的・原因 | 調査期間 | 調査主体者 | 担当者 | 岡山県文書番号 日付 |
|----------|-----------|--------|-------------------|--------|-------------------------|------------------------|----------------------|--------------------------------|-------------------------|
| 20070521 | 散布地 集落 | 津島岡大遺跡 | 津島中一丁目 1 番 1 号 | 1300 | インキュベーション施設の建設 | 20070702 ～ 20080130 | 国立大学法人 岡山大学 学長 | 岡山大学埋蔵文化財 調査研究センター 助教授 | 岡教文第 283 号 20070601 |
| 20070521 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目 5 番 1 号 | 1000 | 病院建設 | 20070903 ～ 20080326 | 国立大学法人 岡山大学 学長 | 岡山大学埋蔵文化財 調査研究センター 調査研究員 | 岡教文第 282 号 20080601 |
| 20071204 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目 5 番 1 号 | 70 | 用水路等改修 | 20071217 ～ 20080215 | 国立大学法人 岡山大学 学長 | 岡山大学埋蔵文化財 調査研究センター 調査研究員 | 教文埋第 1043 号 20071211 |
| 20080221 | 散布地 集落 | 津島岡大遺跡 | 津島中一丁目 1 番 1 号 | 30 | インキュベーション 施設関連工 事 | 20080303 ～ 20080403 | 国立大学法人 岡山大学 学長 | 岡山大学埋蔵文化財 調査研究センター 調査研究員 | 教文埋第 1345 号 20080228 |

埋蔵文化財発掘の届出 (第 93 条)

125 件

| 提出日 | 種類 | 遺跡名 | 所在地 | 面積 (㎡) | 工事の目的 | 工事期間 | 届出者 | 対応・指導事項 | 岡山県文書番号 日付 |
|----------|----------------------|---------------|------------------------------------|----------|-------------------------|------------------------------|-------------------------------------|---------|------------------------|
| 20070402 | 散布地 集落 | 津島遺跡 | いずみ町 1 番 22 他 | 707.45 | 個人住宅の建設 水道管・汚水管埋設 | 200703 ～ 未定 | 橋本興産株式会社 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 66 号 20070410 |
| 20070402 | 散布地 集落 | 北方遺跡 | 学南町二丁目 136 -27 | 268.78 | 個人住宅の建設 | 20070402 ～ 20070831 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 67 号 20070410 |
| 20070410 | 散布地 集落 | 名称未定散 布地 | 加茂字中須賀 721 番 7、721 番 12 | 409.29 | 個人住宅の建設 | 20070501 ～ 20070610 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 110 号 20070417 |
| 20070410 | 散布地 集落 | 名称未定散 布地 | 加茂字中須賀 721 番 11 | 376.81 | 個人住宅の建設 | 20070501 ～ 20070610 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 112 号 20070417 |
| 20070410 | 散布地 集落 | 名称未定散 布地 | 加茂字中須賀 721 番 1 | 387.56 | 個人住宅の建設 | 20070501 ～ 20070610 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 111 号 20070417 |
| 20070416 | 社寺跡 | 延寿寺跡 | 上土田字西ワキ | 59.81 | 個人住宅の建設 | 20070510 ～ 20071110 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 153 号 20070425 |
| 20070417 | 城館跡 | 岡山城跡 | 表町三丁目 17-113 | 251.87 | 集合住宅の建設 | 20070618 ～ 20080118 | みどり建設興業株 式会社 代表取締役 | 確認調査 | 教文埋第 129 号 20070423 |
| 20070419 | 散布地 集落 | 赤田東遺跡 関連遺跡 | 関字西畑 522 番 6 | 197.4 | 個人住宅の建設 | 20070515 ～ 20070925 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 163 号 20070427 |
| 20070423 | 散布地 集落 | 植松遺跡 | 灘崎町植松字久賀 281 番 | 57 | 携帯電話無線基地 局の設置 | 20070501 ～ 20070630 | ソフトバンクモバ イル 代表執行役社長兼 C E O | 工事立会 | 教文埋第 161 号 20070427 |
| 20070423 | 散布地 集落 | 名称未定散 布地 | 吉備津字三丁河内 1062 番 1 の一部 | 284.1 | 個人住宅の建設 | 20070514 ～ 20071015 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 162 号 20070427 |
| 20070427 | 散布地 集落 | 名称未定散 布地 | 高松原古才字館 268 番地の一部、 269 番地の一部 | 998.84 | 宅地造成 | 200705 上旬 ～ 200707 中 旬 | 株式会社岡山ウッ ドハウス 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 198 号 20070510 |
| 20070507 | 散布地 集落 | 加茂政所遺 跡 | 加茂字加茂宮 1242 番 1 | 399.58 | 宅地造成 個人住宅の建設 | 20070508 ～ 20070731 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 202 号 20070514 |
| 20070507 | 城館跡 | 岡山城跡 | 弓之町 14-23 | 4,487.36 | 学校建設 | 200705 ～ 20080310 | 宮崎建築設計事務 所 代表取締役 | 類未書提出 | 教文埋第 290 号 20070605 |
| 20070518 | 散布地 集落 | 津倉遺跡 | 津倉町一丁目 2 番 13 | 99.17 | 個人住宅の建設 | 20070530 ～ 20070905 | エスバイエルカバ ヤ株式会社 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 260 号 20070525 |
| 20070518 | 散布地 集落 | 津島新野遺 跡 | 学南町二丁目 798 番 4、799 番 4・7 | 995.28 | 集合住宅の建設 | 20070701 ～ 20080130 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第 259 号 20070525 |
| 20070518 | 城館跡 | 岡山城跡 | 表町三丁目 18-111 ・18-134 | 247.52 | 集合住宅の建設 | 20080523 ～ 20080229 | 有限会社エーアイ 代表取締役 | 確認調査 | 教文埋第 262 号 20080528 |
| 20070518 | 散布地 集落 | 名称未定散 布地 | 小橋町一丁目 33 番 1 | 997.44 | 道路位置指定 個人住宅の建設 | 20070524 ～ 20070831 | 学南法務事務所 | 工事立会 | 教文埋第 275 号 20070531 |
| 20070521 | 散布地・ 集落・官 衙・古墳 | 備前国府関 連遺跡 | 中井 302-1 | 773.59 | 宅地造成 道路建設 | 20070528 ～ 200706 上 旬 | 株式会社八代不動 産 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 263 号 20070528 |
| 20070521 | 集落 | 津島岡大遺 跡 | 津島中三丁目 1 番 1 号 | 4000 | 学校建設 ・ガス・電気・上下水 道 | 20070702 ～ 20080330 | 国立大学法人岡山 大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第 280 号 20070601 |
| 20070521 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目 5 番 1 号 | 4500 | その他建物 ・ガス・上下水道 | 20070903 ～ 20080328 | 国立大学法人岡山 大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第 281 号 20070601 |

| | | | | | | | | | |
|----------|---------------------|--------------|---|----------|---------------------|-------------------------|--|------|------------------------|
| 20080521 | 集落 | 田益田中遺跡 | 田益 1711-1 | 121.61 | 屋外トイレ、歩道屋根及びカーポート建設 | 20070523 ～20070730 | 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 院長 | 工事立会 | 教文埋第 281 号 20070601 |
| 20070522 | 集落 | 吉備津田淵後遺跡 | 吉備津 1721-7 | 330.58 | 宅地造成 | 20070530 ～20070715 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 279 号 20070601 |
| 20070523 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 西辛川字成兼 908 番 3 | 739.65 | 集合住宅の建設 | 20070528 ～20070620 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第 296 号 20070606 |
| 20070528 | 散布地 集落 | 赤田東遺跡 関遺跡 | 関 35-7 | 192.67 | 個人住宅の建設 | 200706 下旬 ～200709 下旬 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 297 号 20070606 |
| 20070529 | 城館跡 | 岡山城跡 | 中山下一丁目 9-104 の一部 | 388.04 | 集合住宅の建設 | 20070708 ～20080325 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第 303 号 20070607 |
| 20070604 | 城館跡 | 岡山城跡 | 内山下二丁目 9 番 121・122・127 | 169.71 | 個人住宅の建設 | 20080611 ～20070831 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 335 号 20070613 |
| 20070613 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 新庄下字長 1867 番 | 483.78 | 個人住宅の建設 | 200707 上旬 ～200709 下旬 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 351 号 20070618 |
| 20070614 | 城館跡 | 岡山城跡 | 天神町 6 番 125 | 103.01 | 個人住宅の建設 | 200708 上旬 ～200801 下旬 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 352 号 20070618 |
| 20070615 | 集落 | 吉備津田淵後遺跡 | 吉備津 1721-7 | 330.38 | 浄化槽埋設 | 20071030 ～20071102 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 371 号 20070621 |
| 20070615 | 散布地 集落 | 乙多見遺跡 | 乙多見 197 番 1・ 2、198 番 2・3、 200 番、204 番、 205 番、206 番 2 | 4263.13 | 宅地造成 | 200708 ～200712 | 株式会社コクエイ 代表取締役 | 確認調査 | 教文埋第 373 号 20070621 |
| 20070618 | 散布地 集落 | 津島遺跡 | 津島新野一丁目 952-1、965-1・4・ 7、966-2 | 1380.91 | 宅地造成 個人住宅の建設 | 200706 ～200707 | 株式会社ナカタホ ーム 代表取締役 | 確認調査 | 教文埋第 408 号 20070629 |
| 20070619 | 城館跡 | 岡山城跡 | 中山下二丁目 5-121 | 220.01 | 集合住宅の建設 | 200707 ～未定 | 小林不動産株式会 社 代表取締役 | 確認調査 | 教文埋第 448 号 20070622 |
| 20070621 | 集落 古 墓 水田 | 五反地・国長 遺跡 | 今在家字河屋原 35 番 1、37 番 | 1795.53 | 宅地造成 | 200707 中旬 ～200709 中旬 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 393 号 20070626 |
| 20070622 | 集落 城 館 | 備中高松城 跡 | 高松字城南 657 番 5 | 350.58 | 宅地造成 個人住宅の建設 | 20070627 ～未定 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 422 号 20070705 |
| 20070628 | 散布地 集落 | 原遺跡 | 御津字垣字仁王堂 1460 番台 3、 字水越 1465 番他、 字小通り 1496 番 1 他 | 16609.49 | 店舗建設 | 20070702 ～未定 | 株式会社ジュンテ ンドー 代表取締役 | 確認調査 | 教文埋第 439 号 20070711 |
| 20070629 | 集落 | 名称未定散布地 | 清水一丁目 265 番 4 | 199.27 | 個人住宅の建設 | 20070715 ～20071231 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 427 号 20070709 |
| 20070629 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目 5 番 1 号 | 125 | 給水管布設 | 20070704 ～20070731 | 国立大学法人岡山 大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第 463 号 20070717 |
| 20070703 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 米田字西向当摩 50-1、51-1、53、 54-2 字当摩 47-2、48、 48 番地先農道 | 9678.15 | 宅地造成 | 200709 ～未定 | 株式会社岡住 代表取締役 株式会社岡山ウッ ドハウス 代表取締役 | 確認調査 | 教文埋第 434 号 20070710 |
| 20070703 | 城館跡 | 撫川城跡 庭瀬城跡 | 撫川 415-2 | 165.58 | 個人住宅の建設 | 200708 下旬 ～未定 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 433 号 20070710 |
| 20070718 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関 連遺跡 | 国府市場字大日 412 番 3 | 256.85 | 個人住宅の建設 | 20070820 ～20080220 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 502 号 20070726 |
| 20070718 | 古墳 | 造山古墳 | 新庄上 1132-3 番 ～新庄下 1125 番 地先 | 11.3 | 電柱・支線の設置 | 20080220 | 中国電力株式会社 倉敷営業所 所長 | 工事立会 | 教文埋第 531 号 20070801 |
| 20070723 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関 連遺跡 | 国府市場字大日 412 番 4・5 | 389.27 | 個人住宅の建設 | 20070820 ～20080220 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 515 号 20070730 |
| 20070725 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 納所字納所後 27 番 1・2 | 497.46 | 個人住宅の建設 | 20070825 ～20071110 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 542 号 20070808 |
| 20070728 | 集落 | 津島岡大遺 跡 | 津島中三丁目 1 番 1 号 | 200 | 公共下水接続工事 | 20070817 ～20070910 | 国立大学法人岡山 大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第 543 号 20070806 |
| 20070730 | 集落 | 津島遺跡 | いずみ町 1-24 | 2279.82 | 集合住宅の建設 | 200708 ～200801 末 | 株式会社和田コー ポレーション 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 550 号 20070801 |

| | | | | | | | | | |
|----------|---------------------|-------------------------|---|---------|--------------------|----------------------------|--|------|----------------------|
| 20070730 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目5番1号 | 800 | 環境整備工事 | 20070806 ～20071228 | 国立大学法人岡山大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第570号 20070813 |
| 20070803 | 集落 | 高塚遺跡 | 高松字松ノ下 186番3 | 395.05 | 個人住宅の建設 | 20070810 ～20080310 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第574号 20070813 |
| 20070806 | 城館跡 | 撫川城跡 庭瀬城跡 | 撫川字城ノ内 440-12 | 370.7 | 個人住宅の建設 | 200710 上旬 ～200801 下旬 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第573号 20070813 |
| 20070809 | 城館跡 | 岡山城跡 | 表町三丁目11-116 ～119・145・158 | 1434.48 | 集合住宅の建設 | 20070910 ～20071220 | 株式会社リプラス 代表取締役 | 確認調査 | 教文埋第604号 20080822 |
| 20070809 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関 連遺跡 | 国府市場字高下 405番9、406番6 | 237.45 | 個人住宅の建設 | 20070901 ～20080331 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第598号 20070821 |
| 20070810 | 散布地 集落 | 名称未定散 布地 | 下足守字惣木 1899-5、1905-1・3 ・4・5・6、1901の 一部 | 256.41 | 診療所増築 | 20070913 ～20071223 | 医療法人雄風会 理事長 | 工事立会 | 教文埋第599号 20070821 |
| 20070813 | 散布地 集落 | 川入遺跡 | 川入字中橋上 470番1 | 165.32 | 個人住宅の建設 | 20070820 ～20071130 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第619号 20070834 |
| 20070822 | 散布地 集落 | 南方遺跡 | 清心町280-7 | 381.13 | 個人住宅の建設 | 20071115 ～20080531 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第629号 20070828 |
| 20070822 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関 連遺跡 | 国府市場 43 番他 3 筆 | 761.5 | 店舗建設 | 200711 ～未定 | 株式会社ハビーマ ート 代表取締役 | 発掘調査 | 教文埋第630号 20070828 |
| 20070824 | 散布地 集落 | 百間川遺跡 群 | 兼基字村前 382番1 | 1274.39 | 有料老人ホームの 建設 | 200709 末 ～未定 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第639号 20070904 |
| 20070830 | 集落 | 津島岡大遺 跡 | 津島中三丁目1番 1号 | 80 | 中央図書館耐震改 修工事 | 20071015 ～20080318 | 国立大学法人岡山 大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第660号 20070911 |
| 20070830 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目5番 1号 | 60 | 新営機械設備工事 | 20070910 ～20070920 | 国立大学法人岡山 大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第659号 20070911 |
| 20070906 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関 連遺跡 | 国府市場字大日 412番1・6 | 376.1 | 個人住宅の建設 | 20071001 ～20071231 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第664号 20070912 |
| 20070912 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目5番 1号 | 50 | 電気設備工事 | 20070925 ～20070930 | 国立大学法人岡山 大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第725号 20070926 |
| 20070921 | 散布地 | 百間川原尾 島遺跡 | 原尾島863番5・6 | 193.91 | 個人住宅の建設 | 20071022 ～20071224 | 個人 | 慎重工事 | 教文埋第761号 20071003 |
| 20070921 | 散布地 | 津島東遺跡 | 津島東四丁目2413 番50 | 281.93 | 個人住宅の建設 | 20071117 ～20080317 | 個人 | 慎重工事 | 教文埋第746号 20071001 |
| 20070926 | 散布地 集落 | 野々口遺跡 | 御津野々口 1372-6、1399-10 | 4.32 | 電柱、支柱の設置 | 200710 上旬 ～200712 下旬 | 中国電力株式会社 岡山営業所 所長 | 慎重工事 | 教文埋第753号 20071003 |
| 20071004 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関 連遺跡 | 中井字天神畑320 番7 | 9 | 通信設備 | 200801 下旬 ～200803 下旬 | 株式会社エヌ・テ ィ・ティ・ドコモ中 国 取締役ネット ワーク企画部長 | 工事立会 | 教文埋第865号 20071025 |
| 20071010 | 集落 城館跡 散布地 | 新道遺跡 | 山科町50番12・ 36 | 334.34 | 集合住宅の建設 | 20080309 ～20080616 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第825号 20071017 |
| 20071010 | 城館跡 | 岡山城跡 | 中山下一丁目4番 104 | 25.44 | 通信設備関係・ボー リング調査 | 20071105 ～20071130 | KDD I 株式会社 広島エンジニアリ ングセンター長 | 工事立会 | 教文埋第826号 20071017 |
| 20071011 | 貝塚 | 新邸貝塚 | 納所字郷ノ溝 254 番1 | 476.73 | 医院建設 | 20071105 ～200803 末 日 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第843号 20071019 |
| 20071012 | 散布地 | 上伊福西遺 跡・尾針神社 南遺跡 | 京山一丁目1499 番1・2 | 572.62 | 集合住宅の建設 | 20071031 ～20080303 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第844号 20071019 |
| 20071015 | 散布地 集落 | 吉野口遺跡 吉備津田淵 後遺跡ほか | 吉備津字薬師 1356番8 | 178.83 | 個人住宅の建設 | 20071120 ～20080331 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第845号 20071019 |
| 20071015 | 散布地 集落 | 赤田東遺跡 関遺跡 | 赤田字数田 211-1 ・3 | 1775.43 | 集合住宅の建設 | 20071110 ～20080420 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第863号 20071025 |
| 20071017 | 集落 | 名称未定散 布地 | 富田町一丁目 411-1・2・3 | 444.03 | 店舗建設 | 20071030 ～20071230 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第866号 20071025 |
| 20071023 | 古墳 | 玉井丸山古 墳 | 瀬戸町観音寺字池 下 565-1・2、600-1 字円山下 647 | 272.5 | 大学建設 | 200711 ～未定 | 学校法人 創志学 園 理事長 | 確認調査 | 教文埋第896号 20071102 |

| | | | | | | | | | |
|----------|---------------------|-------------------|--|---------|-------------------|-------------------------|---|-------|-----------------------|
| 20071025 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目5番1号 | 300 | 記念館増築その他工事 | 20071120 ～20080520 | 国立大学法人岡山大学 学長 | 確認調査 | 教文埋第909号 20071030 |
| 20071025 | 散布地 集落 官 | 備前国府関連遺跡 | 国府市場字河原田465番11 | 298.39 | 個人住宅の建設 | 20071120 ～20080220 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第893号 20071030 |
| 20071025 | 散布地 | 清水遺跡 | 清水492-1の一部 493-1・4 | 782.93 | 集合住宅の建設 | 20080129 ～20080220 | 個人 | 確認調査 | 教埋第897号 20071102 |
| 2007130 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 足守字惣木 | 200 | 露天駐車場の建設 | 20071217 ～20080228 | 医療法人雄風会 理事長 | 工事立会 | 教文埋第904号 20071106 |
| 20071102 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 国府市場字河原田485番7、405番8 | 278.82 | 個人住宅の建設 | 20071201 ～20080530 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第935号 20071103 |
| 20071102 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 国府板場字河原田465番9・10 | 304.25 | 個人住宅の建設 | 20071201 ～20080530 | 個人 | 慎重工事 | 教文埋第934号 20071113 |
| 20071103 | 散布地 集落 | 西江尻遺跡 | 瀬戸町江尻字門畑1677番2 | 150.08 | 宅地造成 個人住宅の建設 | 20080110 ～20080410 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第942号 20081115 |
| 20071108 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 津島福居一丁目1963番14・17の各一部 | 561.74 | 私道建設 | 20071203 ～20080131 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第943号 20071115 |
| 20071109 | 散布地 集落 | 吉野口遺跡 吉備津田淵後遺跡 | 吉備津字井手ノ元1407番15 | 862.94 | 集合住宅の建設 | 20071220 ～20080325 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第945号 20071115 |
| 20071112 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 国府市場字高下265番8 | 208.4 | 個人住宅の建設 | 200712 中旬 ～200803 下旬 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第989号 20071128 |
| 20071112 | 集落 古墳 | 中井南三反田遺跡 | 中井字北溝287-1 | 1028 | 診療所建設 | 200711 ～200804 | 医療法人サンクリ ニック 理事長 | 工事立会 | 教文埋第973号 20071123 |
| 20071114 | 散布地 集落 | 南方遺跡 | 南方一丁目7-101、7-102 | 500.27 | 事務所用テナント ビルの建設 | 200712 ～2008 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第976号 20071123 |
| 20071116 | 散布地 集落 | 北方長田遺跡 | 北方一丁目663-5 | 166.40 | 個人住宅の建設 | 20071201 ～20080331 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第980号 20071126 |
| 20071119 | 散布地 集落 | 上伊福遺跡 | 伊福町三丁目663-7・8 | 281.6 | 個人住宅の建設 | 20071207 ～20080430 | 個人 | 慎重工事 | 教文埋第979号 20071126 |
| 20071126 | 散布地 集落 | 大供中道遺跡 | 大供一丁目5番113の一部、114 | 234.23 | 個人住宅の建設 | 20071130 ～20080228 | 個人 | 慎重工事 | 教文埋第1029号 20071206 |
| 20071128 | 集落 | 上沼遺跡 | 高松原古才字館東461番 | 1414.04 | 宅地造成(道路部分 建設) | 200712 上旬 ～200801 | フウハウス株式会 社 代表取締役 | 慎重工事 | 教文埋第1027号 20071206 |
| 20071129 | 城館跡 | 岡山城跡 | 表町三丁目10-66 | 526.02 | 集合住宅の建設 | 20070110 ～20070320 | 株式会社江口建設 代表取締役 | 顛末書提出 | 教文埋第1016号 20071205 |
| 20071130 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 国府市場字高下405番9、406番5、406番6、405番7、506番3・4 | 319.87 | 個人住宅の建設 | 20080110 ～20080630 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第1028号 20071206 |
| 20071130 | 集落 | 津島遺跡 | いずみ町1-44 | 1.3 | 弓道場ネット支柱 設置 | 20071215 | 社団法人岡山県総 合協力事業団岡山 県総合グラウンド 事務所 所長 | 工事立会 | 教文埋第1030号 20071211 |
| 20071204 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目5番1号 | 3000 | 用水路等改修工事 | 20071206 ～20080530 | 国立大学法人岡山大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第1042号 20071211 |
| 20071204 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目5番1号 | 1400 | 駐車場整備工事 | 20071215 ～20080215 | 国立大学法人岡山大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第1041号 20071211 |
| 20071205 | 散布地 集落 | 川入遺跡 | 川入字中橋上380番地1 | 165.13 | 宅地造成 個人住宅の建設 | 200803 上旬 ～未定 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第1040号 20071211 |
| 20071206 | 集落 | 北方遺跡 | 学南町二丁目23 | 285.28 | 個人住宅の建設 | 200802 上旬 ～200809 上旬 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第1050号 20071214 |
| 20071211 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目5番1号 | 300 | 看護師宿舎耐震工 事 | 20071218 ～20080325 | 国立大学法人岡山大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第1063号 20071217 |
| 20071220 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 国府市場字成光寺911番9・12 | 161.05 | 個人住宅の建設 | 20080125 ～20080529 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第1095号 20071227 |
| 20071221 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 賞田字矢南176番3 | 397.65 | 個人住宅の建設 | 20080107 ～20080325 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第1136号 20080110 |

| | | | | | | | | | |
|----------|----------------|----------|---|---------|---------------------|-------------------------|-------------------------------|------|-------------------------|
| 20071228 | 集落 | 北方遺跡 | 学南町二丁目 144 番 8 | 176.78 | 集合住宅の建設 | 20080130 ～20080430 | 個人 | 慎重工事 | 教文埋第 1153 号 20080118 |
| 20080104 | 集落 | 津島岡大遺跡 | 津島中一丁目 1 番 1 号 | 300 | インキュベーション施設の建設 | 20080110 ～20080830 | 国立大学法人岡山大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第 1160 号 20080118 |
| 20080115 | 散布地集落 | 野々口遺跡 | 御津野々口字竜王 1136 番第 1 他 23 筆 | 8885.99 | 工場建設 露天駐車場の建設 | 20080210 ～20080630 | カバヤ食品株式会社 代表取締役社長 | 確認調査 | 教文埋第 1162 号 20080118 |
| 20080115 | 散布地集落 | 野々口遺跡 | 御津野々口字原 1127 番 1・4、字竜王 1128 番 1、1129 番 1、1131 番 1 | 2616 | 露天駐車場の建設 | 20080210 ～20080420 | カバヤメンテナンスサービス株式会社 代表取締役社長 | 確認調査 | 教文埋第 1163 号 20080118 |
| 20080125 | 散布地集落 官街 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 中井字五反田 308 番 1・1 地先市道、字北梅木 407 番 | 3345.63 | 宅地造成 | 20080301 ～20080430 | 菱善地所有限会社 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 1198 号 20080201 |
| 20080125 | 散布地集落 | 名称未定散布地 | 清水一丁目 265 番 5 の一部・9 の一部 | 120.16 | 個人住宅の建設 | 200802 初日 ～20080330 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 1199 号 20080201 |
| 20080125 | 城館跡 | 岡山城跡 | 表町三丁目 10-66 | 526.02 | 集合住宅の外構工事 | 20080205 ～20080215 | 株式会社江口建設 代表取締役 | 確認調査 | 教文埋第 1194 号 20080129 |
| 20080129 | 集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町 2 丁目 5 番 1 号 | 50 | 高エネルギー治療室改修工事 | 20080205 ～20080330 | 国立大学法人岡山大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第 1215 号 20080201 |
| 20080129 | 城館跡 | 中島城跡 | 中島字川角 64 番 | 90 | 携帯電話基地局 無線基地局の設置 | 20080321 ～20080507 | KDD I 株式会社 広島エンジニアリングセンター長 | 確認調査 | 教文埋第 1213 号 20080206 |
| 20080206 | 散布地集落 | 上沼遺跡 | 高松原古才字館東 461 番 6 | 168.09 | 個人用住宅の建設 | 200802 中旬 ～20080431 | ワウハウス株式会社 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 1232 号 20080213 |
| 20080208 | 集落 | 百間川遺跡群 | 沢田 7 番 3 | 1100.2 | 集合住宅の建設 | 20080404 ～20080920 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第 1276 号 20080219 |
| 20080206 | 集落 | 百間川遺跡群 | 沢田 7 番 4 の一部・6 の一部・7 | 933.7 | 集合住宅の建設 | 20080510 ～20081020 | 個人 | 確認調査 | 教文埋第 1275 号 20080219 |
| 20080214 | 集落 | 絵図遺跡 | 絵図町 1412-1・4 ～10、1414-1・3 ～5 | 2768.93 | 校舎建設 | 20080320 ～20080830 | 学校法人朝日専修学園 理事長 | 工事立会 | 教文埋第 1278 号 20080219 |
| 20080219 | 集落 | 乙多見遺跡 | 関字知又 303 番 10 | 190.69 | 個人住宅の建設 | 20080408 ～20080717 | 個人 | 慎重工事 | 教文埋第 1314 号 20080225 |
| 20080221 | 散布地集落 | 津島岡大遺跡 | 津島中一丁目 1 番 1 号 | 120 | 薬学部ガス配管改修工事 | 20080310 ～20080330 | 国立大学法人岡山大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第 1346 号 20080228 |
| 20080221 | 散布地集落 | 鹿田遺跡 | 鹿田町二丁目 5 番 1 号 | 50 | グラウンド防球ネット取付工事 | 20080225 ～20080320 | 国立大学法人岡山大学 学長 | 工事立会 | 教文埋第 1347 号 20080228 |
| 20080222 | 散布地集落 官街 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 国府市場字高下 265 番 3 | 205.59 | 個人住宅の建設 | 200803 末日 ～200807 末日 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 1343 号 20080227 |
| 20080222 | 集落 | 津島遺跡 | いずみ町 1-21 | — | 電柱設置 | 200803 中旬 ～20080331 | 中国電力株式会社 岡山営業所所長 | 工事立会 | 教文埋第 1337 号 20080227 |
| 20080225 | 散布地集落 | 橘津遺跡 | 橘津字岩端 719-4・5 | 132.65 | 個人住宅の建設 | 20080320 ～20080720 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 1349 号 20080229 |
| 20080229 | 散布地集落 | 名称未定散布地 | 米田字西向当摩 50 番 14 | 165.96 | 個人住宅の建設 | 20080304 ～20080601 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 1424 号 20080318 |
| 20080305 | 散布地集落 | 北方長田遺跡 | 北方三丁目 1089 番 2・3、1088 番 5 | 845.99 | 宅地造成 | 20080404 ～20080704 | 山陽地所株式会社 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 1378 号 20080311 |
| 20080307 | 散布地集落 | 名称未定散布地 | 瀬戸町寺地字山手 564-5 | 297.55 | 宅地造成 | 20080320 ～20080530 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 1425 号 20080318 |
| 20080310 | 散布地集落 官街 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 国府市場字高下 395 番 8 | 206.91 | 個人住宅の建設 | 20080330 ～20080616 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 1426 号 20080318 |
| 20080312 | 集落 | 伊福定国前遺跡 | 伊福町四丁目 1078 | 2217 | 集合住宅の建設 | 20080801 ～20090331 | 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 院長 | 発掘調査 | 教文埋第 1456 号 20080325 |
| 20080314 | 散布地集落 | 堀ノ内遺跡 | 瀬戸町肩脊字尾原 井 1061 番 3 | 489.96 | 宅地造成 個人住宅の建設 | 200805 上旬 ～200806 下旬 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 1438 号 20080321 |
| 20080224 | 散布地集落 | 名称未定散布地 | 西辛川字和井元 715 番 1、716 番 | 733 | 宅地造成 | 20080327 ～20080515 | 有限会社ハーベスト開発 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 39 号 20080404 |
| 20080327 | 散布地集落 | 上沼遺跡 | 高松原古才字館東 461 番 7 | 157.81 | 個人住宅の建設 | 20080407 ～20080611 | ワウハウス株式会社 代表取締役 | 工事立会 | 教文埋第 21 号 20080403 |

| | | | | | | | | | |
|----------|-----------|------|-------------------|--------|---------|------------------------|----|------|-----------------------|
| 20080329 | 散布地 集落 | 川入遺跡 | 川入字中橋上 470-2・4 | 269.68 | 個人住宅の建設 | 20080501 ～ 20080831 | 個人 | 工事立会 | 教文埋第 38 号 20080404 |
|----------|-----------|------|-------------------|--------|---------|------------------------|----|------|-----------------------|

埋蔵文化財発掘の通知 (第 94 条)

67 件

| 提出日 | 種類 | 遺跡名 | 所在地 | 面積 (㎡) | 工事の目的 | 工事期間 | 届出者 | 対応・指導事項 | 岡山県文書番号 日付 |
|----------|-----------------|-----------------------------|-----------------------------------|--------|-----------------|-------------------------|---------------------|--------------|------------------------|
| 2000403 | 散布地 集落 貝塚 | 妹尾住田遺跡 名称未定散布地 | 妹尾 1478 地先～ 1358 地先外 1 件 | 181.4 | 配水管布設 | 200705 中旬 ～ 20070914 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 70 号 20070411 |
| 20070403 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 御津紙工 1528 地先 ～ 1548 地先外 2 件 | 170.3 | 配水管布設 | 200705 上旬 ～ 20080831 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 69 号 20070411 |
| 20070406 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 御津河内 2452-3 地先～ 2465 地先まで他 2 件 | 113 | 配水管布設 | 200704 下旬 ～ 20070731 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 82 号 20070413 |
| 20070406 | 散布地 集落 | 北方遺跡 | 岡山市中井町一丁目 3-15 地先～ 10-26 地先 | 200 | 配水管布設 | 200704 下旬 ～ 20070930 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 81 号 20070413 |
| 20080406 | 散布地 集落 官 | 備前国府関 連遺跡 | 雄町 115-1 地先～ 128 地 先 | 178.8 | 配水管布設 | 20070501 ～ 20070731 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 89 号 20070413 |
| 20070417 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 御津紙工 2689 地先～御 津河内 2852 地先 | 180 | 配水管布設 | 200705 上旬 ～ 20071031 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 128 号 20070423 |
| 20070417 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 御津河内 1104 ～ 1016 他 6 件 | 150 | 配水管布設 | 200705 上旬 ～ 20071031 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 127 号 20070423 |
| 20070420 | 集落 | 百間川米田 遺跡 | 米田・中川町地内 | 23926 | 公園造成 | 20070525 ～未定 | 岡山市長 | 確認調査 | 教文埋第 165 号 20070427 |
| 20070427 | 集落 | 上伊福西遺 跡 尾針神社南 遺跡 | 京山二丁目 2-29 地先外 1 件 | 51 | 配水管布設 | 20070501 ～ 20070731 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 187 号 20070507 |
| 20070427 | 集落 | 津島遺跡 | 伊福町二丁目 27 - 35 ～ 三丁目 31-9 地先 | 280 | 配水管布設 | 20070514 ～ 2007831 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 239 号 20070518 |
| 20070502 | 散布地 集落 | 乙多見遺跡 | 関 461-3 番地～ 464-8 番 地先 | 108.6 | 污水管理設 人孔設置 | 200707 中旬 ～ 20071228 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 201 号 20080514 |
| 20070507 | 散布地 集落 | 百間川遺跡 群 | 藤原光町二丁目 9-1 番地～ 13-2 番地先 | 113.7 | 污水管理設 人孔設置 | 200706 上旬 ～ 20071228 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 240 号 20070518 |
| 20070507 | 散布地 | 名称未定散布地 | 厚生町一丁目 5-17 ～大供二丁目 9-11 地先 | 179 | 配水管布設 | 20070514 ～ 20070928 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 241 号 20070518 |
| 20070510 | 散布地 集落 | 北方遺跡 | 大和町二丁目 4-22 番地～ 3-17 番地先 | 262 | 污水管理設 人孔設置 | 200706 上旬 ～ 20071228 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 276 号 20070531 |
| 20070510 | 散布地 集落 | 北方遺跡 | 大和町一丁目 14-1 番地 ～二丁目 2-30 番地 | 549 | 污水管理設 人孔設置 | 200706 上旬 ～ 20071228 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 238 号 20070518 |
| 20070521 | 散布地 集落 | 北方遺跡 | 中井町一丁目 7-4 ～二丁 目 2-60 番地先 | 189 | 污水管理設 人孔設置 | 200706 下旬 ～ 20080330 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 264 号 20070528 |
| 20070528 | 集落 | 小山馬揃遺 跡 | 小山 242-1 地先～ 38-9 地先まで | 160 | 配水管布設 | 20070615 ～ 20080330 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 304 号 20070607 |
| 20070607 | 散布地 | 名称未定散布地 | 大供本町 500-1 地先～ 500-4 地先 | 114 | 土地区画整理 下水道工事 | 20070625 ～ | 岡山市長 | 発掘調査 工事立会 | 教文埋第 342 号 20070614 |
| 20080621 | 集落 | 鹿田遺跡 | 東古松一丁目 2-10 地先 ～ 2-28 地先 | 114 | 配水管布設 | 20070627 ～ 20070907 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 405 号 20070629 |
| 20070628 | 散布地 集落 貝塚 | 妹尾住田遺跡 名称未定散布地 名称未定貝塚 | 妹尾 1513 番地～ 1270-5 番地先 | 109.7 | 污水管理設 人孔設置 | 200708 上旬 ～ 20080229 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 440 号 20070711 |
| 20070713 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 高松 299 地先～ 141-1 地 先 | 200 | 配水管布設 | 200708 下旬 ～ 20080331 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 495 号 20070723 |
| 20070713 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 高松原古才 244-1 地先～ 316 地先マまで | 230 | 配水管布設 | 200709 上旬 ～ 20080331 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 496 号 20070723 |
| 20070719 | 散布地 | 原遺跡 | 御津字垣 1753-1 | 168 | 老人ホームの 下水管理設 | 20070831 ～ 20071130 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 513 号 20070730 |
| 20070719 | 集落 | 百間川遺跡 群 | 藤原光町二丁目 18-6 番 地～ 2-3 番地先 | 218.5 | 污水管理設 人孔設置 | 200708 中旬 ～ 20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 514 号 20070730 |
| 20070724 | 集落 | 百間川兼基 遺跡 百間川遺跡 群 | 兼基 232-1 番地～ 256-1 番地先 | 103.6 | 污水管理設 人孔設置 | 200708 上旬 ～ 20080228 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 544 号 20070806 |

| | | | | | | | | | |
|----------|---------------------|--------------------|----------------------------------|-------|---------------|--------------------|-----------------|------|-------------------------|
| 20070725 | 散布地 | 名称未定散布地 | 御津紙工 2852 地先～3343 地先 | 295 | 配水管布設 | 200708 中旬～20091225 | 岡山市水道事業管理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 545 号 20070806 |
| 20070801 | 散布地 集落 | 百間川原尾島遺跡 百間川遺跡群 | 藤原西町二丁目 6-51 地先～7017 地先 | 380 | 配水管布設 | 20070816～20071228 | 岡山市水道事業管理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 575 号 20070813 |
| 20070817 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 津島東 4-12 地先～4-17 地先 | 93.6 | 配水管布設 | 200709 下旬～20071130 | 岡山市水道事業管理者 水道局長 | 慎重工事 | 教文埋第 618 号 20070824 |
| 20070822 | 城館跡 | 足守陣屋遺構 | 足守 801-6 番地～864 番地 | 100.7 | 汚水管理設 人孔設置 | 200709 下旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 631 号 20070828 |
| 20070906 | 城館跡 | 庭瀬城跡・撫川城跡 | 庭瀬 747-2 地先～747-10 地先 | 11 | 配水管布設 | 200710 上旬～20080123 | 岡山市水道事業管理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 665 号 20070912 |
| 20070914 | 城館跡 散布地 集落 | 足守陣屋遺構 余町遺跡 | 足守 689-4 番地～743-2 番地先 | 85.1 | 汚水管理設 人孔設置 | 200711 上旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 724 号 20070926 |
| 20070926 | 城館跡 | 岡山城跡 | 内山下二丁目 1-1 地先～3-53 地先 | 352 | 配水管布設 | 20071009～20080307 | 岡山市水道事業管理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 752 号 20071003 |
| 20071031 | 散布地 集落 官 衙 古墳 | 備前国府関連遺跡 | 中井 275-5 番地～279 番地 | 15 | 汚水管理設 人孔設置 | 200711 中旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 927 号 20071113 |
| 20071031 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 乙多見 329 番地～437-9 番地 | 20.6 | 汚水管理設 人孔設置 | 200711 中旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 928 号 20071113 |
| 20071031 | 散布地 集落 | 百間川遺跡群 | 兼基 304-5 番地～294-1 番地 | 14.5 | 汚水管理設 人孔設置 | 200711 中旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 929 号 20071113 |
| 20071101 | 散布地 集落 | 東岡山遺跡 | 長岡 67-71 番地～518 番地 | 59.4 | 汚水管理設 人孔設置 | 200711 下旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 930 号 20071113 |
| 20071101 | 散布地 集落 | 赤田東遺跡・関遺跡 清水遺跡 | 清水 504-2 番地～赤田 167-3 番地先 | 62.2 | 汚水管理設 人孔設置 | 200711 下旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 932 号 20071113 |
| 20071101 | 散布地 集落 | 百間川原尾島遺跡 百間川遺跡群 | 藤原西町一丁目 1-4 番地～藤原光町一丁目 4-3-1 番地先 | 162.5 | 汚水管理設 人孔設置 | 200712 中旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 931 号 20071113 |
| 20071105 | 散布地 集落 | 北方長田遺跡 | 北方一丁目 4-1 地先～15-20 地先 | 400 | 配水管布設 | 200711 中旬～20080331 | 岡山市水道事業管理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 933 号 20071113 |
| 20071107 | 散布地 集落 | 乙多見遺跡 関遺跡 | 関 324-3 番地～462-8 番地 | 64.5 | 汚水管理設 人孔設置 | 200801 中旬～20080831 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 940 号 20071115 |
| 20071107 | 散布地 集落 | 名称未定散布地 | 高屋 387-4 番地～416-10 番地 | 67.1 | 汚水管理設 人孔設置 | 200801 中旬～20080831 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 941 号 20081115 |
| 20071108 | 集落 | 百間川遺跡群 | 藤原 1-1 番地～高屋 4-2 番地 | 97.1 | 汚水管理設 人孔設置 | 200801 下旬～20080930 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 944 号 20080115 |
| 20071120 | 散布地 集落 | 津島東遺跡 | 津島福居二丁目 3-1 地先～津島東二丁目 4-4 地先 | 25 | 配水管布設 | 200712 上旬～20080229 | 岡山市水道事業管理者 水道局長 | 慎重工事 | 教文埋第 995 号 20071129 |
| 20071120 | 散布地 集落 | 津島東遺跡 | 津島東四丁目 1-13 番地～2-1 番地先 | 108 | 汚水管理設 人孔設置 | 200712 上旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1008 号 20071203 |
| 20081120 | 散布地 | 名称未定散布地 | 津島東二丁目 2-10 番地～8-1 番地先 | 146 | 汚水管理設 人孔設置 | 200712 上旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 997 号 20071129 |
| 20071120 | 散布地 | 名称未定散布地 | 厚生町一丁目 1-11 番地地先～二丁目 15-10 番地先 | 253 | 配水管布設 | 20071203～20080331 | 岡山市水道事業管理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 996 号 20071129 |
| 20071128 | 散布地 集落 | 赤田東遺跡・関遺跡 清水遺跡 | 赤田・清水地内 | 920.4 | 市道拡幅・延長 | 200712 中旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1015 号 20071205 |
| 20081229 | 散布地 | 名称未定散布地 | 高屋 187-4 番地～194 番地 | 50.4 | 汚水管理設 人孔設置 | 200801 中旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1036 号 20071210 |
| 20071129 | 集落 | 乙多見遺跡 | 関 337-13 番地～350-19 番地 | 106.9 | 汚水管理設 人孔設置 | 200801 中旬～20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1036 号 20071212 |
| 20071217 | 集落 | 赤田東遺跡・関遺跡 | 高屋 376-5 番地～関 15 番地 | 170.7 | 汚水管理設 人孔設置 | 200801 中旬～20081128 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1077 号 20071219 |
| 20071217 | 集落 | 百間川遺跡群 | 藤原 79-2 番地～95 番地地先 | 100.1 | 汚水管理設 人孔設置 | 200801 中旬～20081031 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1076 号 20071219 |
| 20071217 | 城館跡 | 龜山城跡 | 沼地内 | 255 | 密着型安定ネット設置 | 20080106～20080331 | 岡山市長 | 注意施行 | 教文埋第 1088 号 20071226 |
| 20071220 | 散布地 | 名称未定散布地 | 厚生町三丁目 6-21 番地先～大供本町 553-1 番地先 | 120.4 | 配水管布設 | 20071225～20080331 | 岡山市水道事業管理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 1096 号 20071227 |

| | | | | | | | | | |
|----------|--------------------|----------------------------|--------------------------------|--------------------|------------------------------------|-------------------------|---------------------|------|--------------------------|
| 20071225 | 散布地 集落 官衛 古墳 | 備前国府関 連遺跡 | 中井 73-3 番地～雄町 613-17 番地 | 65 | 污水管理設 人孔設置 | 200801 下旬 ～ 20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1138 号 20080110 |
| 20071225 | 散布地 集落 | 百間川原尾 島遺跡 百間川遺跡 群 | 藤原西町一丁目 2-37 番 地～1-10 番地先 | 110.7 | 污水管理設 人孔設置 | 200801 下旬 ～ 20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1137 号 20080110 |
| 20071228 | 散布地 | 名称未定散 布地 | 大供本町 553-1 地先～ 550-1 地先 | 75.95 | 配水管布設 | 200801 下旬 ～ 20080331 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 1140 号 20081010 |
| 20080122 | 散布地 | 名称未定散 布地 | 厚生町三丁目 6-21 地先 ～大供本町 493 地先 | 101.55 | 配水管布設 | 200802 下旬 ～ 20080530 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 工事立会 | 教文埋第 1184 号 20080130 |
| 20080129 | 集落 | 赤田東遺跡 ・関遺跡 | 赤田 130-1 番地～ 232 番 地 | 139.5 | 污水管理設 人孔設置 | 200804 中旬 ～ 20081226 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1214 号 20080206 |
| 20080205 | 集落 | 乙多見遺跡 | 関 381-4 番地～ 雄町 187-1 番地先 | 7.6 | 污水管理設 人孔設置 | 200804 中旬 ～ 20080731 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1229 号 20080213 |
| 20080213 | 散布地 集落 | 北方長田遺 跡 | 北方一丁目 659-1 番地～ 1053-3 番地 | 480 | 污水管理設 人孔設置 | 200804 上旬 ～ 2009 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1279 号 20080219 |
| 20080225 | 集落 | 百間川遺跡 群 | 藤原光町 10-1 番地～ 10-5 番地 | 50.8 | 污水管理設 人孔設置 | 200804 下旬 ～ 20080930 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1351 号 20080229 |
| 20080225 | 集落 | 百間川遺跡 群 | 藤原西町二丁目 7-17 番 地～ 6-51 番地 | 65.1 | 污水管理設 人孔設置 | 200804 下旬 20090331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1350 号 20080229 |
| 20080229 | 城館跡 | 岡山城跡 | 丸の内二丁目 6-30 | 0.056 | 被災建築物説 明板設置 | 20080331 | 岡山市長 | 慎重工事 | 教文埋第 1445 号 20080324 |
| 20080303 | 貝塚 | 名称未定貝 塚 | 妹尾 1348 地先～ 1363 地 先 | 192.3 × 0.5～0.8 | 配水管布設 | 200804 中旬 ～ 20080630 | 岡山市水道事業管 理者 水道局長 | 慎重工事 | 教文埋第 1421 号 20080318 |
| 20070307 | 散布地 集落 | 名称未定散 布地 | 乙多見 123-7～ 347-10 | 119.9 | 污水管理設 人孔設置 | 200804 下旬 ～ 20080331 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1422 号 20080318 |
| 20070307 | 散布地 集落 | 乙多見遺跡 | 乙多見 152-4～ 38-34 | 84.3 | 污水管理設 人孔設置 | 200804 下旬 ～ 20081228 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 1423 号 200803218 |
| 20070324 | 散布地 集落 | 南方遺跡 | 南方一丁目 3 番 | 153 | コミュニティ ハウス建設・電 気・水道 配管 設置 | 200805 ～ 200809 | 岡山市長 | 工事立会 | 教文埋第 17 号 20080401 |

埋蔵文化財発掘調査の報告（第 99 条の 1）

3件

| 種類及び遺跡名 | 所在地 | 面積 (㎡) | 目的及び原因 | 調査期間 | 調査主体者 | 調査担当者 | 文書番号 日付 |
|-----------------------------|---------------|--------|--------|------------------------|-------------|--|-------------------------|
| 城館跡 岡山城跡 | 丸の内 2 丁目 | 1000 | 史跡整備 | 20071001 ～ 20080331 | 岡山市教育委員会教育長 | 岡山市教育委員会 主任 長谷川 一英 文化財保護主事 西田 和浩 | 岡教文第 703 号 200710108 |
| 散布地 集落 官衛 古墳 備前国府関連遺跡 | 国府市場 43 外 4 筆 | 72 | 店舗建設 | 20071210 ～ 20071228 | 岡山市教育委員会教育長 | 岡山市教育委員会 主査 扇崎 由 文化財保護主事 田嶋 正憲 | 岡教文第 962 号 20071217 |
| 散布地 大供本町遺跡 | 大供本町地内 | 955 | 市道整備 | 20071108 ～ 20080331 | 岡山市教育委員会教育長 | 岡山市教育委員会 主任 高橋 伸二 文化財保護主事 岡本 芳明 | 岡教文第 1117 号 20080225 |

埋蔵文化財試掘・確認調査の報告（第 99 条）

30件

| 種類及び遺跡名 | 所在地 | 面積 (㎡) | 目的及び原因 | 調査期間 | 包蔵地 | 調査主体者 | 調査担当者 | 文書番号 日付 |
|----------------|-----------------------------|--------|------------------|----------|-----|-----------------|---|------------------------|
| 集落 鹿田遺跡 | 東古松四丁目 290-2 | 1 | 集合住宅の建 設 | 20070403 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 107 号 20070427 |
| 集落 百間川米田遺跡 | 米田・中川町地内 | 2 | グラウンドゴ ルフ場の整備 | 20070425 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 176 号 20070521 |
| 集落 津島新野遺跡 | 学南町二丁目 798 番 4、799 番 4・7 | 2 | 集合住宅の建 設 | 20070522 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 西田 和浩 | 岡教文第 236 号 20070604 |
| 集落 津島遺跡 | いずみ町 1 番 24 号 | 2 | 集合住宅の建 設 | 20070612 | 有 | 岡山県教育委員会 教育長 | 岡山県教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 西田 和浩 | 岡教文第 299 号 20070619 |
| 城館跡 岡山城跡 | 表町三丁目 18-111・ 114 | 1 | 集合住宅の建 設 | 20070618 | 無 | 岡山県教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 317 号 20070625 |
| 散布地 名称未定散布地 | 西辛川字成兼 908 番 3 | 1 | 集合住宅の建 設 | 20070618 | 無 | 岡山県教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 327 号 20070627 |

| | | | | | | | | |
|--------------------------|--|------|-------------------|----------|---|-----------------|---|-------------------------|
| 城館跡 岡山城跡 | 中山下二丁目 1-121 | 1 | 集合住宅の建設 | 20070620 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山県教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 339 号 20070702 |
| 集落 津島遺跡 | 津島新野一丁目 952-1、965-1、 965-4、965-7、966-2 | 1 | 宅地造成 | 20070705 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 西田 和浩 | 岡教文第 548 号 20070831 |
| 散布地 原遺跡 | 御津宇垣字仁王堂 1460 番第 3 他 7 筆、 字小通り 1496 番 1 他 5 筆、 字水越 1465 番他 13 筆 | 2 | 店舗建設 | 20070706 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山県教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 552 号 20070903 |
| 城館跡 岡山城跡 | 中山下一丁目 9-104 の一部 | 1 | 集合住宅の建設 | 20070709 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山県教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文台 569 号 20080906 |
| 城館跡 岡山城跡 | 表町三丁目 17-113 | 1 | 集合住宅の建設 | 20070713 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 588 号 20070912 |
| 散布地 建部上原遺跡 | 建部町富地字百田 56-1 外 | 2 | 店舗建設 | 20070724 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 563 号 20070904 |
| 試掘調査 | 横井上 178 番地 | 1 | 校舎建設 | 20070808 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 561 号 20070904 |
| 城館跡 岡山城跡 | 表町三丁目 11-116 ～ 119・145・158 | 2 | 集合住宅の建設 | 20070827 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 555 号 20070903 |
| 散布地 集落 南方遺跡 | 清心町 280-7 | 1 | 店舗建設 | 20070831 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 574 号 20070906 |
| 散布地 集落 百間川遺跡群 | 兼基字村前 382 番 1 | 1 | 有料老人ホームの建設 | 20070914 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 607 号 20070918 |
| 散布地 集落 乙多見遺跡 | 乙多見 197 番 1・2 他 | 3 | 集合住宅の建設 | 20080928 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 702 号 20071016 |
| 散布地 集落 名称未定散布地 | 米田字西向当摩 50 番 1 他 4 筆、字当摩 47 番 2、他 2 筆 | 3 | 宅地造成 | 20071023 | 無 | 岡山県教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 771 号 20071105 |
| 散布地 上伊福西遺跡 尾針神社南遺跡 | 京山一丁目 1499 番 1・2 | 1 | 共同住宅の建設 | 20071026 | 無 | 岡山県教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | |
| 散布地 集落 名称未定散布地 | 妹尾 1212 | 1 | 校舎新築・改築 ・耐震工事 | 20071029 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 | 岡教文第 779 号 20071106 |
| 集落 鹿田遺跡 | 東古松一丁目 23-1 | 3 | 集合住宅の建設 | 20071107 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教第 797 号 20071119 |
| 散布地 集落 名称未定散布地 | 富田町一丁目 4 番 101、117、118 | 2 | 未定 | 20071112 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 823 号 20071116 |
| 散布地 集落 上伊福遺跡 | 伊福町一丁目 6 番 34・35 | 1 | 集合住宅の建設 | 20071116 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 829 号 20071116 |
| 古墳 玉井丸山古墳 | 瀬戸町観音寺字池下 595 番 1 ほか | 45.4 | 大学施設建設 | 20071127 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 860 号 20071128 |
| 散布地 集落 南方遺跡 | 南方一丁目 7-101・ 102 | 1 | 事務所用テナ ントビルの建設 | 20071129 | 無 | 岡山県教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 882 号 20071204 |
| 集落 鹿田遺跡 | 東古松一丁目 28-2 他 2 筆 | 3 | 未定 | 20071214 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 938 号 20071214 |
| 城館跡 岡山城跡 | 表町三丁目 10-66 | 1 | 共同住宅の建設 | 20080204 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 1050 号 20080205 |
| 城館 屋敷 新道遺跡 | 山科町 50 番 12・36 | 2 | 共同住宅の建設 | 20080225 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 61 号 20080411 |
| 散布地 集落 野々口遺跡 | 御津野々口字原 1127 番地他 8 筆 | 1 | 露天駐車場建設 | 20080304 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 63 号 20080411 |

| | | | | | | | | |
|-----------------|-------------------------|---|------|----------|---|-----------------|---|-----------------------|
| 散布地 集落 野々口遺跡 | 御津野々口字竜王 1136番第1他23筆 | 2 | 工場建設 | 20080304 | 無 | 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市教育委員会文化財課 主任 草原 孝典 文化財保護主事 河田 健司 | 岡教文第 64 号 20080411 |
|-----------------|-------------------------|---|------|----------|---|-----------------|---|-----------------------|

埋蔵文化財発見通知(第 100 条)埋蔵文化財監査(第 102 条)

6件

| 物件名・数量 | 発見の場所 | 発見年月日 | 発見者 | 土地所有者 | 保管場所 | 文書番号 日付 |
|--|----------------|---------------------------|---------------------------------|----------------|----------------------------|-------------------------|
| 近現代ガラス瓶等 5箱 近世陶磁器類 58箱 近世木製品 29箱 近世鉄器・貨幣等 1箱 井戸杵等漆喰製品 5箱 炉壁片 14箱 古代土器類 1箱 弥生土器 2箱 | 蕃山町 6-10 | 20061113 ～ 20071031 | 岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市長 | 岡山市埋蔵文化財センター | 岡教文第 756 号 20071105 |
| 土器(縄文～近世) 15箱 石器(縄文～近世) 0.1箱 木器(中世～近世) 1箱 金属器(中世～近世) 0.1箱 土壌サンプル 4箱 | 津島中一丁目 1番1号 | 20071217 | 岡山市津島中一丁目1番1号 国立大学法人岡山大長 | 国立大学法人 岡山大長 | 国立大学法人岡山大 埋蔵文化財調査研究センター | 岡大施企第 211 号 20080107 |
| 土師器ほか 15箱 | 国府市場 43 ほか | 20071210 ～ 20071228 | 岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 | 協同組合 栄 | 岡山市埋蔵文化財センター | 岡教文第 968 号 20080107 |
| 土器(弥生～近世) 2箱 土壌サンプル 2箱 | 鹿田町 2-5-先 | 20080116 | 岡山市津島中一丁目1番1号 国立大学法人岡山大長 | 岡山市長 | 国立大学法人岡山大 埋蔵文化財調査研究センター | 岡大施企第 239 号 20080123 |
| 瓦・陶磁器 20箱 会・獣骨 3箱 金属製品他 2箱 | 丸の内二丁目 | 20071001 ～ 20080312 | 岡山市大供一丁目1番1号 岡山市教育委員会 教育長 | 岡山市長 | 岡山市埋蔵文化財センター | 岡教文第 1198 号 20080314 |
| 土器・陶磁器類(弥生～近世) 116箱 石器(石材含む・弥生～近世) 13箱 木器(古代～近世) 18箱 動・植物遺存体 土壌サン プル 30箱 | 鹿田町 2-5-1先 | 20080314 | 岡山市津島中一丁目1番1号 国立大学法人岡山大長 | 国立大学法人 岡山大長 | 国立大学法人岡山大 埋蔵文化財調査研究センター | 岡大施企第 309 号 20080324 |

記念物等現状変更申請(第 125 条)

27件

| 種別及び名称 | 所在地 | 面積(m ²) | 目的及び原因 | 期間 | 申請者 | 対応・指導事項等 | 文書番号 日付 |
|-------------------------------|--------------------------|------------------------------|---|---------------------------|-----------------------------|---|---------------------------------------|
| 天然記念物 アユモドキ | 地域を定めず | — | 生息状況・生態調査の 為の採捕、水道展示、 「水辺教室」の開催 | 許可の日 ～ 200803 下旬 | 岡山市長 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号トに該当 ・事業完了後は速やかに文化庁長官あ て現状変更完了届を提出すること | 岡山市教育委員会 指令文第 230 号 20070402 |
| 史跡 岡山藩主池田 家墓所付津田 永忠墓 | 円山 1083 ほか | Ø150mm塩化 ビニール管 × 22.5m | 下水道管理設 | 許可の日 ～ 20080331 | 岡山市長 | ・工事に際しては、岡山市教育委員会 職員(埋蔵文化財担当)の立ち会いを 求めること ・重要な遺構等が発見された場合に は、設計変更等によりその保存をはか ること ・その他実施にあたっては、岡山県教 育委員会の指示を受けること ・20080618 完了報告提出 | 19 委庁財第 4 の 620 号 20070720 |
| 史跡 津島遺跡 | いずみ町 | 5600 | 史跡整備平成 19 年 度事業として、掘立 柱建物復元施設、湿 地跡表示施設、照明 灯設置、園路舗装な どを行う | 許可の日 ～ 20080331 | 岡山県知事 | ・工事に際しては、岡山県教育委員会 職員の立ち会いを求めること ・その他実施にあたっては、岡山県教 育委員会の指示を受けること | 19 委庁財第 4 の 404 号 20070615 |
| 天然記念物 アユモドキ | 地域を定めず | — | 一時捕獲(濁水期の 保護及び観察会) | 許可の日 ～ 20070731 | 岡山市教育 委員会 教育長 | ・実施にあたっては、岡山県教育委員 会の指示を受けること | 19 委庁財第 4 の 508 号 20070705 |
| 史跡 大廻小廻山城 跡 | 草ヶ部 瀬戸町観音寺 瀬戸町笹岡ほか | — | 樹木の接触による 事故を未然に防ぐ ため、送電線に近接 している樹木を伐 開する | 20070701 ～ 20070831 | 中国電力株 式会社岡山 電力所 所長 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号へに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構に 影響の内容注意して実施すること ・工事の実施に際しては当教育委員会 文化財課職員の立ち会いを求めること ・重要な遺構等が発見された場合に は、その保存のため必要な措置をと ること ・その他、実施にあたっては当教育委 員会文化財課の指示に従うこと ・20071002 完了報告提出 | 岡山市教育委員会 指令文第 262-1 号 200706111 |
| 特別名勝 岡山後楽園 史跡 | 後楽園 | — | 後楽園の古陶館裏 側にある庭園照明 の照明柱の交換 | 許可の日 ～ 20071031 | 岡山県知事 | ・実施にあたっては岡山県教育委員会 の指示を受けること ・20081026 現状変更完了届提出 | 19 委庁財第 4 の 688 号 20070720 |

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|--------------------|--|--------------------------------|----------------------|---|--------------------------------------|
| 史跡 神宮寺山古墳 | 中井町一丁目 5 | - | 墓地区画 1 区画の基礎レベルを上げるとともに首位の圍繞石列も新たに施工 | 許可の日以降 ～ 20070731 | 神宮寺山墓地管理組合 総代 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号ハに該当 ・事業実施に際しては、礎石の遺構等に影響のないよう注意して実施すること ・重要な遺構等が発見された場合には、その保存のため必要な措置をとること ・その他実施にあたっては、岡山市教育委員会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第 456-1 号 20070709 |
| 特別名勝 岡山後楽園 史跡 岡山城跡 | 後楽園 1 番 5 号 | - | 「幻想庭園」実施に伴い、後楽園内に照明灯、ローソク、発光ダイオード、クリア電球、LED 照明、及び仮設ステージ並びに照明用イントレを設置 | 許可の日 ～ 20070903 | 岡山県知事 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号ハに該当 ・事業実施に際しては、特別名勝の遺構等に影響のないよう注意して実施すること ・施工に際しては岡山県教育委員会文化財課職員(埋蔵文化財担当)の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合には、その保存のため必要な措置をとること ・その他実施にあたっては、棟教育委員会文化財課の指示に従うこと ・20070905 完了報告書提出 | 岡山市教育委員会 指令文第 378-1 号 20070711 |
| 史跡 神宮寺山古墳 | 中井町一丁目 5 | - | 墓地区画を新たに設置 | 許可の日以降 ～ 20080331 | 神宮寺山墓地管理組合 総代 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構等に影響のないよう注意して実施すること ・重要な遺構等が発見された場合には、その保存のため必要な措置をとること ・その他実施にあたっては、当教育委員会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第 458-1 号 20070716 |
| 史跡 神宮寺山古墳 | 中井町一丁目 5 | - | 新たな墓標の設置 | 許可の日以降 ～ 20080331 | 神宮寺山墓地管理組合 総代 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構等に影響のないよう注意して実施すること ・重要な遺構等が発見された場合には、その保存のため必要な措置をとること ・その他実施にあたっては、棟教育委員会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第 458-1 号 20070716 |
| 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目 3 番の 901 | - | 鳥城灯幻郷実施のため鳥城公園内にろうそく、とうろう等を使用して明かりによる演出を行う | 許可の日の翌日 ～ 20070815 | 鳥城灯幻郷実行委員会 委員長 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構等に影響のないよう注意して実施すること ・施工に際しては岡山市教育委員会文化財課職員(埋蔵文化財担当)の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合には、その保存のため必要な措置をとること ・その他実施にあたっては、当教育委員会文化財課の指示に従うこと ・20070903 完了報告提出 | 岡山市教育委員会 指令文第 437-1 号 20070731 |
| 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目 3 番 901 他 19 筆 後楽園 278 番地 | - | 第 14 回うらじゃ「交流会」開催のためやぐら、テントを設営 | 20070804 午前 9 時 30 分 ～ 11 時 | 岡山桃太郎まつり運営委員会 委員長 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号ハに該当 ・事業実施に際しては、特別名勝の遺構等に影響のないよう注意して実施すること ・施工に際しては岡山市教育委員会文化財課職員(埋蔵文化財担当)の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合には、その保存のため必要な措置をとること ・その他実施にあたっては、当教育委員会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第 453-1 号 20070802 |
| 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目 3 番 901 ほか 19 筆 後楽園 278 番地 | - | 史跡岡山城跡の堀の水質を改善するために実験的に水質浄化システムを稼働させる。そのために水浄化システムと、仮設小屋を設置 | 許可の日 ～ 20080330 | 海洋建設株式会社 代表取締役 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号ハに該当 ・事業実施に際しては、特別名勝の遺構に影響のないよう、注意して実施すること ・施工に際しては岡山県教育委員会文化財課職員(埋蔵文化財担当)の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合には、その保存のため必要な措置をとること ・その他、実施にあたっては、当教育委員会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第 480-1 号 20070802 |
| 特別名勝 岡山後楽園 史跡 岡山城跡 | 後楽園他 | 810 m ³ | 花交の池から旭川までの排水管部分の遺跡調査及び排水管の改修 | 許可の日 ～ 200803331 | 岡山県知事 | ・事業実施にあたっては、岡山県教育委員会教育長の指示を受けること | 19 委庁財第 4 の 1057 号 20070921 |

| | | | | | | | |
|-------------|--------------------------|-------|--|---------------------------|---|--|------------------------------------|
| 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目3番901他19筆後楽園278番地 | 1000 | 国庫補助事業である岡山城歴史的環境整備事業(平成19年度分) | 許可の日 ~ 20080331 | 岡山市長 | ・工事に際しては、岡山市教育委員会職員(埋蔵文化財担当)の立会を求めること ・その他実施にあたっては、岡山県教育委員会の指示を受けること ・20080331完了報告提出 | 19委庁財第4の1056号 20070921 |
| 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目3番901ほか | - | アジアスタディ07岡山の懇親会に使用するために、舞台・かがり火等を設置する | 許可の日の翌日 ~ 20070918 | 株式会社岡山コンベンションセンター 代表取締役 | ・施行令第5条第4項第1号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構等に影響のないよう注意して施工すること ・工事の実施に際しては、岡山市教育委員会文化財課職員の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合は、その保存のために必要な措置をとること ・その他実施にあたっては当教育委員会文化財課の指示に従うこと ・20071004完了報告提出 | 岡山市教育委員会 指令文第579-1号 20070906 |
| 史跡 津島遺跡 | いずみ町 | - | 第19回全国生涯学習フェスティバル開催のため、テント仮設トイレ、ステージ、杭打ち看板を設置し電気幹線を埋設し、広場等に養生を実施する | 20071028 ~ 20071108 | 第19回全国生涯学習フェスティバル実行委員会 会長 (岡山県知事) | ・施行令第5条第4項第1号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構等に影響のないよう注意して施工すること ・工事の実施に際しては、岡山市教育委員会文化財課職員の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合は、その保存のために必要な措置をとること ・その他実施にあたっては当教育委員会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第620-1号 20070920 |
| 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目3番901他19筆後楽園278番地 | 500 | 「渡辺貞夫カルテット2007」開催のためステージ等を設置 | 20070921 ~ 20070924 | 岡山市長 | ・施行令第5条第4項第1号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構等に影響のないよう注意して施工すること ・工事の実施に際しては、岡山市教育委員会文化財課職員の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合は、その保存のために必要な措置をとること ・その他実施にあたっては当教育委員会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第620-1号 20070920 |
| 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目3番901他19筆後楽園278番地 | - | 「岡山郷土芸能まつり」開催のために仮設舞台を設置する | 20070928 ~ 20070928 | 岡山市長 | ・施行令第5条第4項第1号ハに該当 ・実施に際しては、史跡の遺構等に影響のないよう注意して施工すること ・工事の実施に際しては、岡山市教育委員会文化財課職員の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合は、その保存のために必要な措置をとること ・その他実施にあたっては当教育委員会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第621-1号 20070920 |
| 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目3番901他19筆後楽園278番地 | - | 「秋の桃太郎まつり」開催のため仮設ステージメントを設置 | 許可の日の翌日 ~ 20070925 | 岡山桃太郎まつり実行委員会 会長 | ・施行令第5条第4項第1号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構等に影響のないよう注意して施工すること ・工事の実施に際しては、岡山市教育委員会文化財課職員の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合は、その保存のために必要な措置をとること ・その他実施にあたっては当教育委員会文化財課の指示に従うこと ・20071022現状変更完了報告提出 | 岡山市教育委員会 指令文第628-1号 20070919 |
| 史跡 賞田鹿寺跡 | 賞田471-1ほか | 18350 | 歴史的環境整備事業(平成19年度分) | 許可の日 ~ 20080331 | 岡山市長 | ・工事に際しては岡山市教育委員会職員(埋蔵文化財担当)の立ち会いを求めること ・その他実施にあたっては岡山県教育委員会の指示を受けること ・20080331現状変更完了届提出 | 19委庁財第4の1461号 20071116 |
| 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目3番901ほか19筆後楽園278番地 | - | 「おかやま菊花大会」開催のため、鳥城公園内に仮設物を設置する | 20071015 ~ 20071120 | 岡山市長 | ・施行令第5条第4項第1号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構等に影響のないよう注意して施工すること ・工事の実施に際しては、岡山市教育委員会文化財課職員の立会を求めること ・重要な遺構等が発見された場合は、その保存のために必要な措置をとること ・その他実施にあたっては当教育委員会文化財課の指示に従うこと ・20071130現状変更完了報告書提出 | 岡山市教育委員会 指令文第754-1号 20071010 |

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|------------------------------|--|-----------------------|----------------------|--|--|
| 史跡 浦間茶白山古墳 | 浦間茶白山 700 番他 | 上段延長 20 m 下壇延長 20 m | 法面の崩落、流出防 止のため竹柵を設 置する | 許可の日 ～ 20080331 | 岡山市教育 委員会 教育長 | ・工事に際しては、岡山市教育委員会 職員(埋蔵文化財担当)の立ち会いを 求めること ・その他実施にあたっては、岡山県教 育委員会の指示を受けること | 19 委庁財第 4 の 1679 号 20080110 |
| 史跡 神宮寺山古墳 | 中井町一丁目 5 | — | 既存の墓地区画内 に供養塔を設置す る | 許可の日 ～ 20071130 | 神宮寺山墓 地管理組合 総代 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構等 に影響のないよう注意し目て実施す ること ・重要な遺構等が発見された場合に は、その保存のため必要な措置をと ること ・その他実施にあたっては当教育委員 会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第 960-1 号 20071106 |
| 史跡 大多羅寄宮跡 | 西大寺大多羅字 芥子山 555 番ノ 7、555 番ノ 3 | — | 社殿と狛犬を仮設 的に設置する | 許可の日 ～ 20080331 | 布施神社 総代 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号ハに該当 ・事業実施に際しては、史跡の遺構に 影響のないよう注意し目て実施す ること ・重要な遺構等が発見された場合に は、その保存のため必要な措置をと ること ・その他実施にあたっては当教育委員 会文化財課の指示に従うこと ・20071210 現状変更完了の報告提出 | 岡山市教育委員会 指令文第 960-1 号 20071106 |
| 天然記念物 アユモドキ | 地域定めず | — | 河川護岸(石積みブ ロック)崩壊による 災害復旧工事を施 工する際、アユモ ドキを一時捕獲す る可能性がある | 許可の日 ～ 20080331 | 岡山県知事 | ・実施にあたっては岡山県教育委員会 の指示を受けること ・20080331 完了の報告提出 | 19 委庁財第 4 の 1805 号 20080131 |
| 天然記念物 アユモドキ | 地域定めず | — | 「農林水産省補助事 業湛水防除事業 小 規模瀬戸第 2-2 地 区」実施にあたり瓜 生川付近の工事を 施工する際アユモ ドキを一時捕獲す る可能性がある | 許可の日 ～ 20100331 | 岡山県備前 県民局局長 | ・実施にあたっては岡山県教育委員会 の指示を受けること | 19 委庁財第 4 の 1986 号 20080306 |
| 特別天然記念 物 タンチョウ | 地域定めず | — | 赤坂タンチョウセ ンターの一時休止 に伴い、タンチョ ウを後楽園に移動 | 許可の日 ～ 20080331 | 岡山県知事 | ・実施にあたっては岡山県教育委員会 の指示を受けること ・20080327 完了届提出 | 19 委庁財第 4 の 2033 号 20080306 |
| 天然記念物 アユモドキ | 地域定めず | — | 生態、生息域調査お よび人工繁殖を行 うため、アユモド キを捕獲する。又人工 繁殖した個体を活 用して、水槽展示、 水辺教室を行う | 許可の日 ～ 20080331 | 岡山市長 | ・実施にあたっては、岡山県教育委員 会の指示を受けること | 19 委庁財第 4 の 2229 号 20080418 |
| 特別名勝 岡山後楽園 史跡 岡山城跡 | 丸の内二丁目 3 番 901 外 19 筆 後楽園 278 番地 他 | 5 | 岡山県立博物館に 来館者用エレベ ーターを設置する ため、設置予定場所 の発掘調査を行う | 許可の日 ～ 20080410 | 岡山県知事 | ・実施にあたっては、岡山県教育委員 会の指示を受けること | 19 委庁財第 4 の 2155 号 20080321 |
| 天然記念物 アユモドキ | 地域定めず | — | 農林水産省補助事 業農業用河川工作 物応急対策事業段 原地区実施前に、 アユモドキの存否 確認を行い捕獲の 可能性がある | 許可の日 ～ 20090630 | 岡山県備前 県民局 局長 | ・実施にあたっては、岡山県教育委員 会の指示を受けること | 19 委庁財第 4 の 2203 号 20080407 |
| 天然記念物 アユモドキ | 地域定めず | — | 農林水産省補助事 業、湛水防除事業 小規模 瀬戸第 2-2 地区を実施 するにあたり、布 久保川付近の工事 の際アユモドキを 一時捕獲する可 能性がある | 許可の日 ～ 20100331 | 岡山県備前 県民局 局長 | ・施行令第 5 条第 4 項第 1 号トに該当 ・工事の実施に際しては、アユモド キの生存に影響のないよう注意す ること ・工事に際しては当教育委員会文化財 課職員の立会を求めること ・その他、実施に際しては、当教育委 員会文化財課と連絡協議の上、その 指示に従うこと ・20080318 完了届提出 | 岡山市教育委員会 指令文第 1271-1 号 20080307 |

その他の届出

文化財保護法第 33 条(滅失・毀損・盗難の届出)

1 件

| 種類及び名称 | 所在地 | 面積 (㎡) | 原因 | 発生日 | 通知者等 | 対応・指導事項 |
|----------------|--------------------------------|--------|----|----------|-----------------|--|
| 天然記念物 アユモドキ | 地域を定めず (発生地：瀬戸町南 方瓜生川水系) | — | 密漁 | 20070518 | 岡山市教育委員会 教育長 | 発見者が赤磐警察署へ通報。同警察署にて事情聴取の結果ア ユモドキ、スイゲンゼニタナゴを捕獲していたことが判明。 その後、赤磐警察署員、発見者、県文化財課職員の立ち会 いの元、密漁者自らの手で捕獲場所へ再放流された。 |

文化財保護法第 34 条(所在の変更の届出)

3 件

| 種類及び名称 | 所在地 | 目的・原因 | 所在変更年月日 | 届出者 | 届出年月日 |
|-------------------------------------|---------------------------|--|------------------------|-------------------|----------|
| 国指定重要文化財 広島県草戸千軒遺跡出土品 (員数 26) | 広島県福山市西町 2-4-1 広島県立博物館 | 岡山市デジタルミュージアム開催の「漆の技術の技ー岡山木工芸いまむかし」展示のため | 20070904 | 岡山市デジタルミュージアム 館長 | 20070805 |
| 国指定重要文化財 木造獅子狛犬 | 岡山市吉備津 931 | 県立博物館で開催される特別展「吉備津神社」に出展するため | 20070522 ～ 20071213 | 宗教学人吉備津神社 代表役員 | 20071015 |
| 国指定重要文化財 木造獅子狛犬 | 岡山市吉備津 931 | 重要文化財所在の場所変更の期日を延長するため | 20080522 ～ 20090430 | 宗教学人吉備津神社 代表役員 | 20071201 |

文化財保護法第 43 条(修理等の届出)

1 件

| 種類及び名称 | 所在地 | 目的・原因 | 修理年月日 | 届出者 | 届出年月日 |
|--------------------------|--------------|-------------------|---------------------|-------|----------|
| 岡山県指定重要文化財 旧犬養家住宅附家相図 | 岡山市川入 102 番地 | 座敷南側廊下が損傷したため修理する | 20080201 ～ 20080220 | 岡山県知事 | 20071206 |

文化財保護法第 53 条(所有者以外の者による公開)

| 種類及び名称 | 所在地 | 公開の理由 | 期間 | 申請者 |
|--|--|--|------------------------|------------------|
| 国指定重要文化財 広島県草戸千軒遺跡出土品 | 広島県福山市西町 2-4-1 広島県立博物館 | 岡山市デジタルミュージアム開催の「漆の技術の技ー岡山木工芸いまむかし」展示のため | 20070922 ～ 20071107 | 岡山市デジタルミュージアム 館長 |
| 国宝 太刀 一・群鳥文兵庫鎖太刀拵 太刀 助包 太刀 吉房 太刀 吉房 太刀 則房 太刀 一備前国吉岡住左近将監紀助光 ／南無八幡大菩薩／南無妙見大菩薩 薙刀 一備前国吉岡住左近将監紀助光 元応二年庚申十一月日(1320) 国指定重要文化財 太刀 則宗 太刀 宗吉作 太刀 宗忠 太刀 菊御作(菊花紋の毛彫り) 太刀 (菊紋)(菊一文字) 太刀 菊御作 太刀 無銘一文字 太刀 一 太刀 近房 太刀 額名吉房 太刀 助真 太刀 助真 太刀 無銘助真 刀 無銘一文字 刀 無銘一文字(名物南泉一文字) 薙刀 一 太刀 吉用 刀 無銘一文字 | 岡山市丸の内 2-7-15 林原美術館 東京都中央区日本橋室町二丁目 1 番 1 号 三井記念美術館 名古屋市熱田区神宮 1-1-1 熱田神宮文化館 静岡県三島市大宮町 2-1-5 三嶋大社宝物館 京都市東山区茶屋町 527 京都国立博物館 名古屋市東区徳川町 1017 徳川美術館 東京都台東区上野公園 12-9 東京国立博物館 東京都渋谷区代々木 4-25-10 日本美術刀剣保存協会 東京都渋谷区代々木 4-25-10 東郷神社 三島市中田町 1-43 佐野美術館 その他個人・法人 | 展覧会「華やかな日本刀 備前一文字」展示のため | 20080223 ～ 20080330 | 財団法人林原美術館 館長 |

文化財保護法第 120 条(天然記念物の死亡・33 条の準用)

1 件

| 種類及び名称 | 所在地 | 死亡の原因 | 死亡の日 | 管理責任者 | 届出者 | 届出文書番号・日付 |
|------------------|--------|--------------------------|----------|-------|-------|---------------------|
| 特別天然記念物 タンチョウ | 地域を定めず | 左脛骨折し、治療していたにもかかわらず衰弱死した | 20071007 | 岡山県知事 | 岡山県知事 | 後第 57 号 20071010 |

文化財保護法第 168 条の 2(各省庁の長以外の国の機関の記念物等現状変更・文化庁長官との協議) 3 件

| 種別及び名称 | 所在地 | 面積(m ²) | 目的及び原因 | 期間 | 申請者 | 対応・指導事項等 | 現状変更許可文書番号・日付 |
|----------------|--------|---------------------|---|--------------------|-------------------|--|----------------------------------|
| 天然記念物 アユモドキ | 地域を定めず | — | 生息環境向上技術調査のためのアユモドキの生息調査並びに遡上実験 | 許可の日 ～ 20080331 | 農林水産省中国 四国農政局長 | ・20080327 完了届提出 | 19 委庁財第 4 の 10 号 20070420 |
| 天然記念物 アユモドキ | 地域を定めず | — | 「種の保存法」で国内希少野生動物種に指定されているアユモドキ、スイゲンゼニタナゴの生息数・生息状況を把握するため生息状況調査を行う。調査の実施に当たり、アユモドキの捕獲する必要があるため | 同意の日 ～ 20080314 | 中国四国地方環 境事務所長 | ・実施に当たっては、岡山県教育委員会と協議すること ・20080624 終了報告書提出 | 19 委庁財第 4 の 704 号 20070720 |

| | | | | | | | |
|----------------|--------|---|--|-------------------|------------------------------|--------------------------|------------------------------|
| 天然記念物 アユモドキ | 地域を定めず | — | 吉井川瓜生川を中心に生息するアユモドキ保全のため産卵場所を整備する。整備中に発見した場合には捕獲し、工事に影響のない場所に放流する必要があるため | 許可の日 ～20090331 | 国土交通省中国 地方整備局岡山 河川事務所長 | ・実施にあたっては岡山県教育委員会と協議すること | 20 委庁財第4の81 号 20080516 |
|----------------|--------|---|--|-------------------|------------------------------|--------------------------|------------------------------|

岡山県文化財保護条例第7条第1項（所有者変更の届出）

1件

| 種類及び名称 | 変更前の住所 | 変更後の住所 | 変更の理由 | 届出者 | 届出年月日 | 岡山県受理文書番号 日付 |
|-----------------------------|--------|--------|-------|------|----------|-----------------------|
| 岡山県指定重要文化財 太刀 無銘（伝福岡一文字） | 倉敷市水江 | 岡山市田益 | 売却による | 新所有者 | 20080228 | 教文保第1413号 20080317 |

岡山県文化財保護条例第8条（滅失・毀損の届出 36条準用含む）

1件

| 種類及び名称 | 所在地 | 面積(m ²) | 滅失・毀損の原因・程度 | 発生日月 | 届出者等 | 対応・指導事項 | 届出文書番号 日付 |
|------------------|------------|---------------------|---------------------|------|-------|---------|--------------------|
| 岡山県指定史跡 犬養家旧宅 | 岡山市川入102番地 | — | 東側土塀の基礎石垣の一部崩壊。原因不明 | 不詳 | 岡山県知事 | — | 文第221号 20081207 |

岡山県文化財保護条例第12条第1項1・第35条第1項（現状変更許可申請）

5件

| 種別及び名称 | 所在地 | 面積(m ²) | 目的及び原因 | 期間 | 申請者 | 対応・指導事項等 | 文書番号 日付 |
|--------------------------------------|--|---------------------|--------------------------------------|-----------------------|---------------|--|--|
| 岡山県指定重要文化財 高松城水攻め鳴谷川遺跡附 工事奉行の墓 | 岡山市長野 470-2、471-4、 445-3及び鳴谷 川河川敷 | 10 | 道路改良工事施工を前提とする遺構の有無の確認 | 許可の日～ 20070930 | 岡山県備前 県民局長 | ・施工に際しては岡山県教育委員会職員（埋蔵文化財担当）の立会を求め ること ・重要な遺構などが発見された場合は、設計変更等により、その保存をはかること ・その他実施にあたっては、岡山県教育委員会の指示を受けること ・20080324 完了届提出 | 岡山県教育委員会 指令文保第1069 号 20071218 |
| 岡山県指定重要文化財 犬養家旧宅 | 岡山市川入102 番地 | — | ハナノキの幼木を 植栽 | 許可の日～ 20080430 | 岡山県知事 | ・施工に際しては岡山県教育委員会職員（埋蔵文化財担当）の立会を求め ること ・重要な遺構などが発見された場合は、設計変更等により、その保存をはかること ・その他実施にあたっては、岡山県教育委員会の指示を受けること ・20080324 完了届提出 | 岡山県教育委員会 指令文保第1069 号 20071218 |
| 岡山県指定重要文化財 高松城水攻め鳴谷川遺跡附 工事奉行の墓 | 岡山市長野 470-2、471-4、 445-3及び鳴谷 川河川敷 | 1400 | 県道長野高松線拡幅による道路改良 工事 | 許可の日～ 20090930 | 岡山県備前 県民局長 | ・施工に際しては岡山県教育委員会職員 の立会を求めること ・重要な遺構などが発見された場合は、設計変更等により、その保存をはかること ・その他実施にあたっては、岡山県教育委員会の指示を受けること | 岡山県教育委員会 指令文保第1143 号 20080115 |
| 岡山県指定史跡 倉安川吉井水門 | 岡山市吉井城山 525-1周辺 | — | 万富吉井線の拡幅 工事に伴う地元要望により、周辺整備 を行う | 許可の日～ 20090331 | 岡山県備前 県民局長 | ・当該許可にかかる事業が終了したと きは速やかに減少変更完了届を提出 すること | 岡山県教育委員会 指令文保第1476 号 20080421 |
| 岡山県指定重要文化財 高松城水攻め鳴谷川遺跡附 工事奉行の墓 | 岡山市長野 470-2、471-4、 445-3及び鳴谷 川河川敷 | 19.8 | 県道拡幅に伴い史 跡地内の排水管を 新たに埋設する | 許可の日 ～ 20090331 | 岡山市長 | ・施行に際しては岡山県教育委員会職員 の立ち会いを求めること ・重要な遺構などが発見された場合には、設計変更等により、その保存をはかること ・その他実施にあたっては、岡山県教育委員会の指示を受けること | 岡山県教育委員会 指令文保第1458 号 20080325 |

岡山市文化財保護条例第12条第1項（現状変更許可申請）

1件

| 種別及び名称 | 所在地 | 面積(m ²) | 目的及び原因 | 期間 | 申請者 | 対応・指導事項等 | 文書番号 日付 |
|-----------------------------|--|---------------------|-----------------|-----------------------|------|---|------------------------------------|
| 岡山市重要文化財 足守藩主木下 家屋形構跡 | 岡山市足守793 番、794番、799 番、1・2・4、800 番、801番、4・5・ 6、802番 | — | 下水管及び汚水桝 の設置 | 許可の日 ～ 20080330 | 岡山市長 | ・事業実施に際しては、史跡の遺構に 影響のないよう注意して実施すること ・施行に際しては当教育委員会文化財 課職員の立ち会いを求めること ・重要な遺構等が発見された場合には その保存のため必要な措置をとること ・その他実施にあたっては当教育委員 会文化財課の指示に従うこと | 岡山市教育委員会 指令文第455-1号 20070803 |

立会調査の記録

| 調査日 | 種類 | 調査地点 | 工事の目的 | 包含層の有無 | 所見 | 調査担当者 |
|---------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|----------------|----------------|--|--------------------------------|
| | 遺跡名 | | | 掘削深度 | | |
| 20070403 | 集落 津島遺跡 | いずみ町地内 | 上下水道 | 無 1.5 m | 大半は下水道管によるやられ。 GL - 1.3 mで一部褐色粘土層。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070418 | 散布地 集落 官衙 古墳 備前国府関連遺跡 | 中井 328-3 | 浄化槽埋設 | 有 1.9 m | GL - 1.3 mで、包含層(古墳?)検 出。GL - 1.7 mで微高地基盤検 出。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070418 | 集落 北方長田遺跡 | 北方一丁目 659 番地～ 667 番地先 | 上下水道 | 有 1.4 m | 試掘壕。GL - 0.9 ～ 1.4 mの間、 包含層 2層確認。微高地基盤層達 せず。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070424 | — — | 惣爪 232-1 | 擁壁掘削 | 水田耕土内 0.6 m | 水田耕土内に、土器片が少量混じ る。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070426 | 集落 南方遺跡 | 国体町 1 番 104 | 基礎掘削 | 有 1.4 m | シートパイル部分 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070507 | 散布地 名称未定散布地 | 納所字桑畑 2 番 6 | 擁壁掘削 浄化槽埋設 | 無 0.9 m | 基盤層は比較的しっかりしている 。微高地縁辺部と思われる。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070508 | 散布地 集落 赤田東遺跡・関遺 跡 | 関字西畑 552-6 | 浄化槽埋設 | 無 2.0 m | 沼沢地だが基盤は堅い。微高地が 近いと考えられる。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070509 ～ 20070510 | 散布地 集落 名称未定散布地 | 乙多見 123-3 番地～神下 171-1 番地先 | 上下水道 | 有 1.5 m | 一部 GL - 0.5 mで包含層確認 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070509 | 散布地 集落 百間川遺跡群 | 兼基 247 番地～ 318-7 番 地 | 上下水道 | 有 1.4 m | GL - 0.9 mで、包含層(中世・弥 生?)確認。微高地基盤層には達せ ず。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070514 | 散布地 集落 名称未定散布地 | 御津河内 2452-3 地先～ 2465 地先外 2 件 | 上下水道 | 有 0.8 m | GL - 0.2 ～ 0.7 m付近まで包含 層があるが、パイラン石混じりで 斜面堆積と思われる。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070515 | 散布地 集落 加茂政所遺跡 | 加茂字加茂宮 1242 番 1 | 擁壁掘削 | 有 0.8 m | 現水田耕土直下に包含層(古代・弥 生)確認。高速道路に近い方が少し 濃い。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070517 | 散布地 集落 加茂政所遺跡 | 加茂字宮前 1116-1 | 擁壁掘削 | 現水田層内 0.7 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070517 | 集落 川入遺跡 | 川入 323-3 | 浄化槽埋設 | 有 1.6 m | GL - 0.75 ～ 1.1 mまで弥生包 含層。微高地基盤層は黄灰色粘質 土で軟らかい。微高地末端か。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080521 | 散布地 山神遺跡 | 一宮 1043 | 浄化槽埋設 | 無 1.65 m | GL - 1.5 mで湿地堆積。その中か ら中世瓦出土。 | 主任 高橋 伸二 |
| 20080521 | 集落 川入遺跡 | 川入 323 番 14 | 浄化槽埋設 | 無 1.8 m | 特になし | 文化財保護主事 岡本 芳明 |
| 20070522 | 散布地 知行所 名称未定散布地 高松知行所跡 | 高松原古才字館 323-50 | 浄化槽埋設 | 無 1.6 m | 河道 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070522 ～ 20070523 | 集落 百間川遺跡群 | 藤原 72-2 番地～高屋 17 番 地先 | 上下水道 | 無 1.5 m | 西側は沼沢地堆積。東は水田層。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070529 | 散布地 名称未定散布地 | 御津紙工 2689 地先～ 2852 地先 | 上下水道 | 造成土内 0.8 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 文化財保護主事 西田 和浩 |
| 20070529 | 集落 川入遺跡 | 川入字中橋上 323 番 11・12 | 浄化槽埋設 | 有 1.7 m | GL - 0.8 mで、約 20 cmの包含層 検出。中世土器片混入。微高地基盤 はあまりしっかりしていない。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070530 | 散布地 集落 北方遺跡 | 学南町 136-17 | 浄化槽埋設 | 無 1.3 m | 水田層である | 主任 高橋 伸二 文化財保護主事 岡本 芳明 |
| 20070531 | 散布地 集落 植松遺跡 | 灘崎町植松字久賀 281 番 | 携帯電話用基 地局建設 | 無 Ø30 cm | 河道(郷内川の氾濫原) | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080601 | 散布地 集落 吉野口遺跡・吉備 津田淵後遺跡 | 吉備津 1721-7 | 擁壁掘削 | 無 0.6 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070607 | 散布地 集落 官衙 古墳 備前国府関連遺跡 雄町遺跡 | 雄町 575-1 番地～ 136-8 番 地先 | 上下水道 | 有 1.8 m | GL - 2.7 m付近に微高地基盤層 確認。その上に 30 cmほどの灰褐色 砂質土(包含層)確認。遺物僅少。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070611 | 散布地 集落 名称未定散布地 | 小橋町一丁目 83 番 1 | 宅地造成 | 造成土内 0.8 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070612 | 散布地 名称未定散布地 | 高松原古才字館東 268 の一 部 269 の一部 | 宅地造成 | 水田耕土内 0.8 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |

| | | | | | | |
|----------|-------------------------------------|------------------------------|---------------|----------------|--|---------------|
| 20070615 | 城館跡 岡山城跡 | 内山下二丁目9番121・122 ・127 | 基礎掘削 | 造成土内 0.6 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070616 | 散布地 集落 官衙 古墳 備前国府関連遺跡 | 国府市場字西千在 319-3 | 浄化槽埋設 | 有 2.1 m | GL - 2.1 m で古代包含層。微高地 基盤層は褐色砂質土。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070620 | 散布地 名称未定散布地 | 厚生町地内 | 電線地中化工 事 | 水田耕土中 1.0 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070627 | 散布地 集落 官衙 古墳 雄町遺跡 備前国府関連遺跡 | 雄町 575-1 番地～136-8 番 地先 | 上下水道 | 無 1.5 m | 河道内 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070702 | — — | 瀬戸町坂根地内 | 電柱設置 | 無 2.5 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070705 | 集落 吉野口遺跡 | 吉備津字薬師 | 浄化槽埋設 | 有 2.0 m | GL - 1.4 m (旧水田層下 40 cm) で 弥生? 包含層確認。遺構埋土の可 能性もある。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070725 | 散布地 集落 乙多見遺跡 | 清水 532-13 番地～ 375-6 番地先 | 上下水道 | 無 4.0 m | 河道 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070730 | 散布地 集落 乙多見遺跡 | 関 461-9 番地～464-8 番地 先 | 上下水道 | 無 2.0 m | 水田 3 層その下は河道 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070731 | 城館跡 撫川城跡・庭瀬城 跡 | 撫川字城ノ内 459 番 4 | 浄化槽埋設 | 無 2.0 m | 川を埋めた跡。その下は低湿地。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070802 | 散布地 集落 北方遺跡 | 中井町一丁目 7-4 ～二丁目 2-60 | 上下水道 | 無 2.0 m | 水田層である | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070817 | 散布地 集落 名称未定散布地 | 清水一丁目 254-4 | 浄化槽埋設 | 無 1.9 m | 水田層である | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070817 | 古墳 造山古墳 | 新庄上 1132-3 番～新庄下 1125 番地先 | 電柱設置 | 無 | 特になし | 主任 草原 孝典 |
| 20070827 | 城館跡 岡山城跡 | 天神町 6 番 125 | 基礎掘削 | 無 1.2 m | 近世の遺構面は前の建物の基礎に より破壊されている。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070907 | 散布地 集落 名称未定散布地 | 吉備津字三丁河内 1062 番 1 | 浄化槽埋設 | 無 1.6 m | 水田層である | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070911 | 散布地 名称未定散布地 | 御津紙工 2852 地先～3343 地先 | 上下水道 | 造成土内 0.77 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070912 | — — | 御津新庄字藤尾 401-1 | 携帯電話基地 局建設 | 無 0.9 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070914 | 城館跡 撫川城跡・庭瀬城 跡 | 撫川字城ノ内 440-12 | 浄化槽埋設 | 無 1.5 m | 沼沢地である | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070915 | 散布地 集落 赤田東遺跡・関遺 跡 | 関 35-7 | 浄化槽埋設 | 有 1.7 m | GL - 1.25 m で、包含層確認。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070919 | 散布地 集落 北方遺跡 | 大和町二丁目 4-22 番地～ 3-17 番地先 | 上下水道 | 無 1.6 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20070922 | 散布地 名称未定散布地 | 納所字桑畑 2 番 6 | 浄化槽埋設 | 無 1.2 m | 河道である | 主任 草原 孝典 |
| 20070929 | 集落 高塚遺跡 | 高塚字松ノ下 186 番 3 | 浄化槽埋設 | 有 2.3 m | 特になし | 主任 草原 孝典 |
| 20071009 | 散布地 原遺跡 | 御津字垣 1753-1 | 上下水道 | 有 1.5 m | GL - 0.8 m で、包含層確認。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071011 | 散布地 集落 名称未定散布地 | 瀬戸町南方字出井 284 番 1 | 基礎掘削 浄化槽埋設 | 無 0.5 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071022 | 集落 川入遺跡 | 川入字中橋上 470-1 | 浄化槽埋設 | 有 1.9 m | GL - 0.7 m で包含層、- 1.05 m で微高地基盤確認。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071024 | 散布地 集落 百間川兼基遺跡 百間川遺跡群 | 兼基 232-1 番地～256-1 番 地 | 上下水道 | 水田耕土内 1.6 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071027 | 城館跡 撫川城跡・庭瀬城 跡 | 撫川 415-2 | 浄化槽埋設 | 無 2.0 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071029 | 散布地 集落 貝塚 妹尾住田遺跡 名称未定貝塚 | 妹尾 1513 番地～1270-5 番 地先 | 上下水道 | 有 1.6 m | GL - 0.7 ～ 0.9 m で、混土貝層(ハ イガイ)確認。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071105 | 散布地 名称未定散布地 | 富田町一丁目 411-1 ～ 3 | 基礎掘削 | 造成土内 0.7 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |

| | | | | | | |
|---------------------------|------------------------------|--|---------------|-----------------------|--|--------------------------------|
| 0071112 | 貝塚 新野貝塚 | 納所字郷ノ溝 254 番 1 | 基礎掘削 浄化槽埋設 | 水田耕土内 0.6 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071113 ～ | 城館跡 岡山城跡 | 内山下一丁目 4 番 104 | 通信設備建設 | 有 1.3 m | GL - 1 m で、承応の洪水砂層。 近世後半～近代のゴミ穴確認。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071130 | 散布地 野々口遺跡 | 御津野々口 1372-6、 1399-10 | 電柱設置 | 造成土中 1.8・2.2・1.5 m | 旧国鉄の造成土内 | 文化財保護主事 田嶋 正憲 |
| 20071204 | 散布地 大供中道遺跡 | 大供一丁目 5 番 113 の一 部、114 | 基礎掘削 | 造成土中 0.4 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071206 | 城館 集落 備中高松城跡 | 高松字城南 657 番 5 | 浄化槽埋設 | 無 1.8 m | 備中高松城(北)からの包含層はあるが、微高地基盤層はなし。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071213 | 散布地 集落 官衙 古墳 備前国府関連遺跡 | 国府市場字高下 405-6・9 | 浄化槽埋設 | 無 1.7 m | 水田層の下は河道 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071217 | 城館跡 岡山城跡 | 内山下一丁目 4 番 104 | 電柱設置 | 有 1.3 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071219 ～ 20071221 | 寺 曹源寺 | 円山 1013-1 ほか | 下水管埋設 | 無 1.5 m | 曹源寺参道部分。参道造成の下は 低湿地。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20071226 | 散布地 集落 吉野口遺跡・吉備 津田淵後遺跡 | 吉備津字井手ノ元 1407 番 15 | 浄化槽埋設 | 無 3.0 m | 基本は低湿地であるが、南からの 流れ込みの斜面堆積あり。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080109 | 散布地 集落 北方長田遺跡 | 北方一丁目 4-1 地先～ 15-20 地先 | 上下水道 | 有 1.0 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 2008028 | 散布地 集落 名称未定散布地 | 下足守字惣木 1910 | 道路建設 | 無 1.4 m | 特になし | 文化財保護主事 河田健司 |
| 20080129 | 散布地 集落 官衙 古墳 備前国府関連遺跡 | 国府市場字大日 412 番 3 | 浄化槽埋設 | 有 1.7 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080213 | 城館跡 足守陣屋遺構 | 足守 793 番・794 番・798 番・799 番 1・799 番 2・ 799 番 4・800 番 801 番 4 ・801 番 5・801 番 6・802 番 | 上下水道 | 無 0.8 m | 現状変更に伴う立会。植栽用の盛 土の下は腐植土。その下は黄褐色 砂質土(陣屋町建設に伴う造成土) | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080218 | 散布地 集落 北方遺跡 | 学南町二丁目 4-23 | 擁壁掘削 | 有 0.9 m | 微高地端部を検出。斜面堆積土層 内に弥生土器片を含む。 | 主任 安川 満 |
| 20080221 | — — | 吉備津地内 | 浄化槽埋設 | 無 3.0 m | 造成土下の水田層中に若干の弥生 土器片が入る。 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080222 | 散布地 集落 官衙 古墳 備前国府関連遺跡 | 国府市場字高下 265 番 8 | 浄化槽埋設 | 有 1.7 m | GL - 0.7 m で中世?包含層確認。 GL - 1.45 m で微高地基盤層確認 | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080222 | 集落 川入遺跡 | 川入字中橋上 380-1 | 擁壁掘削 | 耕土中 0.6 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080307 | 散布地 集落 官衙 古墳 備前国府関連遺跡 | 賞田 176-3 | 浄化槽埋設 | 有 1.8 m | 旧水田層より - 1.2 m 掘削。旧水 田層より - 0.8 m で微高地基盤層 確認。 | 主任 安川 満 |
| 20080307 | 散布地 集落 北方長田遺跡 | 北方一丁目 663-5 | 浄化槽埋設 | 有 1.7 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080310 | 散布地 集落 吉野口遺跡・吉備 津田淵後遺跡 | 吉備津 1356-8 | 浄化槽掘削 | 有 2.0 m | 微高地基盤層確認されず | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080311 20080329 | 散布地 集落 百間川遺跡群 | 兼基字村前 382-1 | 浄化槽埋設 | 有 2.4 m | 旧水田層より - 0.45 m で弥生土 器出土。微高地端部の堆積と思わ れる。 | 文化財保護主事 河田 健司 文化財保護主事 田嶋 正憲 |
| 20080311 | 散布地 集落 名称未定散布地 | 瀬戸町寺地字山手 564-5 | 擁壁掘削 | 造成土中 0.5～1.0 m | 段々畑の盛土内 | 文化財保護主事 河田 健司 文化財保護主事 田嶋 正憲 |
| 20080317 | 集落 津島遺跡 | いずみ町 1-21 | 電柱設置 | 無 2.0 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |
| 20080324 | 散布地 集落 西江尻遺跡 | 瀬戸町江尻字門畑 1677 番 2 | 擁壁掘削 | 造成土中 0.5 m | 特になし | 文化財保護主事 河田 健司 |

岡山市埋蔵文化財センターのご利用案内

所在地 〒703-8284 岡山市網浜834-1

(TEL:086-270-5066 FAX:086-270-5067)

公開時間 午前9時から午後4時30分まで

休館日 日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日～1月3日）

入場料 無料

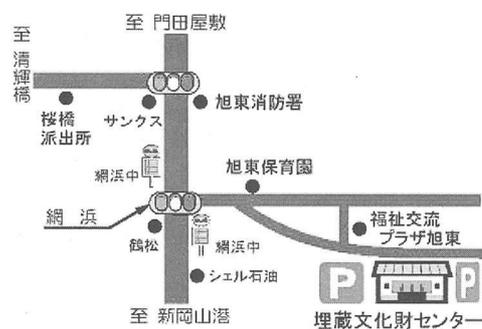
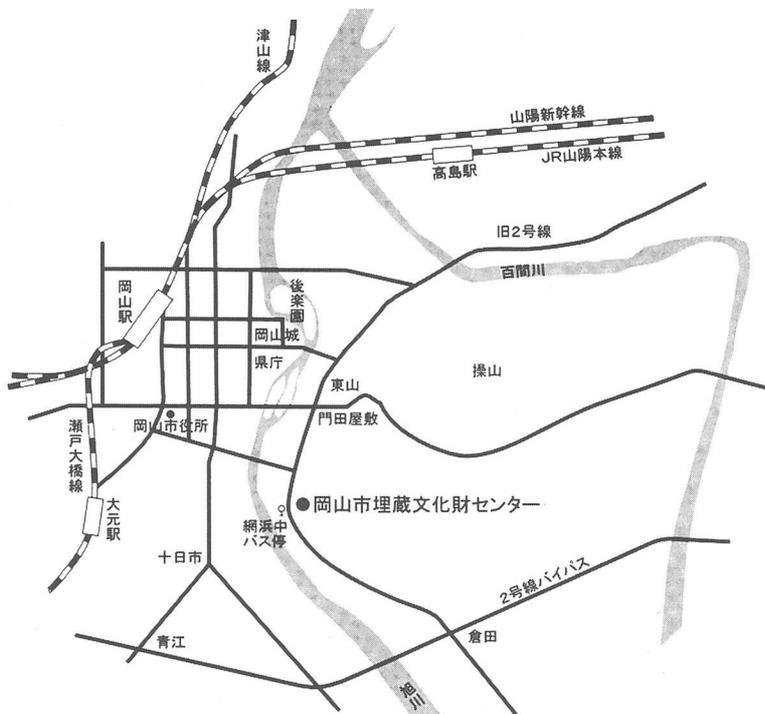
交通案内 両備バス「網浜中」下車、徒歩5分

岡山駅から

- ・新岡山港行（天満屋・新道経由、四軒屋経由、山陽学園・四軒屋経由）
- ・岡山ふれあいセンター行（四軒屋経由、山陽学園・四軒屋経由）
- ・桑野営業所行
- ・倉益南行

所要時間 岡山駅から車で約15分

URL <http://www.city.okayama.okayama.jp/kyouiku/maibun/>



岡山市埋蔵文化財センター年報 8

2007（平成19）年度

発行年 2009年3月23日

発行 岡山市教育委員会
岡山市大供一丁目1番1号

編集 岡山市埋蔵文化財センター

印刷 株式会社三協印刷

版權は、岡山市教育委員会に属する。